

平成28年度生涯学習・社会教育総合調査研究事業

若者の学習・生活体験と県内定住に関する県民の意識調査 報告書

平成29年 3 月

青森県教育委員会

はじめに

我が国は本格的な人口減少時代に突入しています。本県においても平成28年4月に県の人口が130万人を下回り、全国の中でも速いスピードで人口減少や少子化・高齢化が進むと推測されております。人口減少の進行は労働力人口の減少や消費活動の低迷、地域コミュニティ機能の低下など、本県の経済や地域の機能にも様々な影響を及ぼしています。

この現状を踏まえ、県では「青森県基本計画未来を変える挑戦」において、分野横断で重点的に取り組む3つの戦略プロジェクトの第一に「人口減少克服プロジェクト」を掲げ、若年層の県内定着を促進するための雇用の創出など、各取組の重点化を図っています。

県教育委員会では、社会減の大きな要因とされている若者の県外転出に至る動機や課題、本県への定住に対する意識などの現状を把握し、若年層のキャリア形成支援に関する生涯学習振興関連施策の方向性を検討するための基礎資料を得ることを目的として調査を実施しました。

本報告書が、「生活創造社会」を実現していくため、未来の青森県づくりの基盤となる人財の育成を目指す生涯学習・社会教育に係る各種の施策や事業構築の参考となれば幸いです。

最後になりましたが、調査対象者としてアンケートへの御回答をいただいた多くの県民の皆様に心から感謝し、厚くお礼申し上げます。

平成29年3月

青森県教育庁生涯学習課
課長 児玉政光

目 次

第 1 章 調査の概要	1
1 調査の名称	
2 調査の趣旨	
3 調査対象	
4 調査方法	
5 回収結果	
6 研究顧問	
第 2 章 調査の結果	2
1 回答者の属性（性別、年齢、居住市町村）	2
2 若者の学習・生活体験	4
3 若者の自己肯定感と自己有用感	6
4 若者の職業観と就業意識	11
5 若者の青森県に対するイメージ	16
6 若者の人間関係について	18
7 若者の社会参加活動について	20
8 回答者の属性（職業、家庭環境）	23
第 3 章 考察	30
I 年代別と移住経験別のクロス集計から	30
II 青森県に生活する若者の自己有用感	33
III 定住意向の決定要因について	40
第 4 章 資料	49
1 調査結果単純集計表	49

第1章 調査の概要

1 調査の名称

若者の学習・生活体験と県内定住に関する県民の意識調査

2 調査の趣旨

少子高齢化が急速に進行する本県において、人口の社会減対策として若者の県外転出を抑制させることが課題の一つとされている。

そのため、本調査では、若年層を対象に県外転出に至る動機や課題、本県への定住に対する意識などの現状を把握し、本県のキャリア教育の在り方や若年層のキャリア形成支援に関する生涯学習振興関連施策の方向性を検討するための基礎資料を得ることを目的として実施したものである。

3 調査対象

母集団 青森県内に在住の18歳以上35歳以下の一般県民

標本数 3,000人

4 調査方法

上記母集団から、男女バランス、地域バランス、年齢バランスを考慮した上で、無作為に抽出した方へ調査票を送付し、直接記入していただいた調査票を同封の返信用封筒に入れ、無記名で回収した。調査票の印刷・発送・回収、御礼状の発送、調査結果の集計業務は、業者委託により実施した。

- ・調査業務委託先 株式会社サンブラッソ・エイティープイ
- ・調査票の発送 平成29年1月5日
- ・御礼状の発送 平成29年1月16日
- ・回答期限 平成29年1月31日までに投函

5 回収結果

有効回答数(率) 1,052人 (35.07%)

調査不能数(率) 1,948人 (64.93%)

- 不能内訳 - 住所不明…15人 (0.77%) 回答辞退連絡…25人 (1.28%)
白紙回答…1人 (0.05%) 無反応…1,907人 (97.9%)

6 研究顧問

- ・柏谷 至 氏 (青森大学社会学部社会学科 教授)
- ・李 永俊 氏 (弘前大学人文社会科学部 教授)

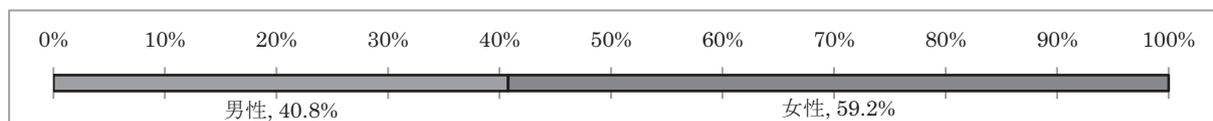
<留意事項>本調査報告書では、比率を百分率(%)で表し、小数点第2位で四捨五入した値で表示している。単数回答項目及び複数回答項目については、回答者数を分母として百分率を算出しているため、合計が100%にならない場合がある。図表及び文章中において、選択肢の表記は複雑な表現を避ける目的で一部省略している。

第2章 調査の結果

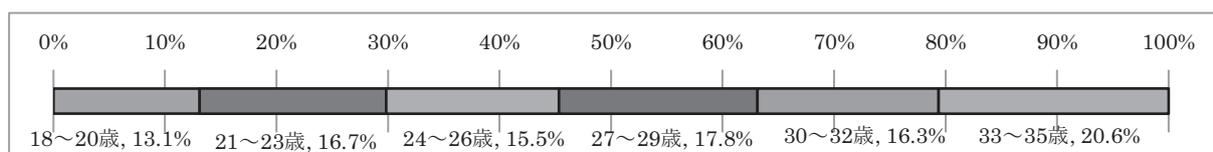
1 回答者の属性（性別、年齢、居住市町村）

問1 あなたの性別と年齢及びお住まいの地域を教えてください。（回答数/1,052）

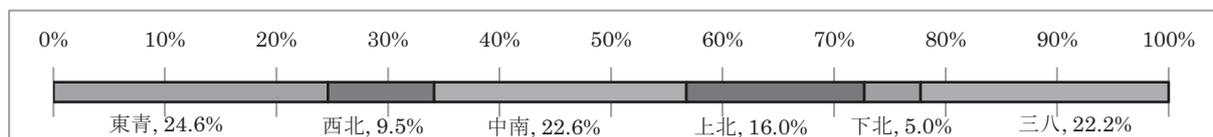
（1）性別



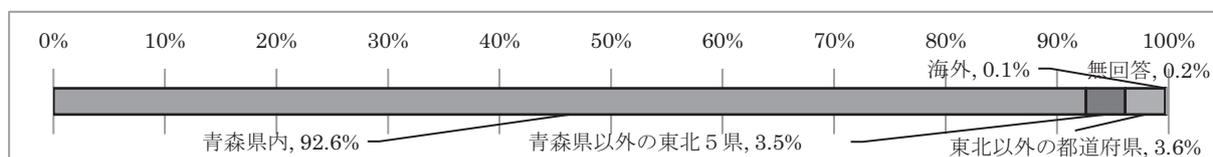
（2）年齢層



（3）居住地域

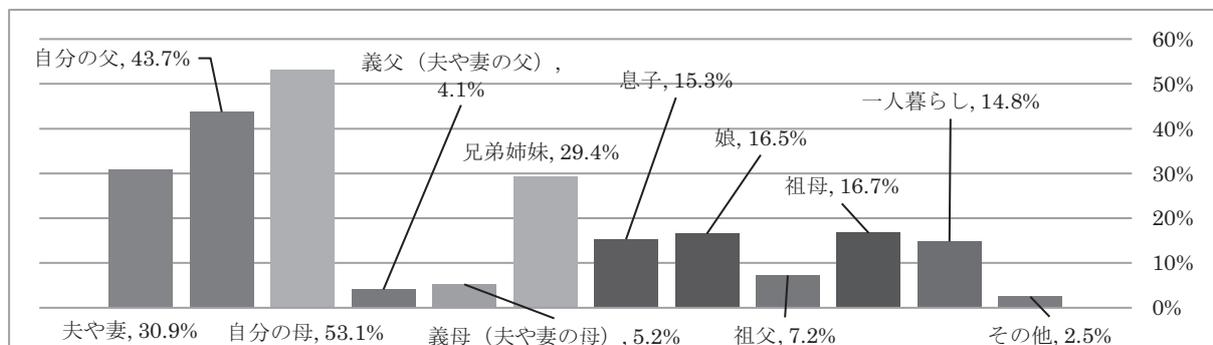


問2 あなたが卒業した中学校は、どこにありましたか。次の4つの中から1つだけ○をつけてください。（回答数/1,052）



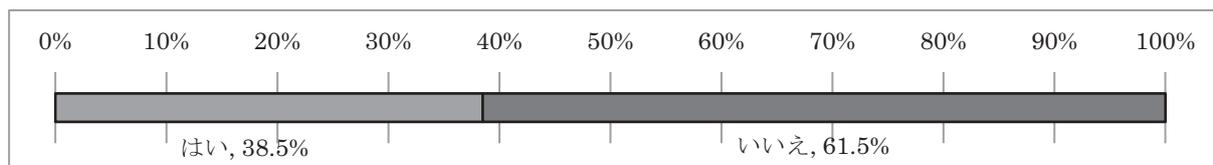
県内の中学校を卒業したのは全体の92.6%であった。青森県以外の中学校を卒業したのは、全体の7.2%であった。回答者は県内に在住しているので、全体の7.2%がIターン者である。（p30を参照）

問3 現在、あなたはどなたと同居していますか。一緒に暮らしている方すべてに○をつけてください。一人暮らしの方は、「11. 一人暮らし」に○をつけてください。（回答数/1,052）



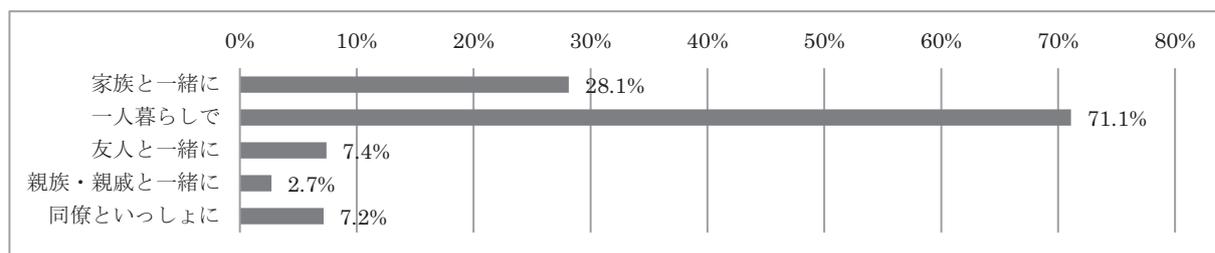
[その他の記述]・叔父(5名) ・叔母(6名) ・叔父、叔母 ・甥(2名) ・姪(5名) ・姪、甥 ・夫の姪 ・義理の妹
・義理の祖母 ・義理の姉、子 ・いとこ ・同僚 ・婚約者 ・彼氏 ・彼女 ・恋人

問4 あなたは、これまでに青森県以外の都道府県で1年以上生活したことがありますか。いずれかに○をつけてください。（回答数/1,052）



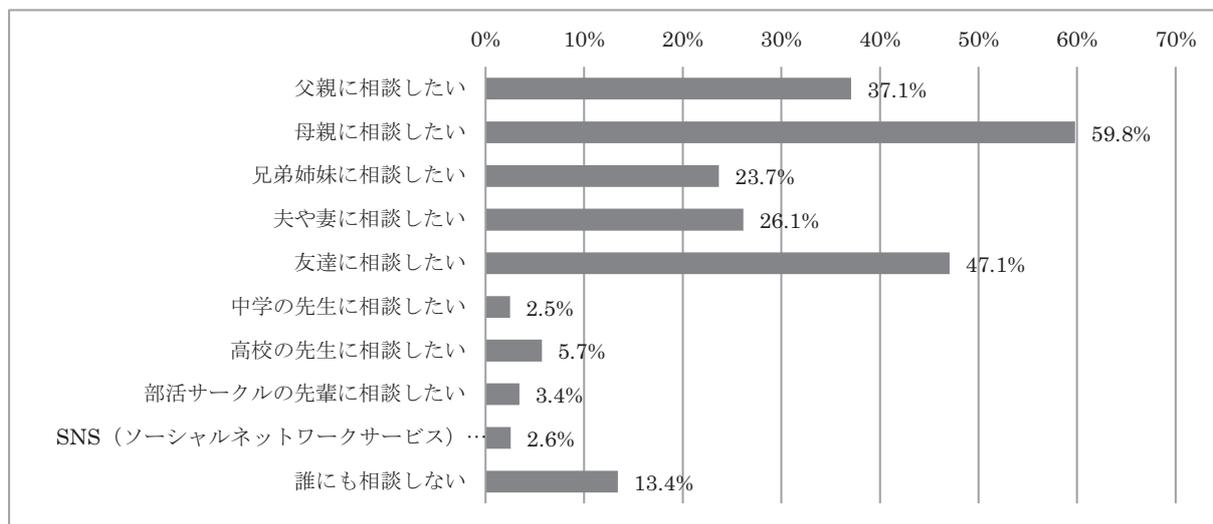
全体の38.5%が、県外で1年以上生活した経験があることがわかった。回答者は県内に在住しているのので、全体の38.5%が、U・I・Jターン者である。（※U・Jターン者 31.4%）

問4-① 問4で「はい」と答えた方にお聞きします。青森県以外の都道府県で1年以上生活したときは、どなたと一緒にでしたか。あてはまるものすべてに○をつけてください。回答数/405



県外で1年以上生活した経験のある若者のうち、最も多いのが「一人暮らし」の71.1%で、次いで「家族と一緒に」の28.1%であった。（※U・Jターン者の一人暮らしは、全体の63.5%）

問5 あなたは、将来の夢や就きたい職業について相談するとしたら、誰に相談したいですか。あてはまるものすべてに○をつけてください。（回答数/1,052）

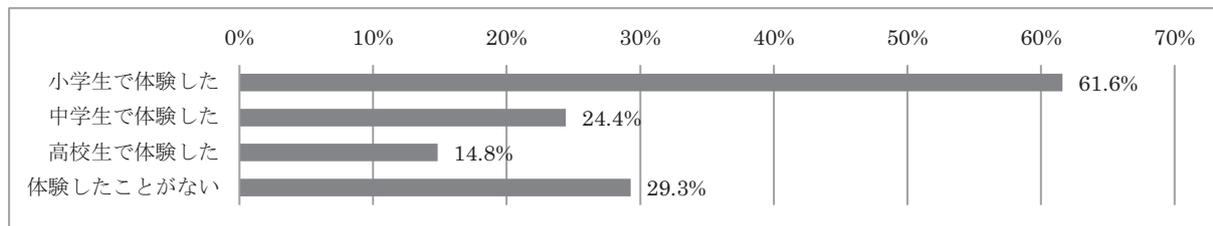


将来の夢や就きたい職業について相談したい相手は、最も多いのが「母親」で59.8%、次いで「友達」が47.1%、「父親」が37.1%である。また、「誰にも相談しない」が13.4%であった。

2 若者の学習・生活体験

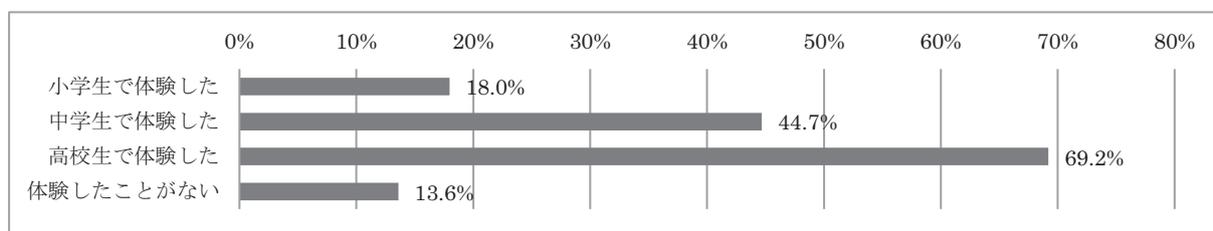
問6 あなたの小学生・中学生・高校生のときのことについてお聞きます。以下のことを体験したことがありますか。それぞれの項目ごとにあてはまるものすべてに○をつけてください。

＜学校行事以外で、野外で炊事したりテントに泊まったりしたことがある＞ (回答数/1,052)



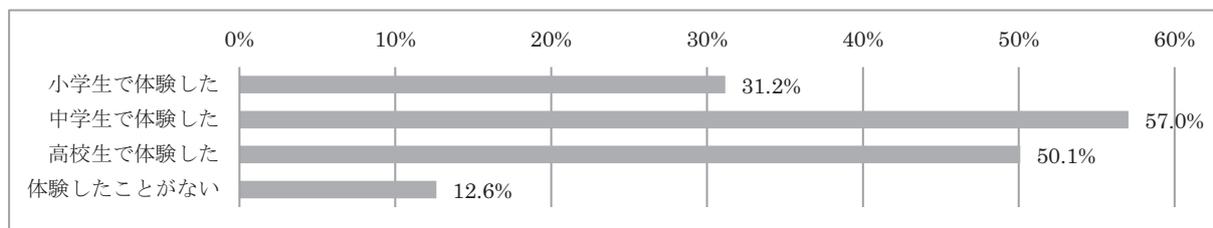
小学生での体験が最も多く61.6%、「体験したことがない」は全体の29.3%と3割近くの若者は野外で炊事したりテントに泊まったりしたことがない。

＜興味のある仕事について、本やインターネットで調べたことがある＞



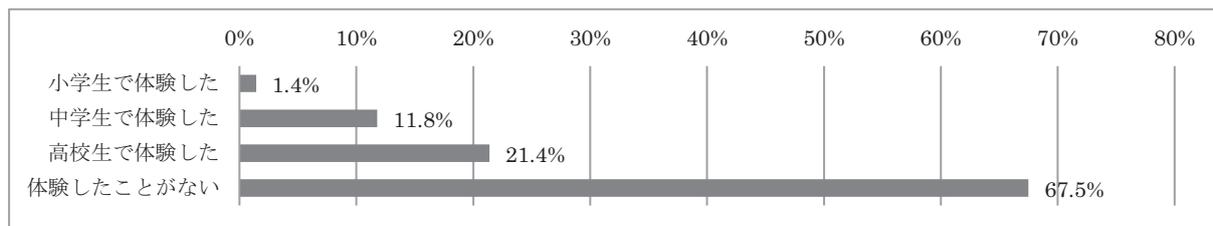
仕事について調べた経験については、「高校生で体験した」が最も多く69.2%、次いで「中学生で体験した」が44.7%となっており、年代が上がるにつれて、仕事についての興味関心が高くなっている。

＜職場見学や職場訪問をしたことがある＞



職場見学や職場訪問については、「中学生で体験した」が最も多く57.0%、次いで「高校生で体験した」が50.1%となっており、「体験したことがない」12.6%を除くと9割近くが体験している。

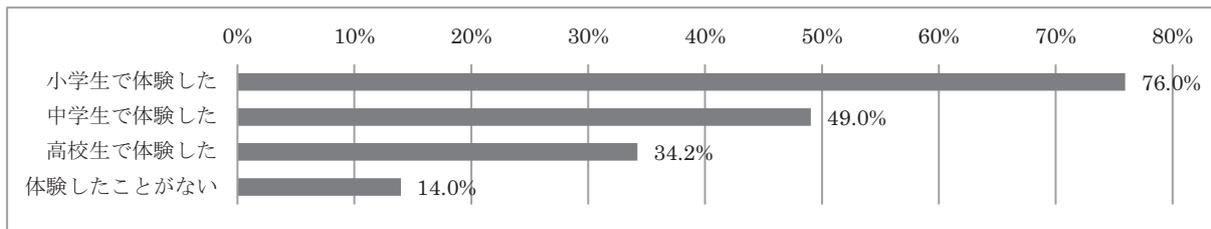
＜4日以上職場体験やインターンシップを体験したことがある＞



長期の職場体験やインターンシップについては、全体の67.5%が体験したことがないと回答している。

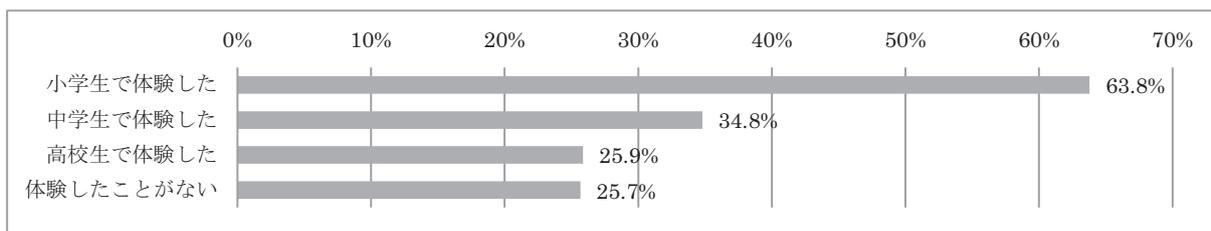
＜地域の祭りに参加したことがある＞

(回答数／1,052)



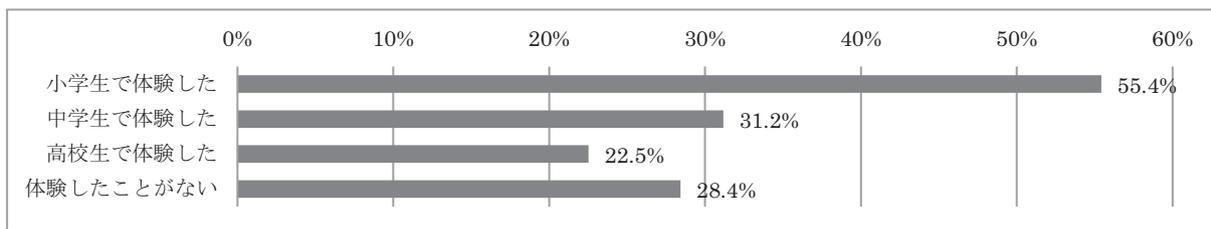
地域の祭りには、全体の76.0%が小学生で体験しているが、年代が上がるにつれて、参加する割合が低くなっていく傾向にある。

＜地域のイベントに参加したことがある＞



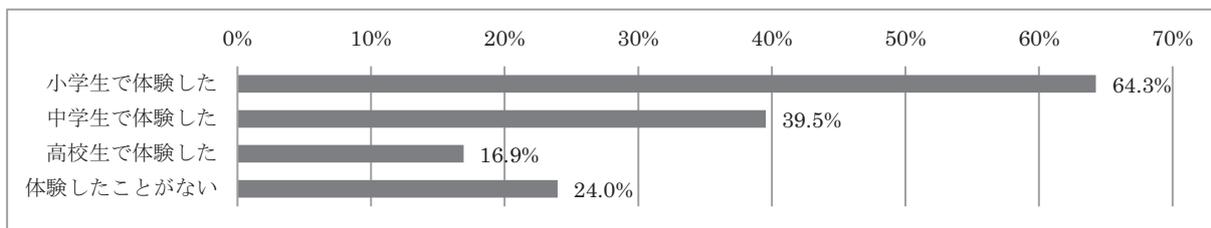
地域のイベントには、地域の祭りと同様に年代が上がるにつれて、参加する割合が低くなっていく傾向にある。「体験したことがない」と回答した若者は、25.7%と4人に1人は参加したことがないと回答している。

＜地域のイベントの手伝いやゴミ拾いなどに参加したことがある＞



地域のイベントの手伝いやゴミ拾いには、地域の祭りやイベントと同様に年代が上がるにつれて、参加する割合が低くなっていく傾向にある。小学生で体験したのは55.4%と地域の祭りと比較して20ポイント程度低くなっている。また、「体験したことがない」と回答した若者は、28.4%と地域のイベントと同様に4人に1人は参加したことがないと回答している。

＜有料の学習塾やピアノ教室などの習い事に通ったことがある＞

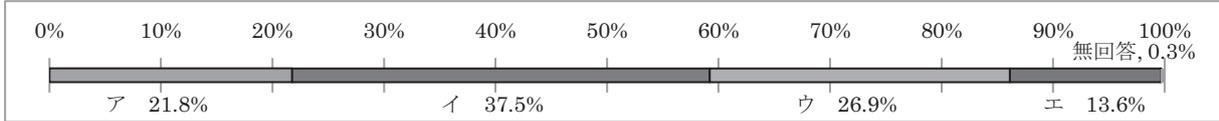


地域の祭りやイベントと同様に、有料の学習塾や習い事に通ったことがある若者は、年代が上がるにつれて、通う割合が低くなっていく傾向にある。また、「体験したことがない」若者は全体の24.0%であった。

3 若者の自己肯定感と自己有用感

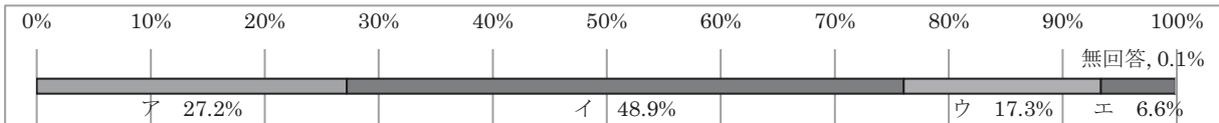
問7 あなた自身のことについてお聞きします。あなたは、以下のそれぞれについて誇りを持っていますか。あてはまるものをそれぞれ1つ選んで○をつけてください。（回答数/1,052）

<明るさ>

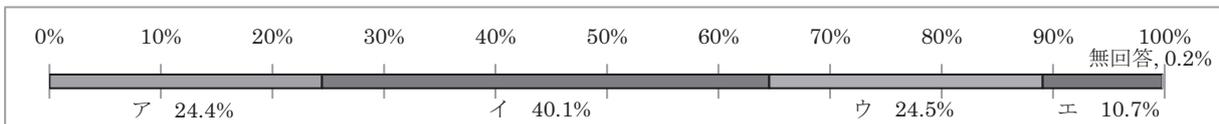


ア:誇りを持っている イ:どちらかといえば、誇りを持っている ウ:どちらかといえば、誇りを持っていない エ:誇りを持っていない

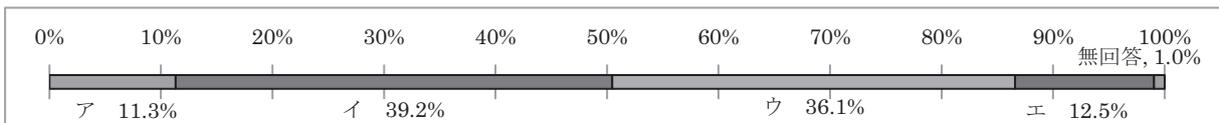
<やさしさ>



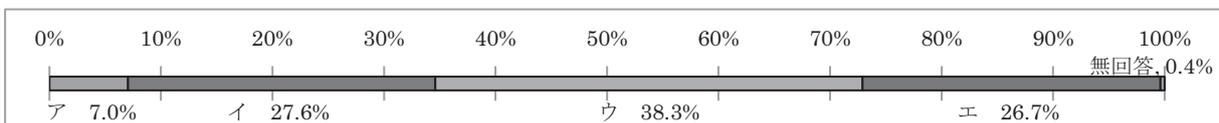
<忍耐力、努力家>



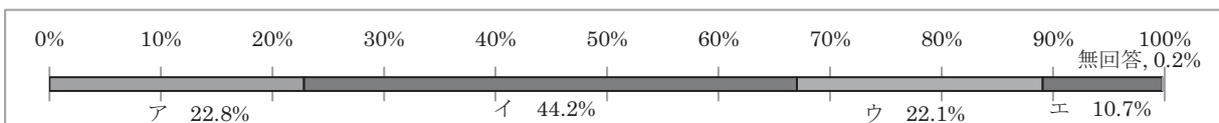
<慎み深い>



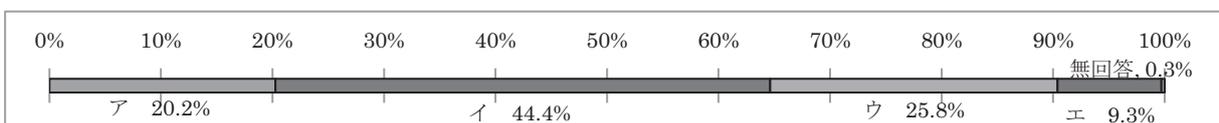
<賢さ、頭の良さ>



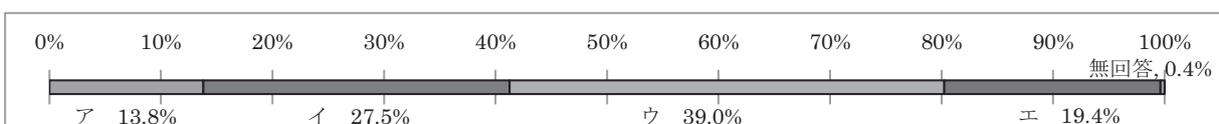
<まじめ>



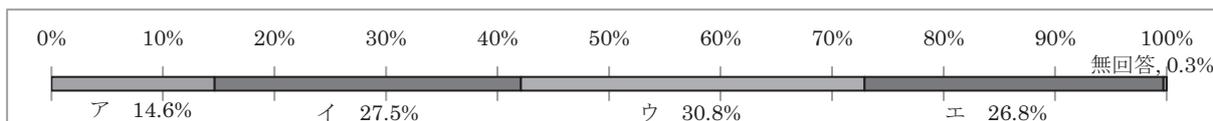
<正義感>



<決断力、意志力>

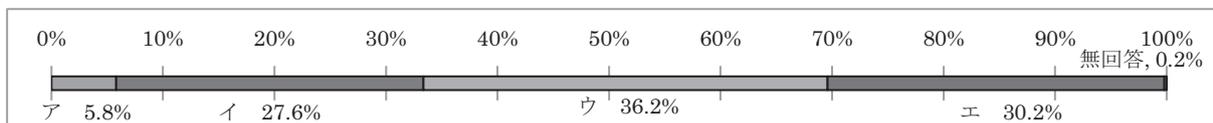


<体力、運動能力>



ア:誇りを持っている イ:どちらかといえば、誇りを持っている ウ:どちらかといえば、誇りを持っていない エ:誇りを持っていない

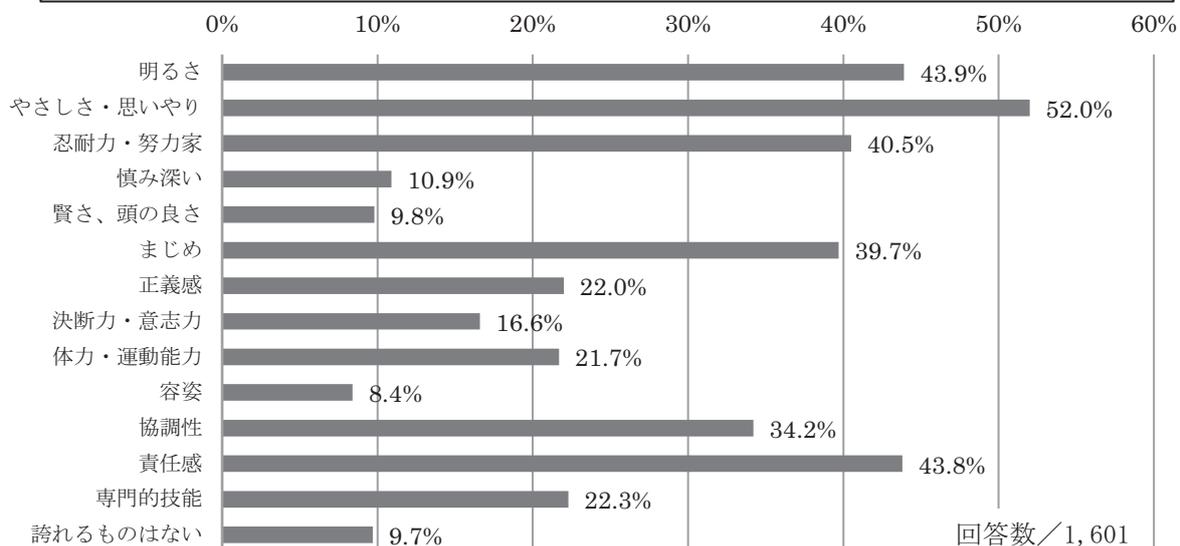
<容姿>



自分自身に誇りを持っているかについて、「誇りを持っている」と「どちらかといえば、誇りを持っている」を合わせると、「やさしさ」については4人に3人の若者が誇りを持っている。「まじめ」と「正義感」については、3人に2人の若者が誇りを持っている。「明るさ」と「忍耐力、努力家」については、6割程度の若者が誇りを持っている。「慎み深い」については、2人に1人の若者が誇りを持っている。「賢さ、頭の良さ」と「容姿」については、3人に1人の若者が誇りを持っている。

平成19年度「若年層の生活体験に関する調査研究報告書」のデータと比較すると、回答方法（複数回答）の違いがあるものの、「やさしさ」や「明るさ」、「まじめ」に誇りをもっている若者が、約10年前と比較しても多いことがわかる。また、「賢さ、頭の良さ」と「容姿」についても、同様に誇りを持っていない若者が多いことがわかる。

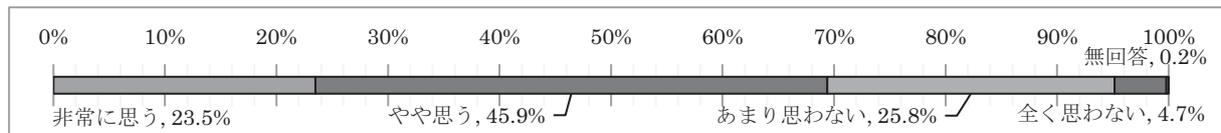
Q 現在、あなたは自分自身について誇れるものを持っていますか。この中からあてはまるものをいくつでも選んでください。（複数回答）



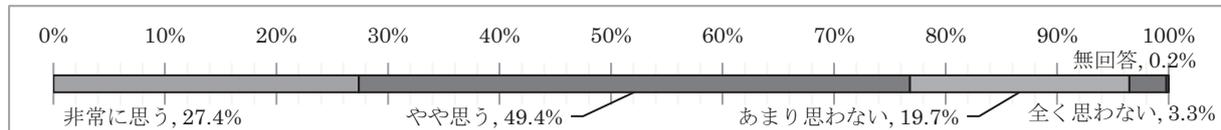
※参考：平成19年度「若年層の生活体験に関する調査研究報告書」より

問8 あなた自身と家族との関わりについてお聞きします。以下のことを、どの程度考えますか。それぞれの項目についてお答えください。(回答数/1,052)

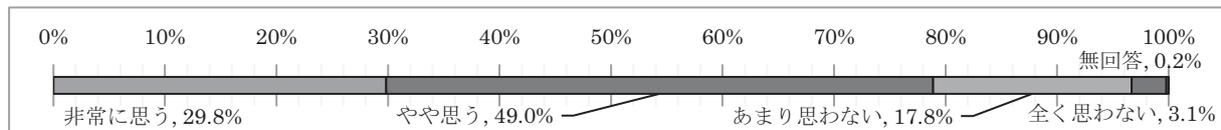
<自分は、家族の役に立っている>



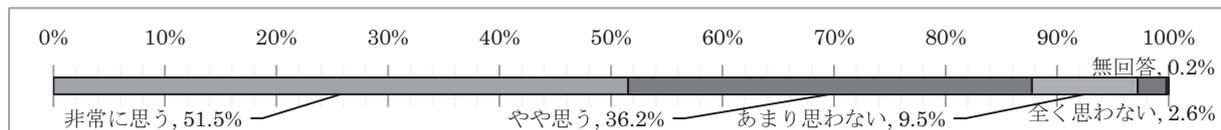
<自分は、家族から信頼されている>



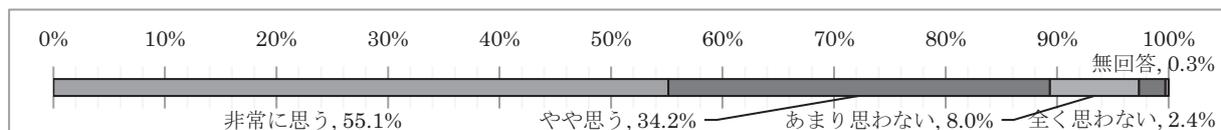
<自分は、家族から頼りにされている>



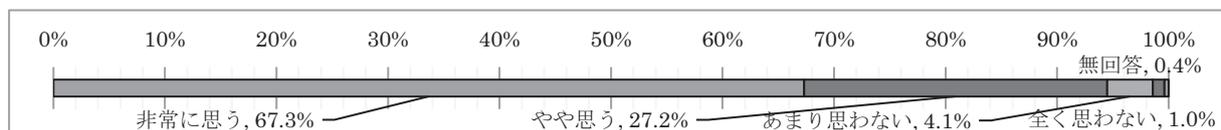
<自分は、家族と一緒にいると安心できる>



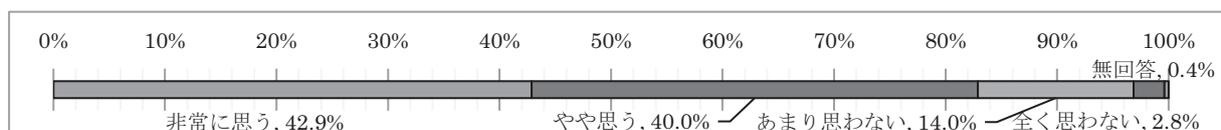
<自分は、家族を信頼している>



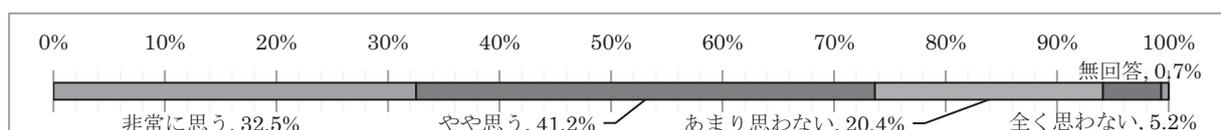
<自分は、家族に支えられている>



<自分は、家族から「ありがとう」と言われることがある>



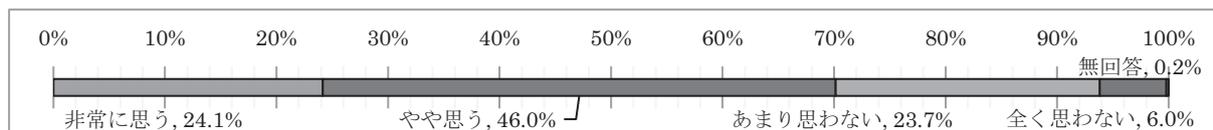
<自分は、家族からほめられることがある>



<自分は、家族の手伝いをするがある>



＜自分は、家族が納得するような意見を言うことがある＞

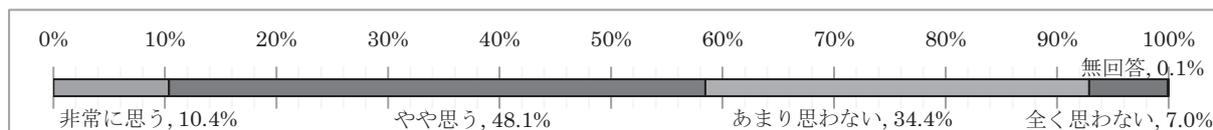


自分自身と家族との関わりについては、「非常に思う」と「やや思う」を合わせると、9割以上の若者が「家族に支えられている」と回答している。「家族と一緒にいると安心できる」と「家族を信頼している」については、8割以上の若者が思うと回答している。「家族から信頼されている」、「家族から頼りにされている」、「家族からほめられることがある」、「家族が納得するような意見を言うことがある」については、7割以上の若者が思うと回答している。「家族の役に立っている」については、6割以上の若者が思うと回答している。

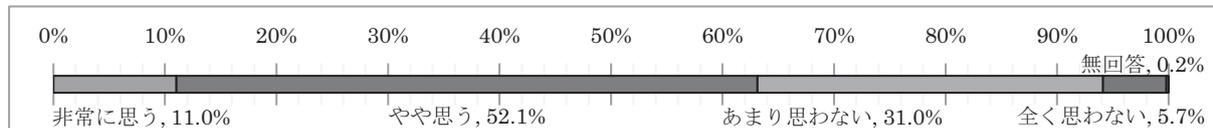
ただし、「非常に思う」のみの回答率を見ると、「家族の役に立っている」、「家族から信頼されている」、「家族から頼りにされている」、「家族が納得いくような意見を言うことがある」については、「家族に支えられている」が5割以上の回答率に対して、3割以下となっている。

問9 あなた自身と学校、職場、地域など、周囲の人との関わりについてお聞きします。以下のことを、どの程度考えますか。それぞれの項目についてお答えください。（回答数/1,052）

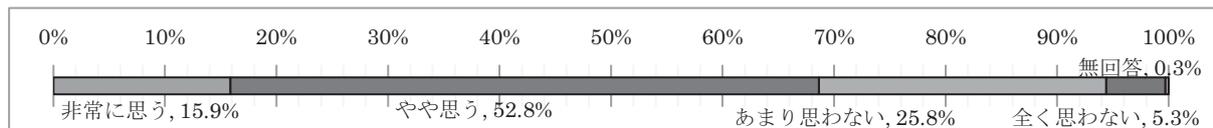
＜自分は、周囲の人の役に立っている＞



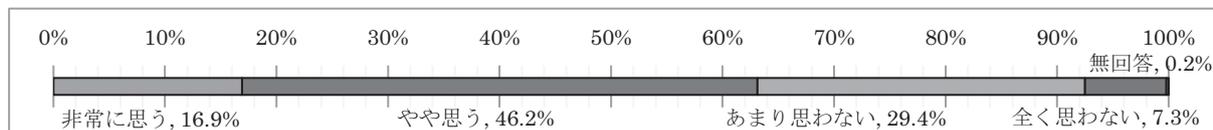
＜自分は、周囲の人から信頼されている＞



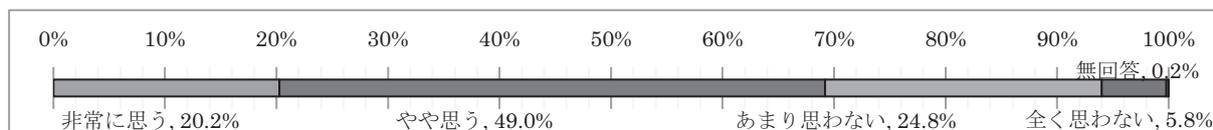
＜自分は、周囲の人から頼りにされることがある＞



＜自分は、周囲の人と一緒にいると安心できる＞

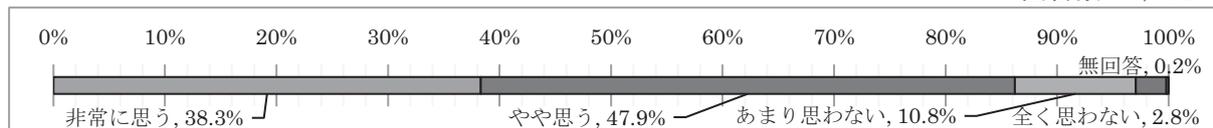


＜自分は、周囲の人を信頼している＞

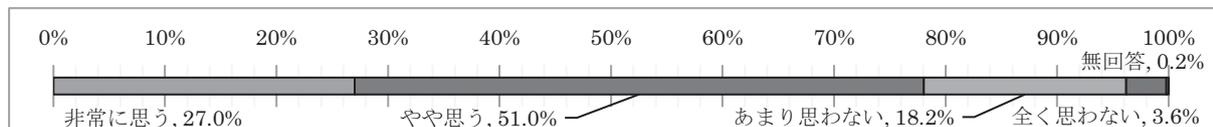


＜自分は、周囲の人に支えられている＞

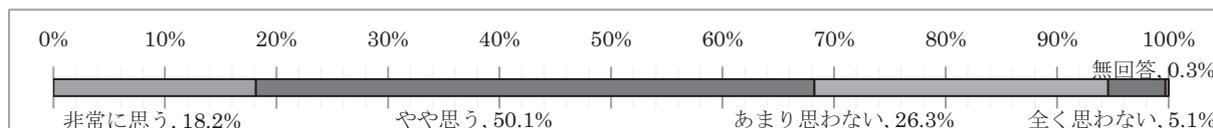
回答数／1,052



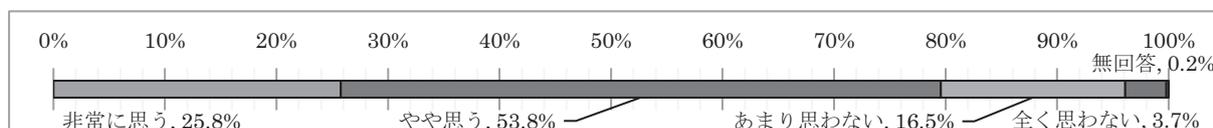
＜自分は、周囲の人から「ありがとう」と言われることがある＞



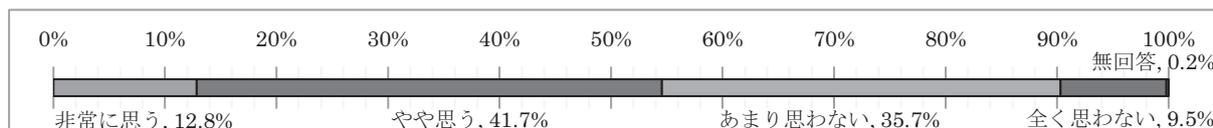
＜自分は、周囲の人からほめられることがある＞



＜自分は、周囲の人の手伝いすることがある＞



＜自分は、周囲の人の手伝いすることがある＞

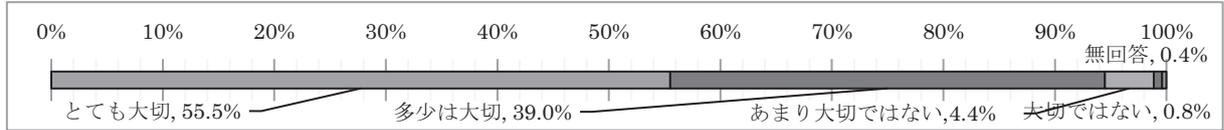


自分自身と周囲との関わりについては、「非常に思う」と「やや思う」を合わせると、8割以上の若者が「周囲の人に支えられている」と回答している。「周囲の人からありがとうと言われることがある」と「周囲の人の手伝いをすることがある」については、7割以上の若者が思うと回答している。「周囲の人から信頼されている」、「周囲の人から頼りにされることがある」、「周囲の人と一緒にいると安心できる」、「周囲の人を信頼している」、「周囲の人からほめられることがある」については、6割以上の若者が思うと回答している。「周囲の人の役に立っている」と「周囲の人の手伝いすることがある」については、5割以上の若者が思うと回答している。

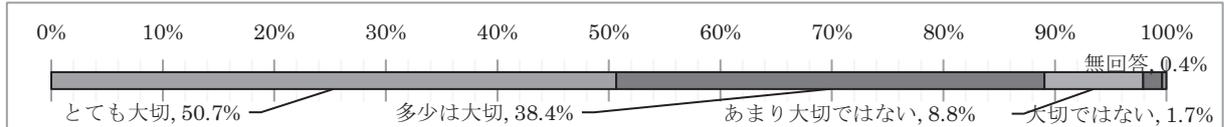
4 若者の職業観と就業意識

問 10 あなたは、仕事をする上で次のような事柄はどれくらい大切だと思いますか。それぞれの項目についてお答えください。（回答数／1,052）

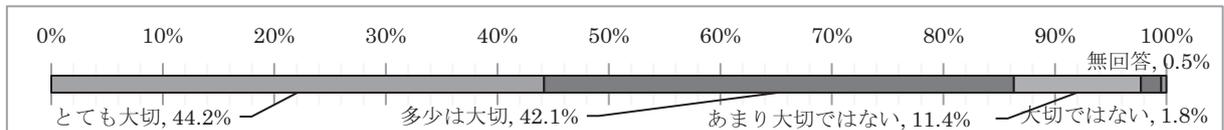
＜自分の個性や能力・資格が生かせること＞



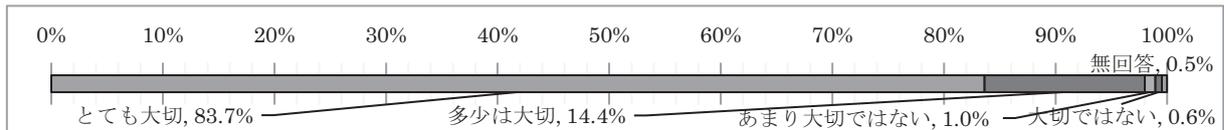
＜自分のやりたい仕事であること＞



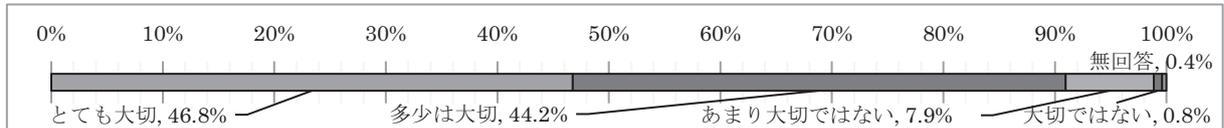
＜仕事を通して資格や技術が身につけられること＞



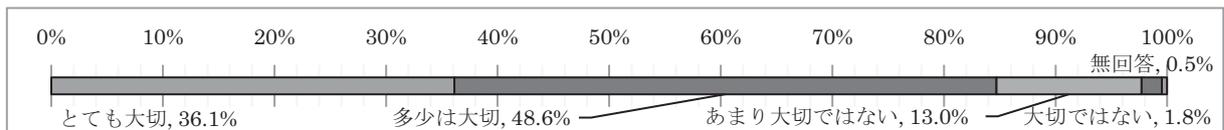
＜職場の雰囲気や人間関係が良いこと＞



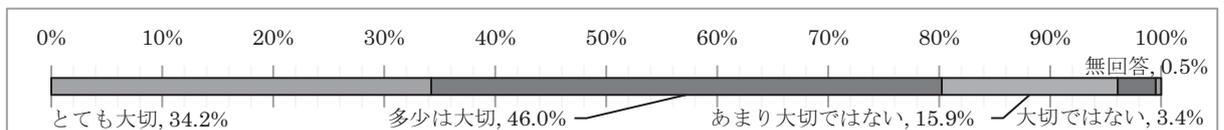
＜給料が高いこと＞



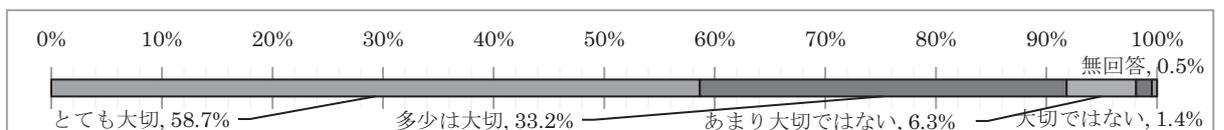
＜休みが多いこと＞



＜残業や休日出勤がないこと＞

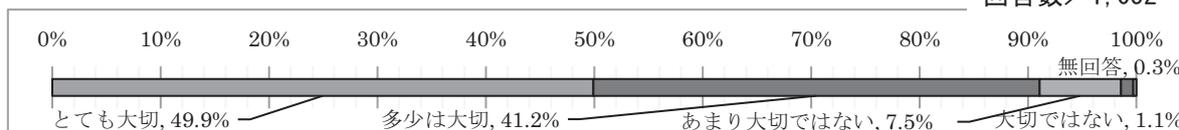


＜家庭や趣味と両立できること＞

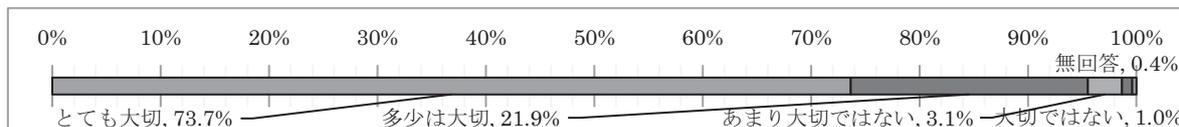


<通勤しやすい場所であること>

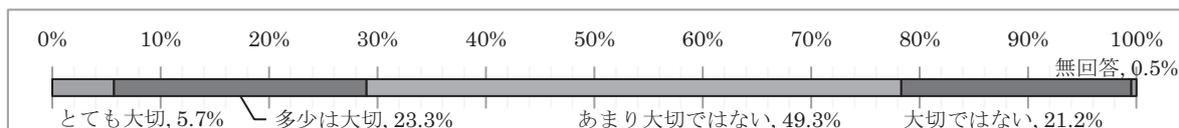
回答数/1,052



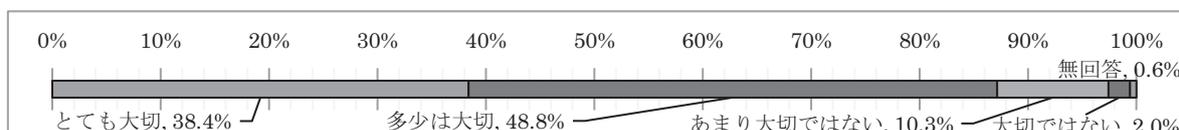
<長い期間にわたって安定して働けること>



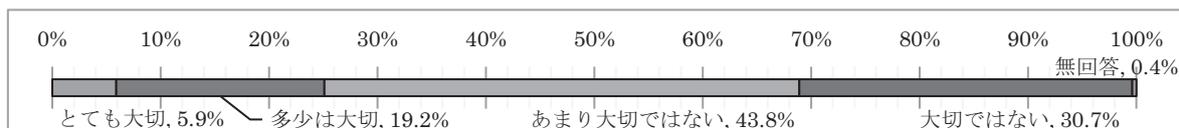
<有名な会社であること>



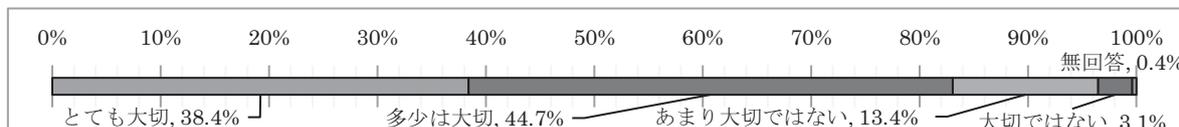
<働く会社に将来性があること>



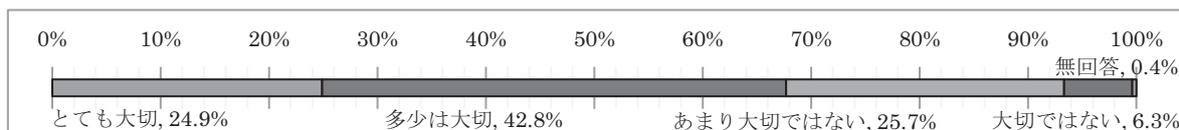
<将来、独立して自分で事業を起こせること>



<他の人や社会のために役立つ仕事であること>



<他の人や社会から尊敬される仕事であること>

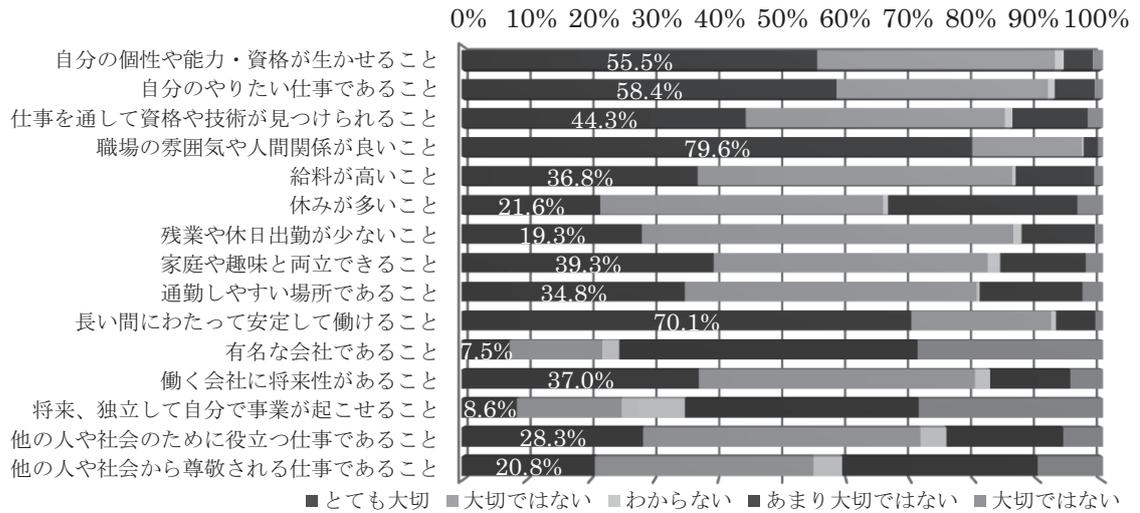


仕事をする上で大切だと思うことについては、「とても大切」と「多少は大切」を合すると、9割以上の若者が「自分の個性や能力・資格が生かせること」、「職場の雰囲気や人間関係が良いこと」、「給料が高いこと」、「家庭や趣味と両立できること」、「通勤しやすい場所であること」、「長い期間にわたって安定して働けること」が大切であると回答している。「自分のやりたい仕事であること」、「仕事を通して資格や技術が身につけられること」、「休みが多いこと」、「残業や休日出勤がないこと」、「働く会社に将来性があること」、「他の人や社会のために役立つ仕事であること」については、8割以上の若者が大切であると回答している。

「有名な会社であること」や「将来、独立して自分で事業を起こせること」については、大切であると回答した割合は3割以下となった。

新しい仕事を探すときに、次のような事柄はどれくらい大切か。

回答数／1,413

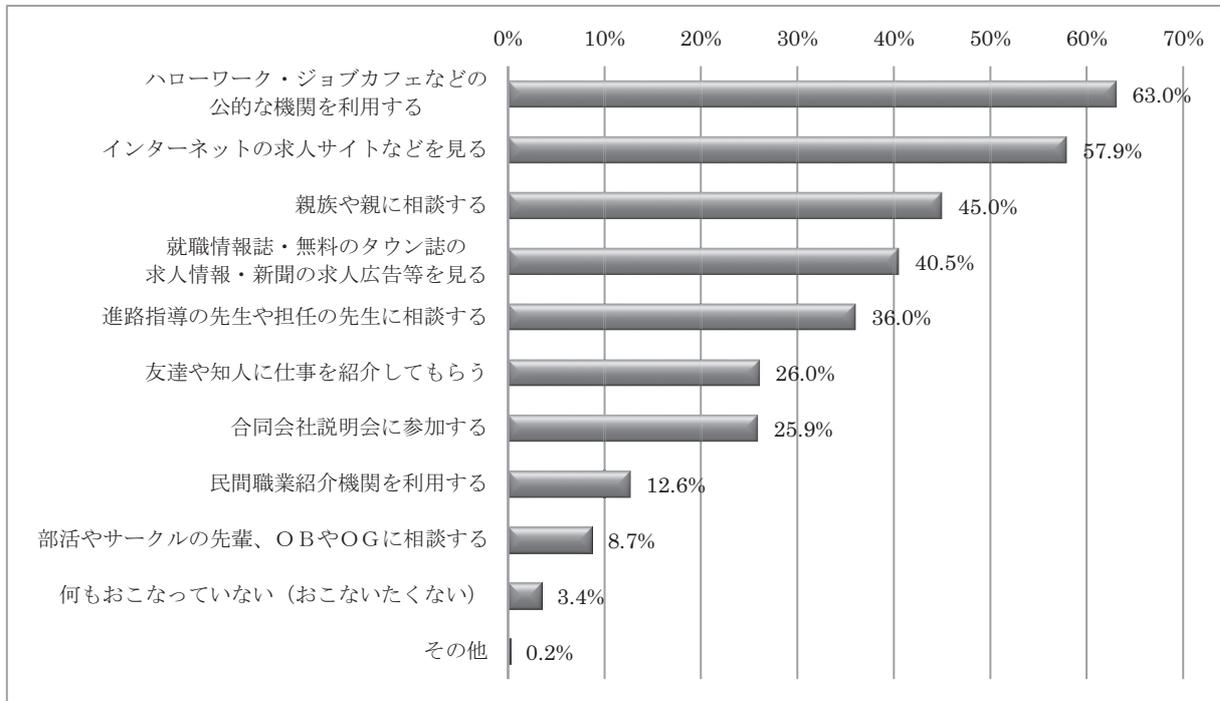


※参考 平成18年度「若年層の職業観と学習活動に関する調査研究報告書」より

平成18年度「若年層の職業観と学習活動に関する調査研究報告書」のデータと比較すると、「給料が高いこと」、「休みが多いこと」、「残業や休日出勤がないこと」、「家庭や趣味と両立できること」、「通勤しやすい場所であること」の項目において、「とても大切」と答えた若者の割合が10%以上高くなっている。10年前と比較すると、職場環境の充実を望んでいることが窺える。

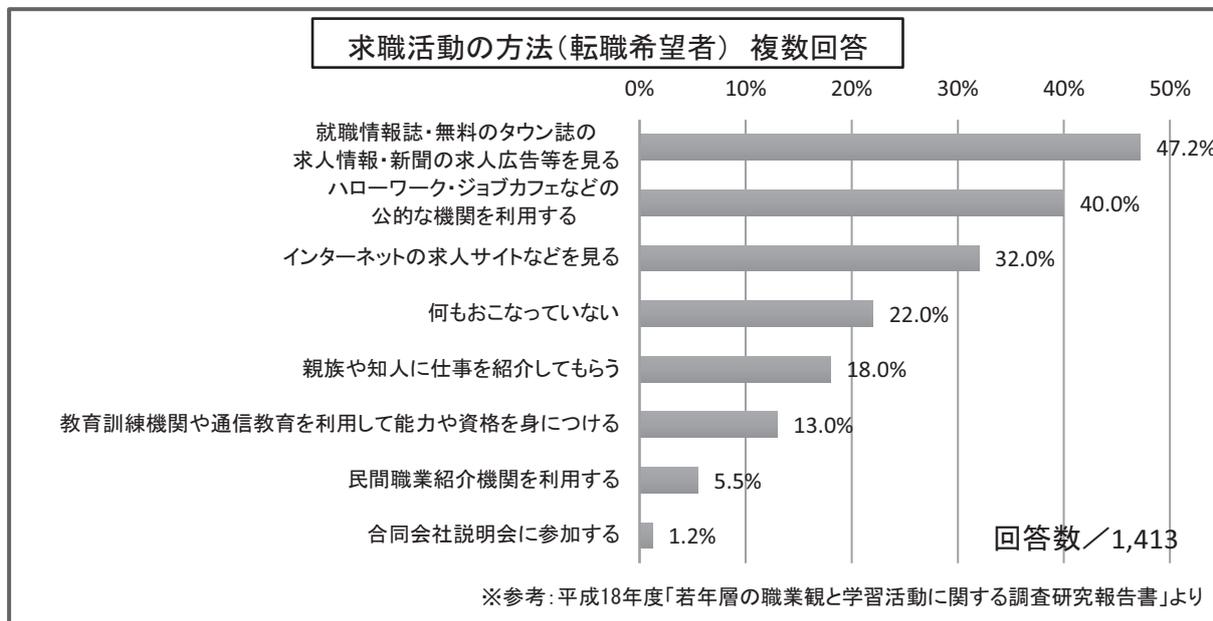
問11 あなたは、職業を選択する際に次のことをおこなったことがありますか。これから仕事を探そうとする人については、おこなってみたいことがありますか。あてはまるものすべてに○をつけてください。

回答数／1,052

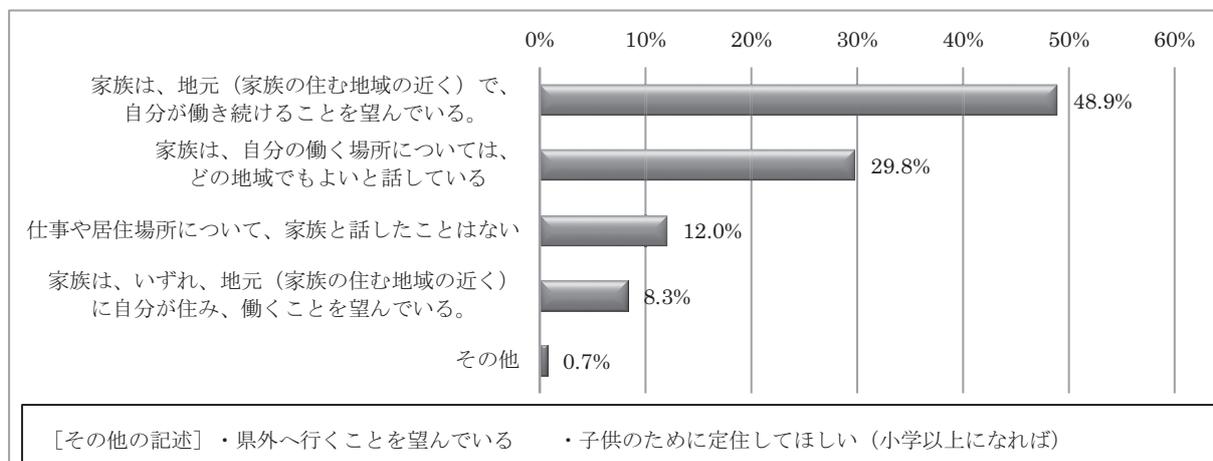


【その他の記述】・実際働いている人に話を聞く・自分で職場見学に行って目で見て確かめた・自分で勤めたい職場に連絡を取り、体験させてもらったり、自己PR書を渡して、求人情報をもらったりした。・インターシップ実習

職業を選択する際に行ったこととして、「ハローワーク・ジョブカフェなどの公的な機関を利用する」が63.0%、次いで「インターネットの求人サイトなどを見る」が57.9%、「親族や親に相談する」が45.0%であった。平成18年度「若年層の職業観と学習活動に関する調査研究報告書」（下記参照）のデータと比較すると、「インターネットの求人サイトなどを見る」で25ポイント上昇、「何もおこなっていない」に関しては19ポイント下降している。10年前と比較すると、所業選択のための情報をより積極的に収集していることが窺える。

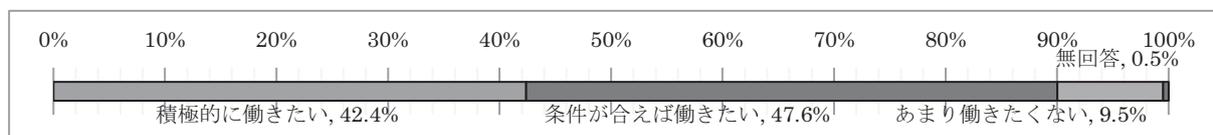


問 12 あなたのご家族は、あなたの働く場所について、どのように話していますか。次の中からあてはまるもの1つだけに○をつけてください。（回答数/1,052）

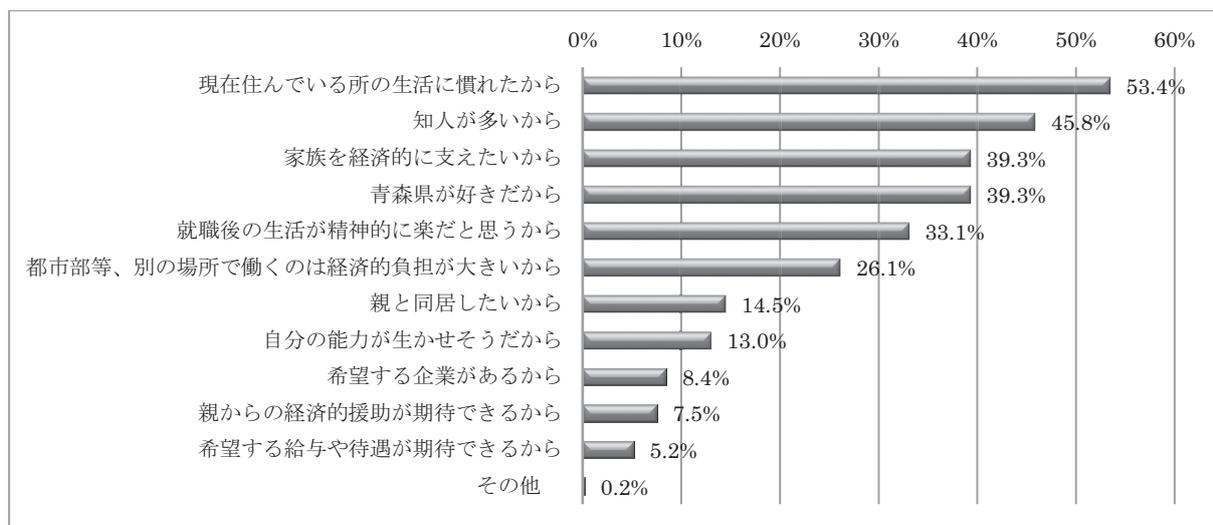


働く場所について家族は、「地元で働き続けることを望んでいる」が48.9%、次いで「どの地域でもよいと話している」が29.8%であった。

問 13 あなたは、青森県内で働くことや働き続けることに関心はありますか。あてはまるもの1つだけに○をつけてください。（回答数/1,052）



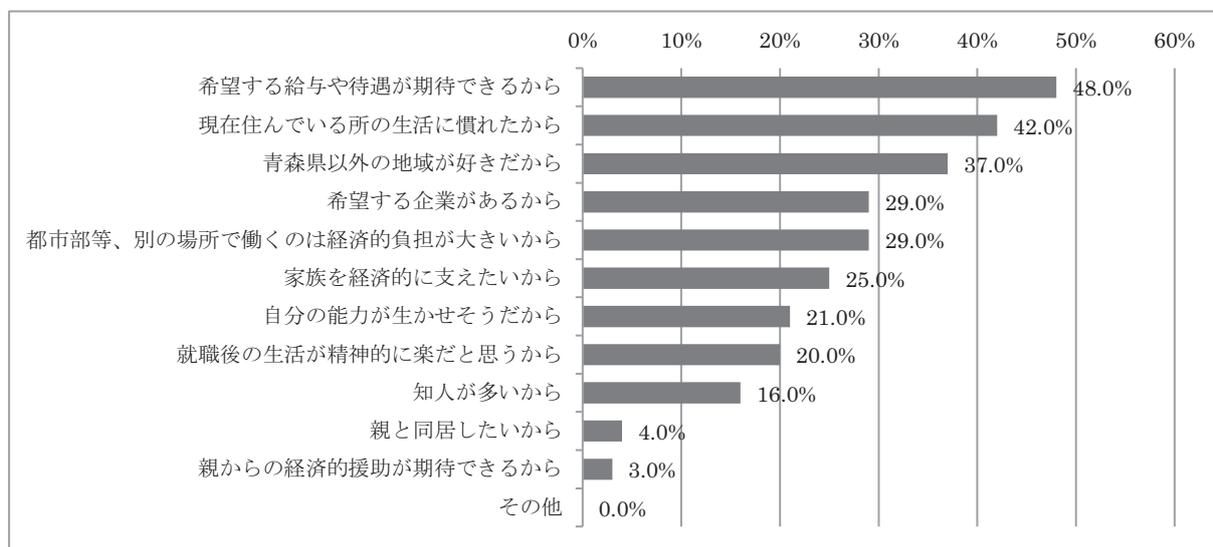
問 13-① 問 13 で「1 積極的に働きたい」「2 条件が合えば働きたい」を選んだ方にお聞きします。青森県内で働きたい理由について、次の中からあてはまるものすべてに○をつけてください。（回答数/947）



青森県内で働くことに関心があるかについては、「積極的に働きたい」と「条件が合えば働きたい」を合わせると、9割の若者が働きたいと回答している。その理由については、「現在住んでいる所の生活に慣れたから」が53.4%で最も多く、次いで「知人が多いから」が45.8%、「家族を経済的に支えたいから」と「青森県が好きだから」が39.3%であった。

問 13-② 問 13 で「3 あまり働きたくない」を選んだ方にお聞きします。青森県以外の場所で働きたい理由について、次の中からあてはまるものすべてに○をつけてください。

回答数/100

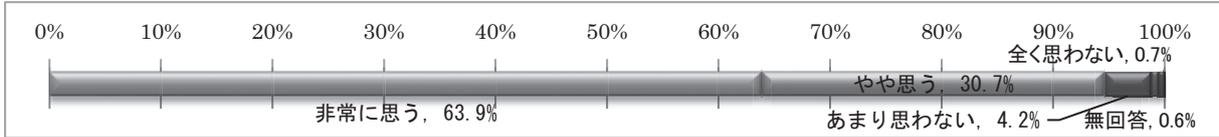


青森県内で働くことに関心があるかについては、およそ1割の若者が「あまり働きたくない」と考えている。その理由については、「県外だと希望する給与や待遇が期待できるから」が48.0%と最も多く、次いで「現在住んでいる所の生活に慣れたから」が42.0%、「青森県以外の地域が好きだから」が37.0%であった。

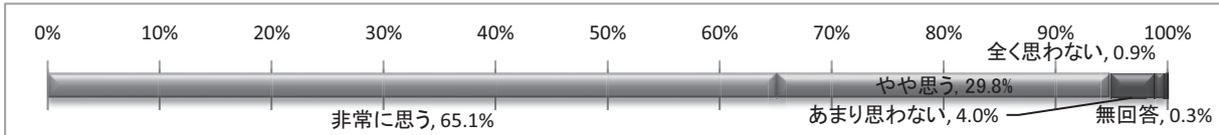
5 若者の青森県に対するイメージ

問 14 青森県について、どのようなイメージを持っていますか。それぞれの項目についてお答えください。 (回答数/1,052)

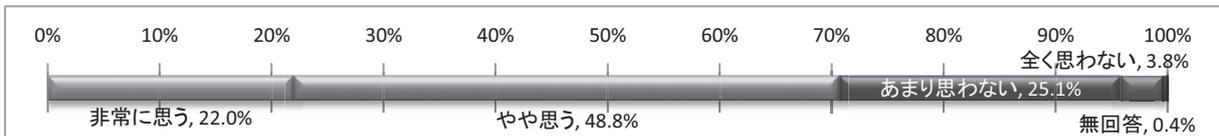
＜豊かな自然環境に恵まれている＞



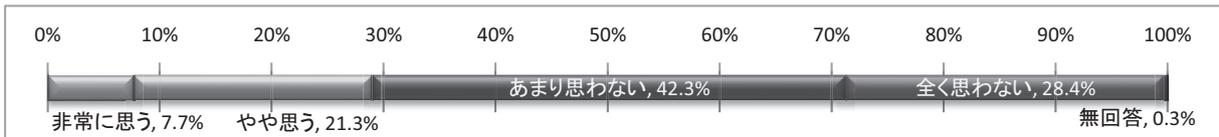
＜おいしい食やきれいな水に恵まれている＞



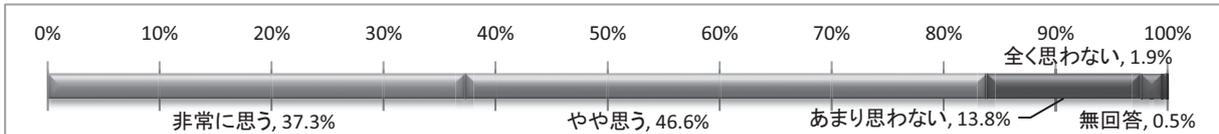
＜犯罪や交通事故などが少ないなど、安心して暮らすことができる＞



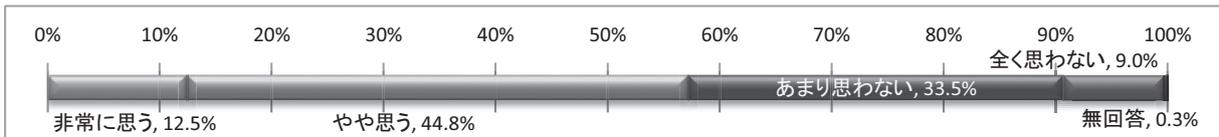
＜通勤・通学や買い物など身近な交通の便が良い＞



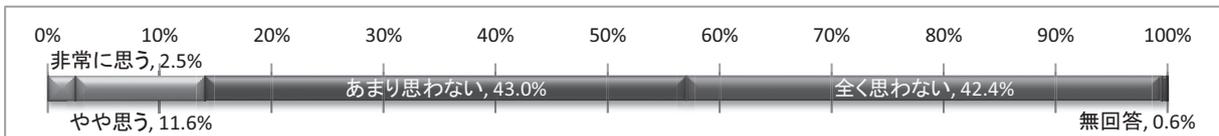
＜伝統的な祭りや伝統芸能が盛んである＞



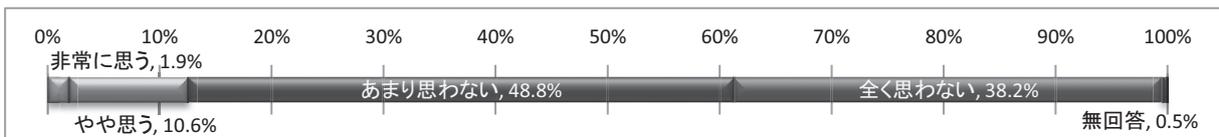
＜近所付き合いがよく、温かい人間関係が大切にされている＞

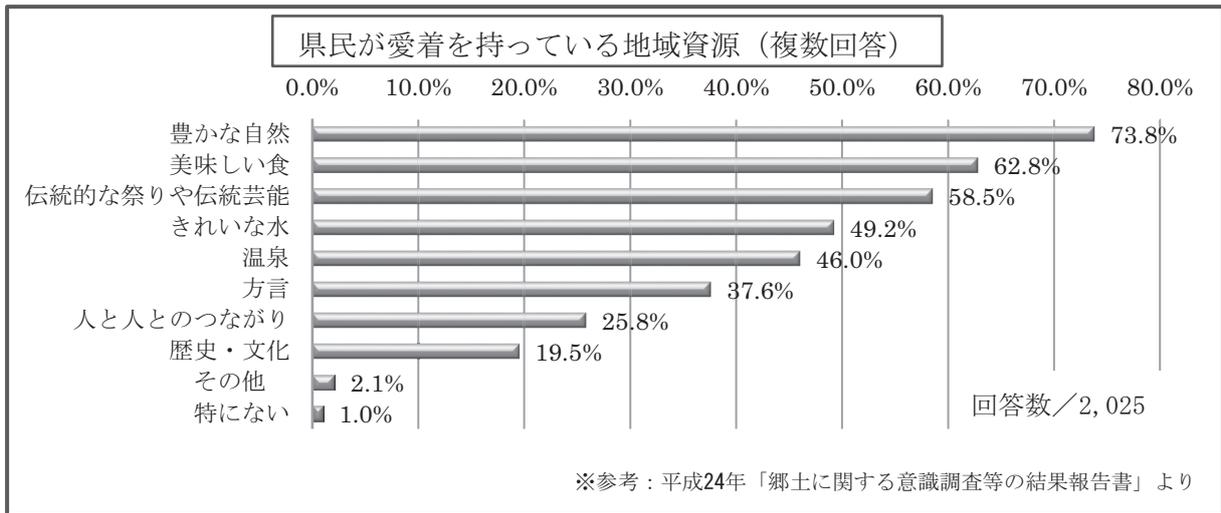


＜商業施設や娯楽施設等が充実している＞



＜産業が盛んで、働く場に恵まれている＞





青森県に対しては、「非常に思う」と「やや思う」を合わせると、9割以上の若者が「豊かな自然環境に恵まれている」と「おいしい食やきれいな水に恵まれている」というイメージを持っている。次いで、8割以上の若者が「伝統的な祭りや伝統芸能が盛んである」というイメージを持っている。

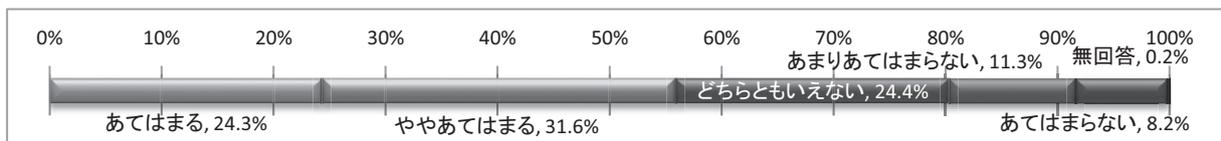
この結果は、平成24年度に実施された「郷土に関する意識に関する意識調査」においても、上位の3項目が一致している。

問 15 あなたは、あなたと青森県との関係について、どのように感じていますか。それぞれの項目についてお答えください。（回答数／1,052）

＜私は青森県に必要な人材であると感じる＞



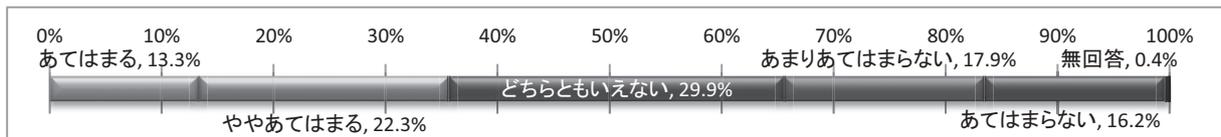
＜私はこの青森県の将来のことが、とても気になる＞



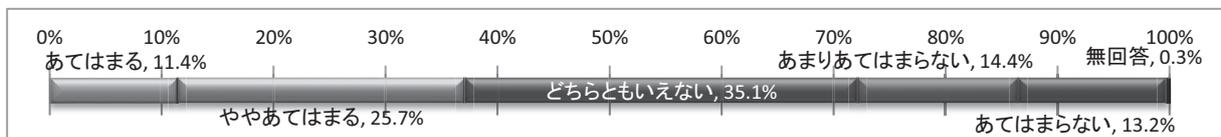
＜私はこの青森県に愛着を感じる＞



＜青森県を離れることは、たとえ離れたくても、大変困難であると感じる＞



＜私が青森県にいるのは、そうしたいからと同時に必要と感じているからである＞



青森県については、「あてはまる」と「ややあてはまる」を合わせると、約7割の若者が愛着を感じると回答している。青森県の将来については、5割以上の若者がとても気になると回答している。3割程度の若者は、青森県を離れることが大変困難であると感じており、青森県にいるのは必要と感じているからと回答している。

6 若者の人間関係について

問 16 あなたの家族や親せきを含めて、次のような相手がどのくらいいますか。(〇はそれぞれ1つずつ) (回答数/1,052)

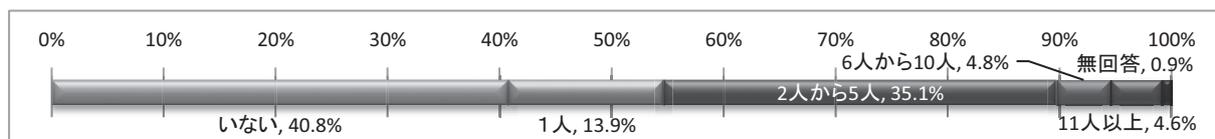
<困ったときに相談に乗ってくれる人>



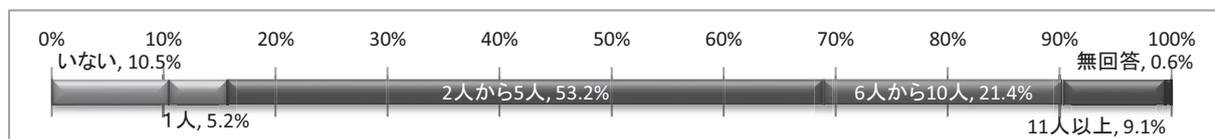
<個人的な悩みを話せる人>



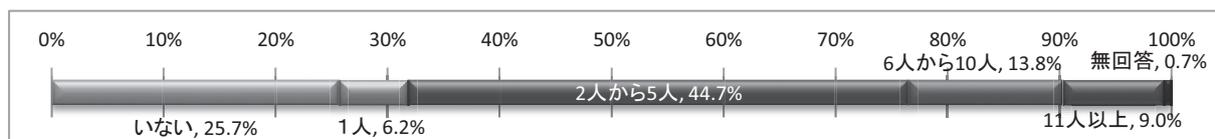
<同じ目標を目指して一緒に何かしている人>



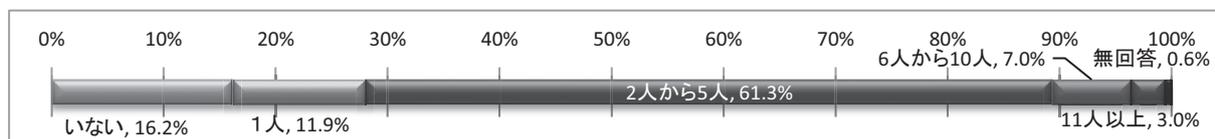
<地元で一緒に遊ぶ人>



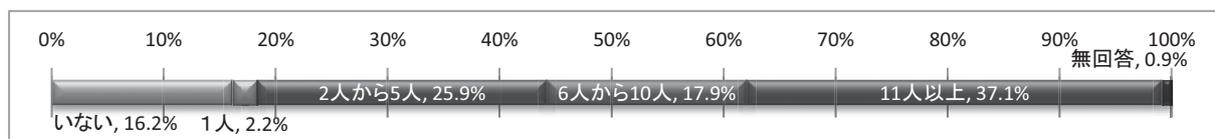
<地元以外で一緒に遊ぶ人>



<何かについて、自分に頼ってくれる人>



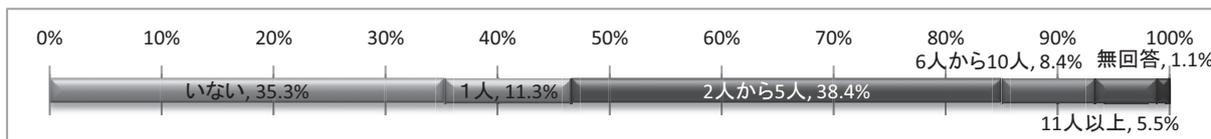
<特に親しくはないが、一緒に仕事や活動をする人>



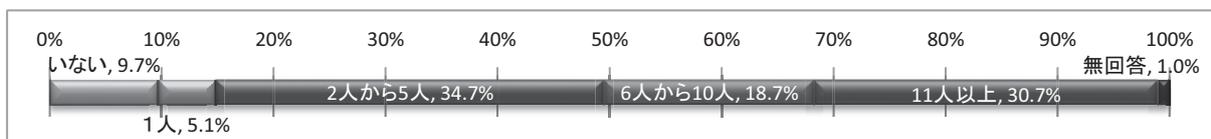
若者の人間関係については、「困ったときに相談にのってくれる人」や「個人的な悩みを話せる人」は、7割以上の若者が2人から5人いると回答している。「同じ目標を目指して一緒に何かしている人」については、4割以上の若者がいないと回答している。

問17 次のような場所に住んでいる友人や知人は、家族や親戚を含めてどのくらいいますか。(〇はそれぞれ1つずつ) (回答数/1,052)

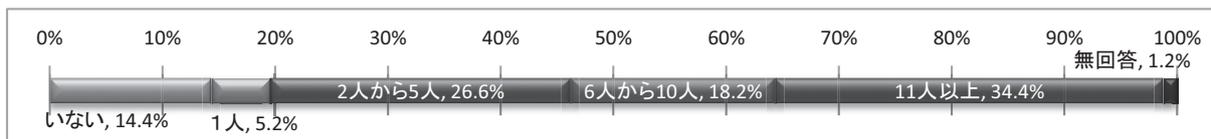
<徒歩で10分以内のところに住んでいる人>



<徒歩で10分よりかかるが、同じ市町村に住んでいる人>



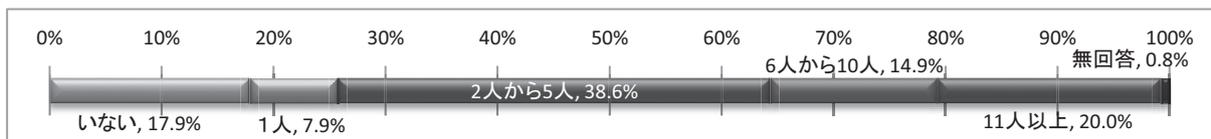
<同じ市町村ではないが、県内に住んでいる人>



<青森県外の東北地域に住んでいる人>



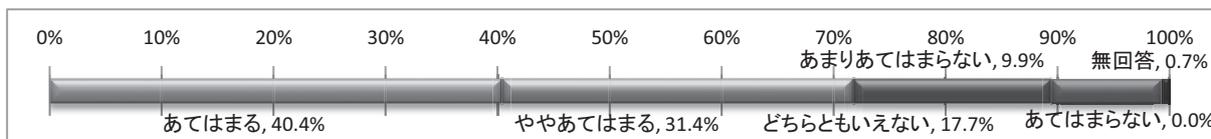
<関東地方に住んでいる人>



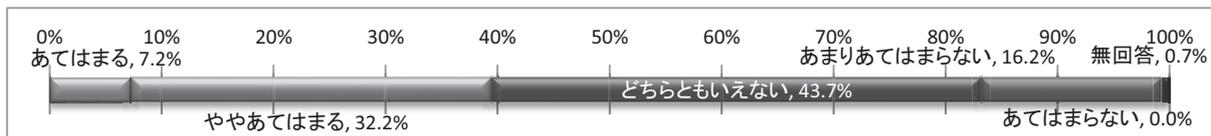
徒歩で10分以内のところに住んでいる友人や知人の数は、2人から5人が最も多く38.4%であった。同じ市町村に住んでいる友人や知人の数は、2人から5人が最も多く34.7%であった。県内に住んでいる友人や知人の数は、11人以上が最も多く34.4%であった。青森県以外の東北地域に住んでいる友人や知人の数は、2人から5人が最も多く33.7%であった。関東地方に住んでいる友人や知人の数は、2人から5人が最も多く38.6%であった。

問 18 あなたは、他の人との関係について、以下のことはあなたご自身にどれくらい当てはまりますか。（○はそれぞれ1つずつ）（回答数/1,052）

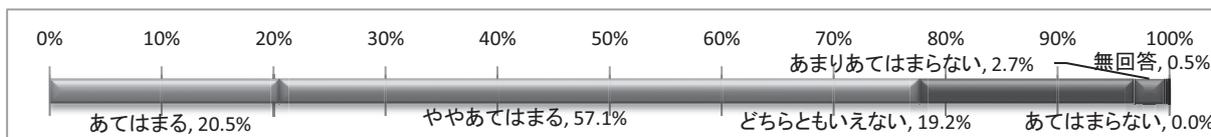
＜知らない人がたくさんいる場所は苦手だ＞



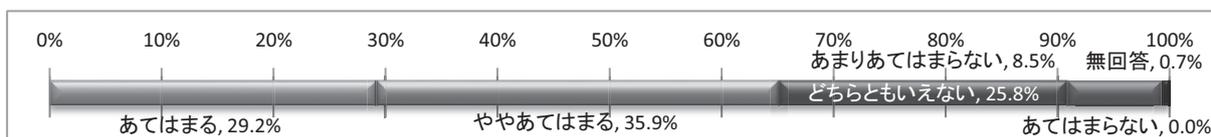
＜自分の気持ちを相手にうまく伝えられる＞



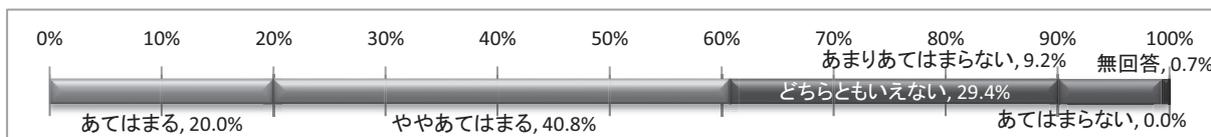
＜相手の言いたいことは察することができる＞



＜人に嫌われないかいつも心配している＞



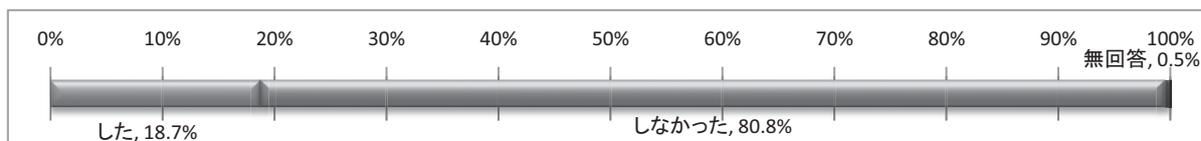
＜自分の意見が他の人に賛成してもらえないと不安になる＞



他の人との関係について、「知らない人がたくさんいる場所は苦手だ」に対し、7割以上の若者が苦手だと感じている。「相手の言いたいことは察することができる」に対し、7割以上の若者があてはまると回答している。「人に嫌われないかいつも心配している」や「自分の意見が他の人に賛成してもらえないと不安になる」に対し、6割以上の若者があてはまると回答している。「自分の気持ちをうまく伝えられる」に対しては、約4割の若者があてはまると回答している。

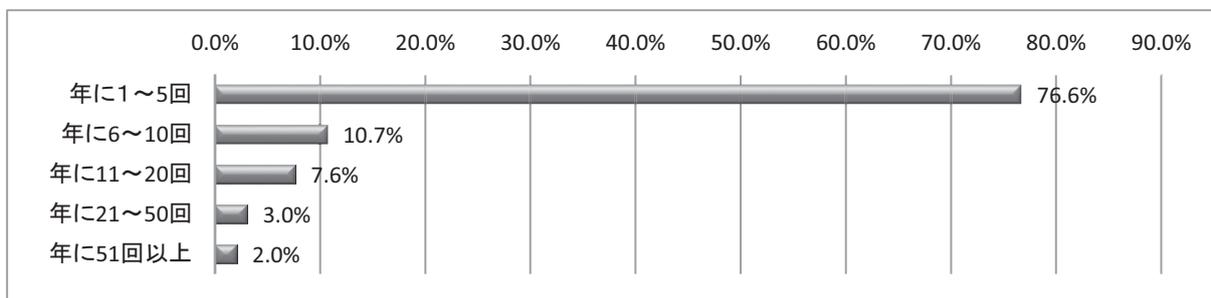
7 若者の社会参加活動について

問 19 あなたは、現在も含めて、この1年間にボランティアや地域活動・社会貢献活動などをしましたか。いずれかに○をつけてください。（回答数/1,052）

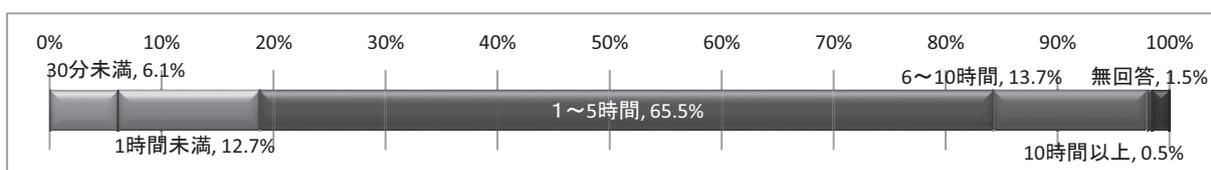


問 19-① 問 19 で「1 した」と回答した方にお聞きします。あなたは、この1年間にどのくらいボランティアや地域活動・社会貢献活動をしましたか。次の口にあてはまる数字を記入してください。（回答数／197）

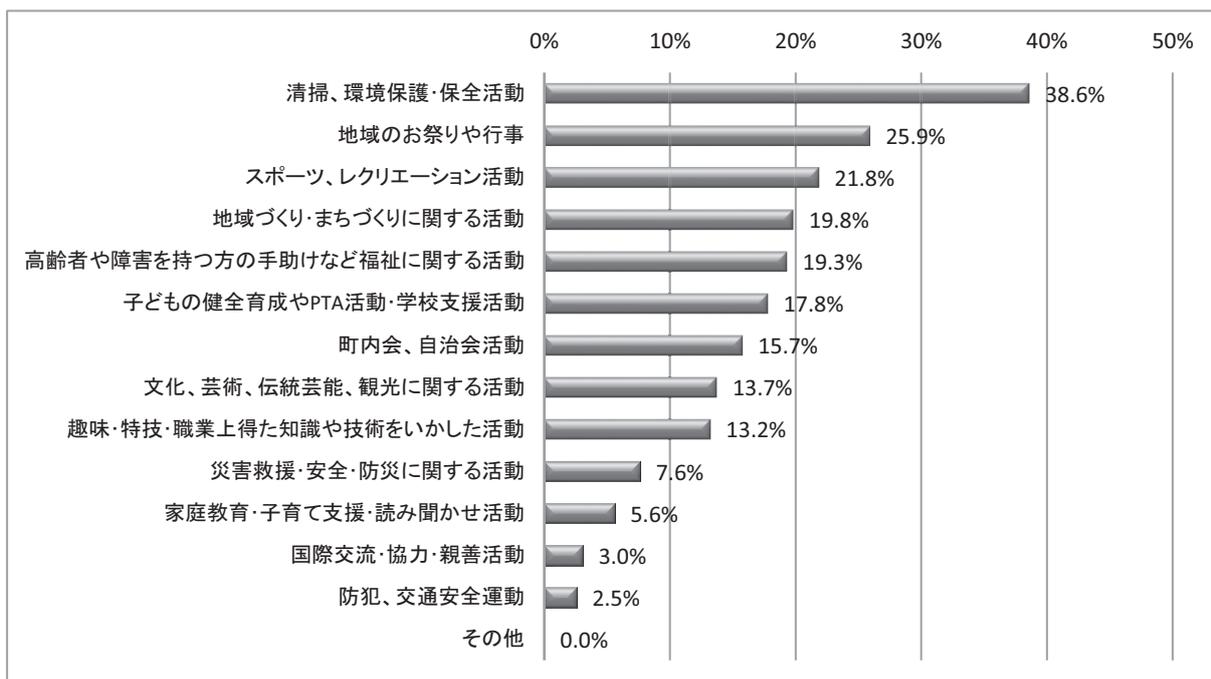
<年間の回数>



<一回の活動時間>

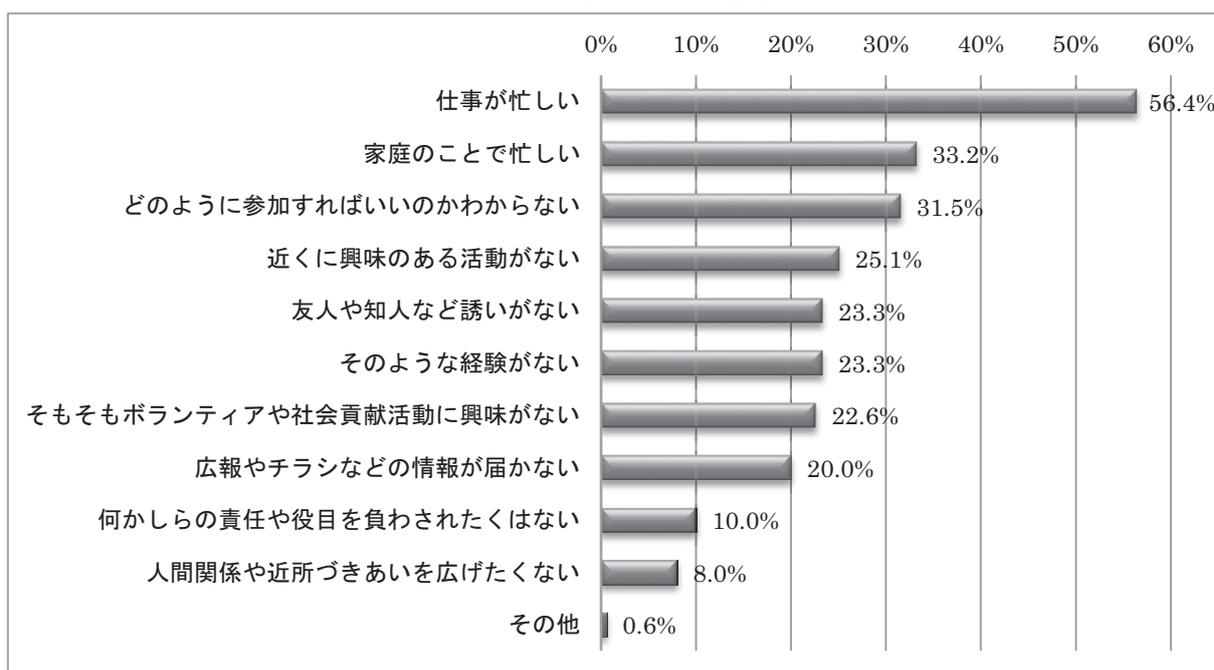


<活動内容>

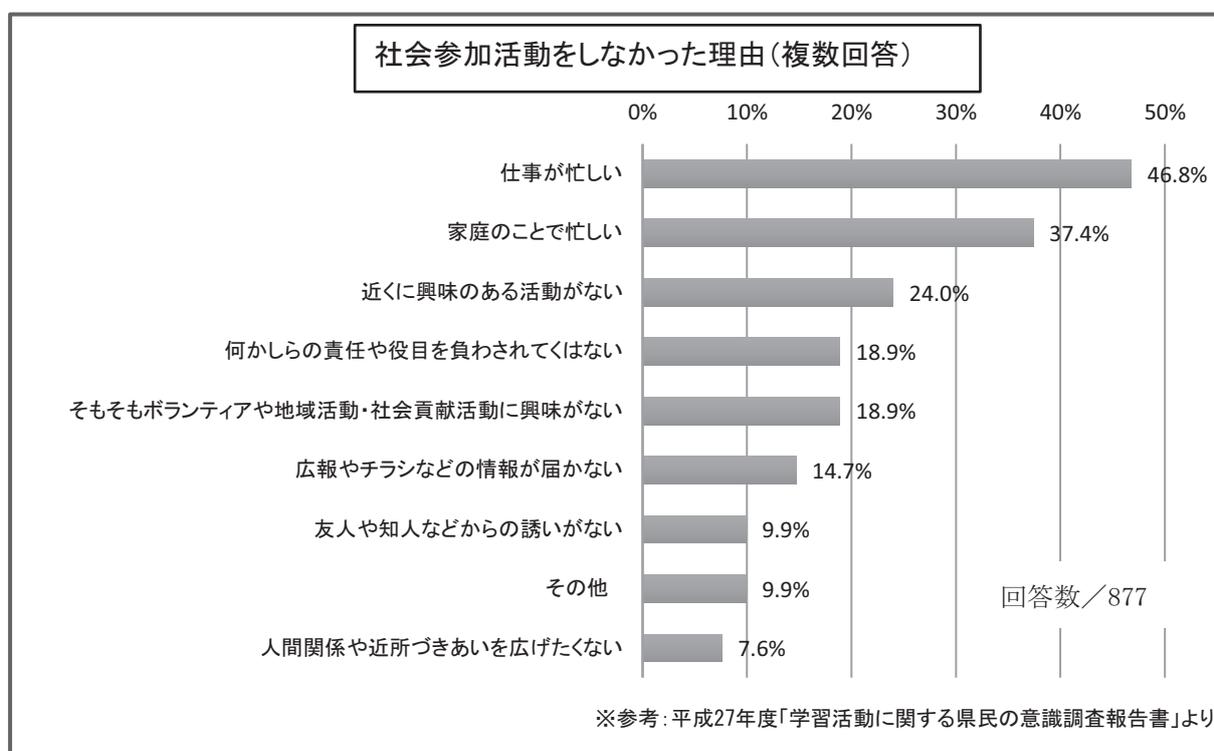


全体の2割近くの若者が、この1年間にボランティアや地域活動・社会貢献活動を行ったことがある。活動時間については、1回あたり1時間から5時間までが最も多く、65.5%であった。活動内容は「清掃、環境保護・保全活動」が最も多く38.6%、次いで「地域のお祭りや行事」が25.9%であった。

問 20 問 19 で「2しなかった」と回答した方にお聞きします。しなかった理由について、次の中からあてはまるものすべてに○をつけてください。（回答数／850）

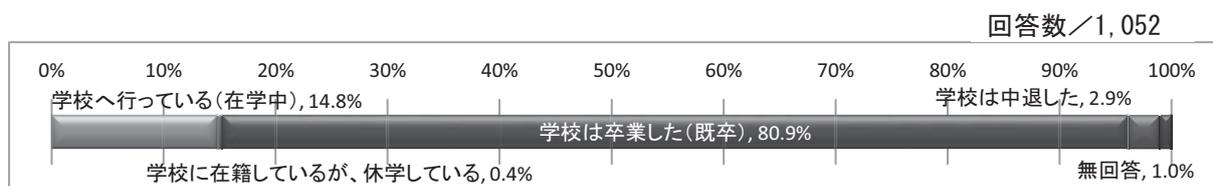


社会参加活動をしなかった理由として、「仕事が忙しい」が最も多く 56.4%で、昨年度実施した「学習活動に関する県民の意識調査報告書」（下記参照）と比較すると約 10 ポイントの差がある。特に注目したいのは、今回の調査で新たに「どのように参加すればいいのかわからない」という項目を加えたところ、全体の 31.5%がどのように参加すればいいのかわからないと回答していることである。また、「そのような経験がない」が 23.3%、「近くに興味のある活動がない」が 25.1%となっていることから、若者がボランティアや地域活動・社会貢献活動に対し興味関心を示していることが窺える。



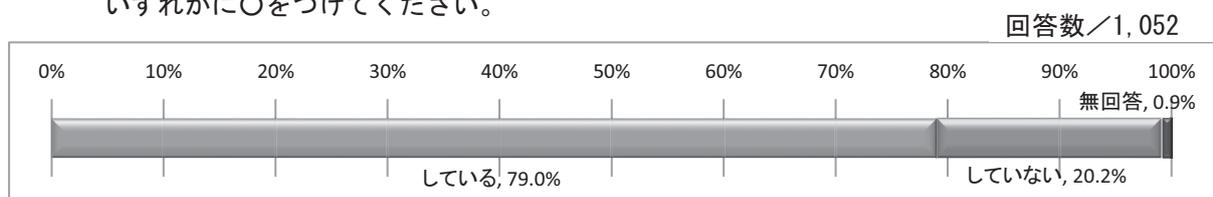
8 回答者の属性（職業、家庭環境）

問 21 あなたは、現在学校へ行っていますか。次の中から1つだけ選んでください。

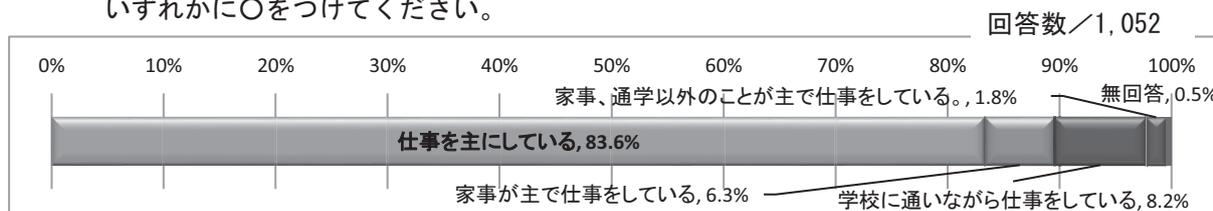


在学中の回答者は、休学を含めて全体の 15.2%、既卒者は全体の 80.9%である。

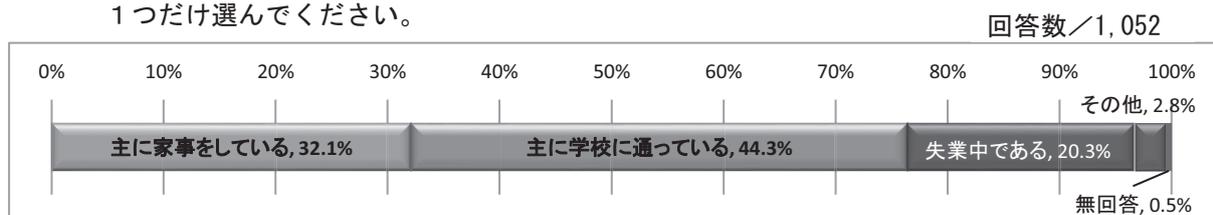
問 22 あなたは、現在、家業の手伝いやアルバイトを含めて、何か収入になる仕事をしていますか。いずれかに○をつけてください。



問 22-① 問 22 で「1 している」と回答した方へお聞きします。どのように仕事をしていますか。いずれかに○をつけてください。



問 22-② 問 22 で「2 していない」と回答した方へお聞きします。次の中からあてはまるものを1つだけ選んでください。

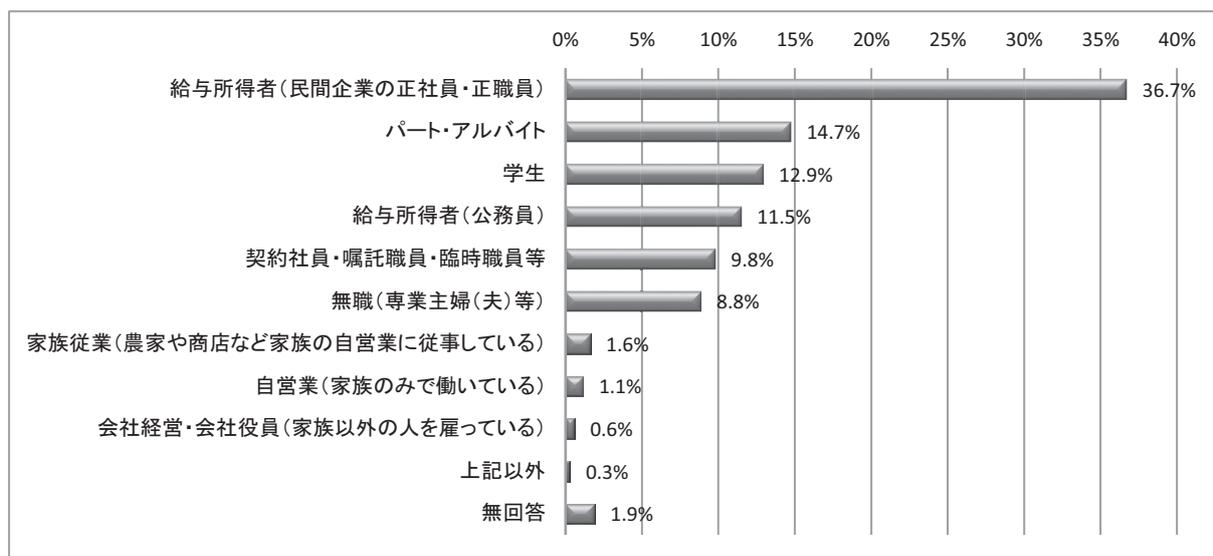


[その他の記述] ・病気のため ・保育園がなく、仕事ができない ・育休中（2名） ・子育て中 ・産休中・
 子供を産んだばかりで育児に専念している ・育児をする人が家族の中で自分だけだから ・高卒をとる会社が多
 い ・施設に行っている ・休職中 ・未記入（2名）

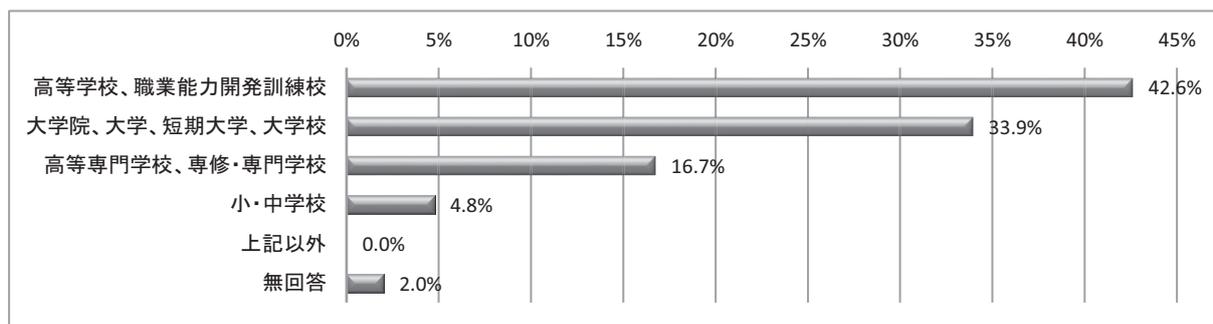
現在収入になる仕事をしているのは全体の 79.0%、仕事をしていないのは全体の 20.2%である。どのように仕事をしているかについては、「仕事を主にしている」が 83.6%、次いで「学校に通いながら仕事をしている」が 8.2%であった。仕事をしていない理由については、「主に学校に通っている」が 44.3%、次いで「主に家事をして

問 23 あなたのご職業とお仕事の内容、最後に卒業した学校（現在学校に通っている方は、在学中の学校）を教えてください。（アルバイトなどを含む）（回答数／1,052）

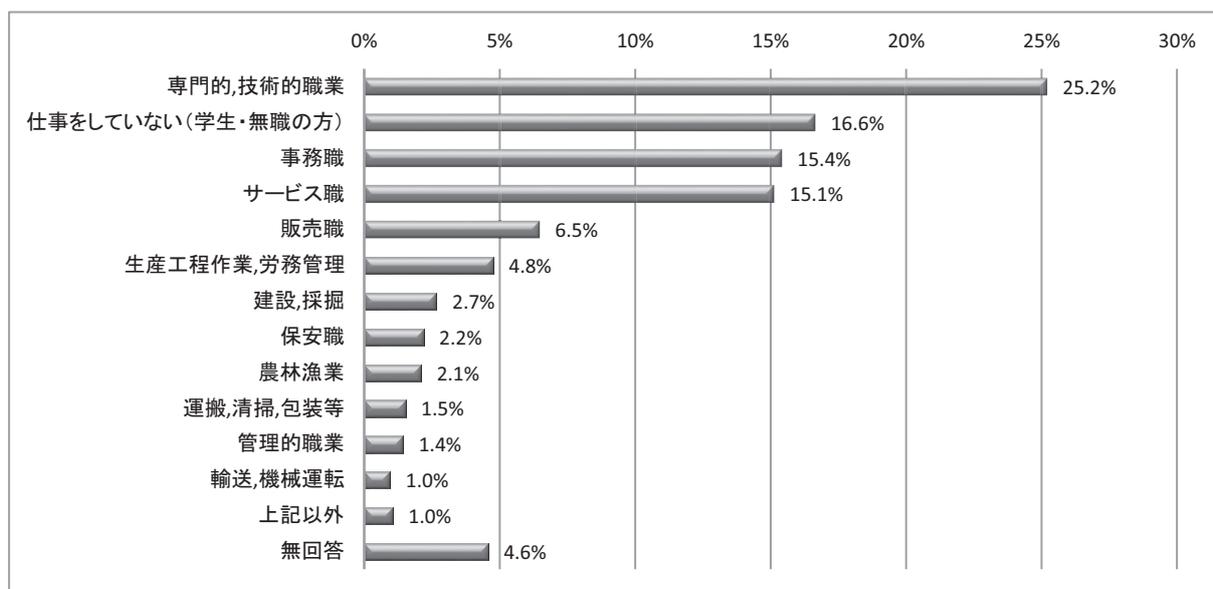
<職業>



<最後に卒業した学校>



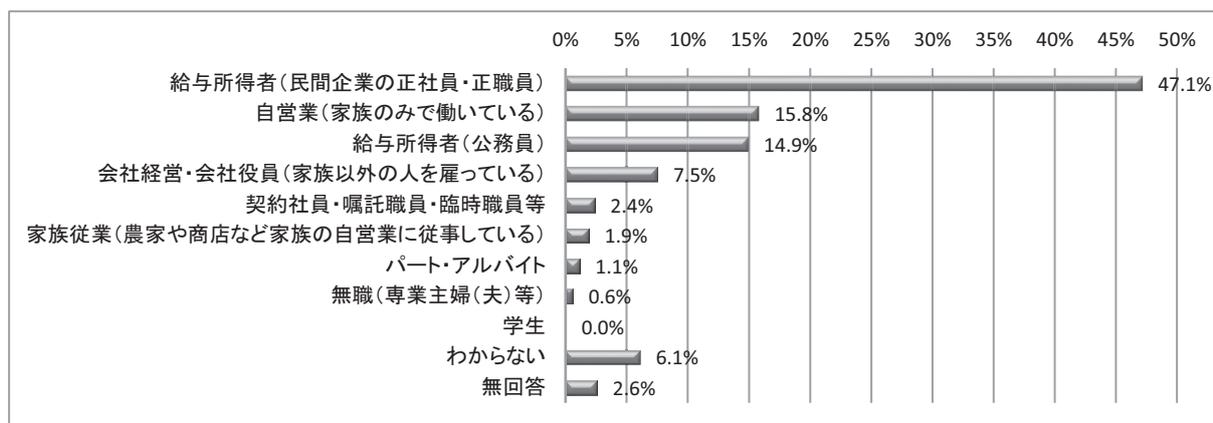
<仕事の内容>



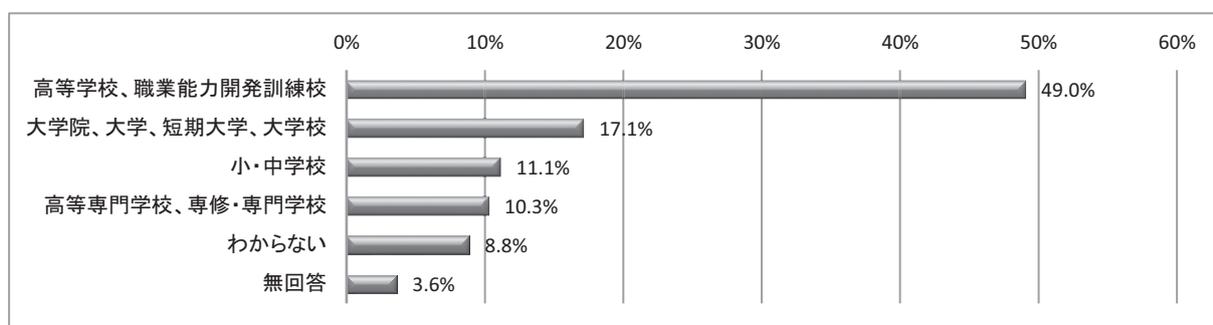
職業については「給与所得者（民間企業）」が最も多く 36.7%、最終学歴は「高等学校、職業能力開発訓練校」が最も多く 42.6%、仕事の内容では「専門的、技術的職業」が最も多く 25.2%であった。

問 24 あなたのご両親が長く勤められていたご職業と仕事の内容、ご両親の最終学歴について教えてください。（回答数／1,052）

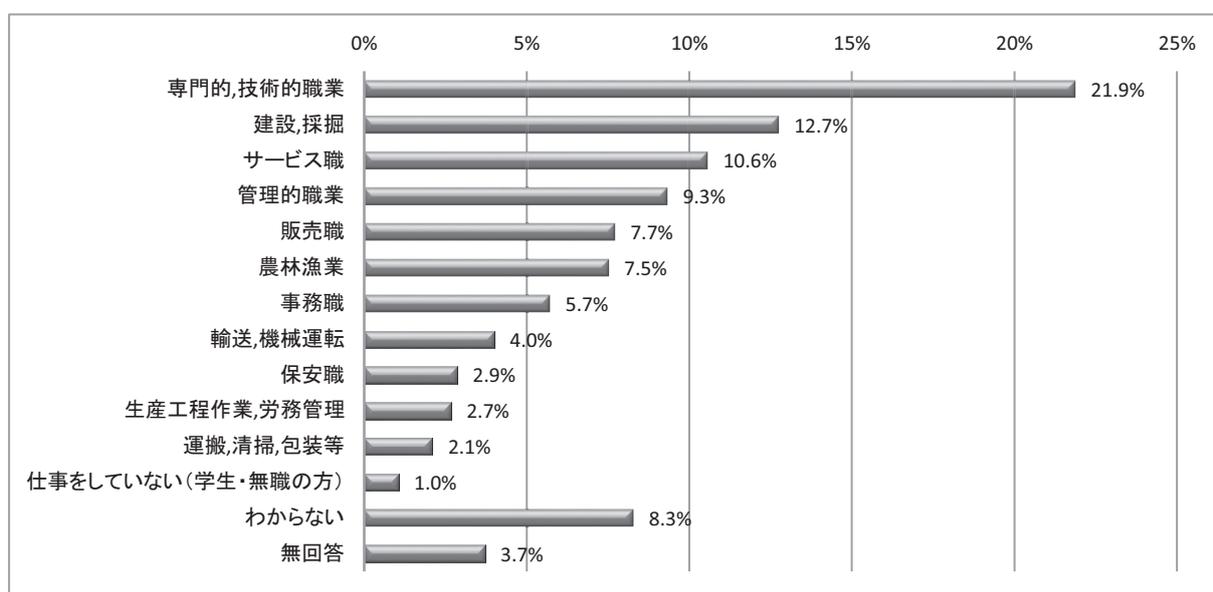
<父親の職業>



<父親の最終学歴>



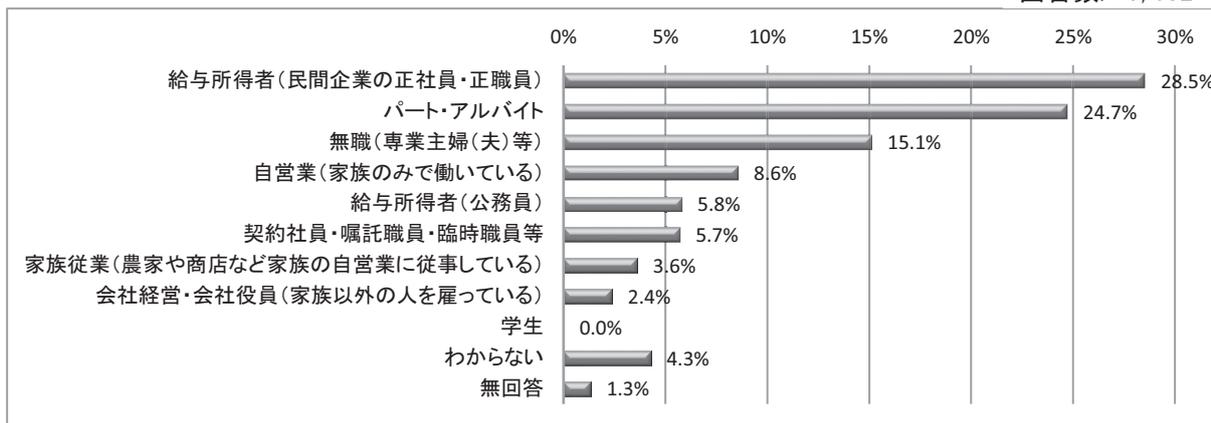
<父親の仕事の内容>



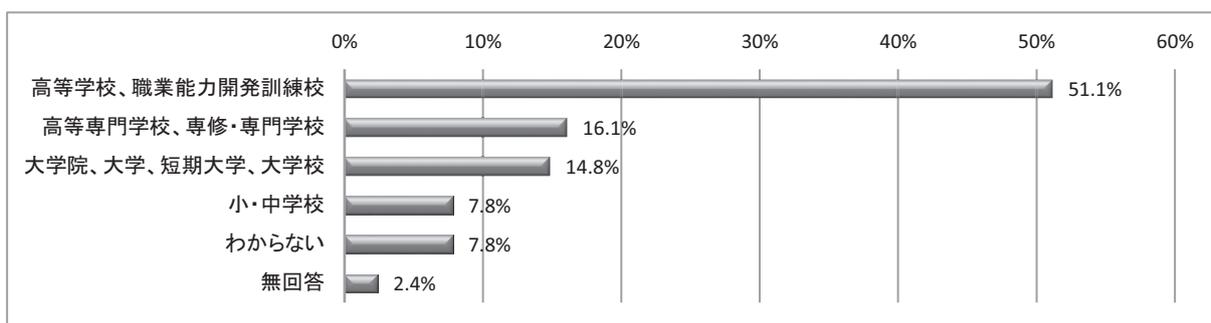
父親の職業については「給与所得者(民間企業)」が最も多く 47.1%、次いで「自営業」が 15.8%であった。最終学歴は「高等学校、職業能力開発訓練校」が最も多く 49.0%、次いで「大学院、大学、短期大学、大学校」が 17.1%であった。仕事の内容では「専門的、技術的職業」が最も多く 21.9%であった。次いで「建設、採掘」が 12.7%であった。

<母親の職業>

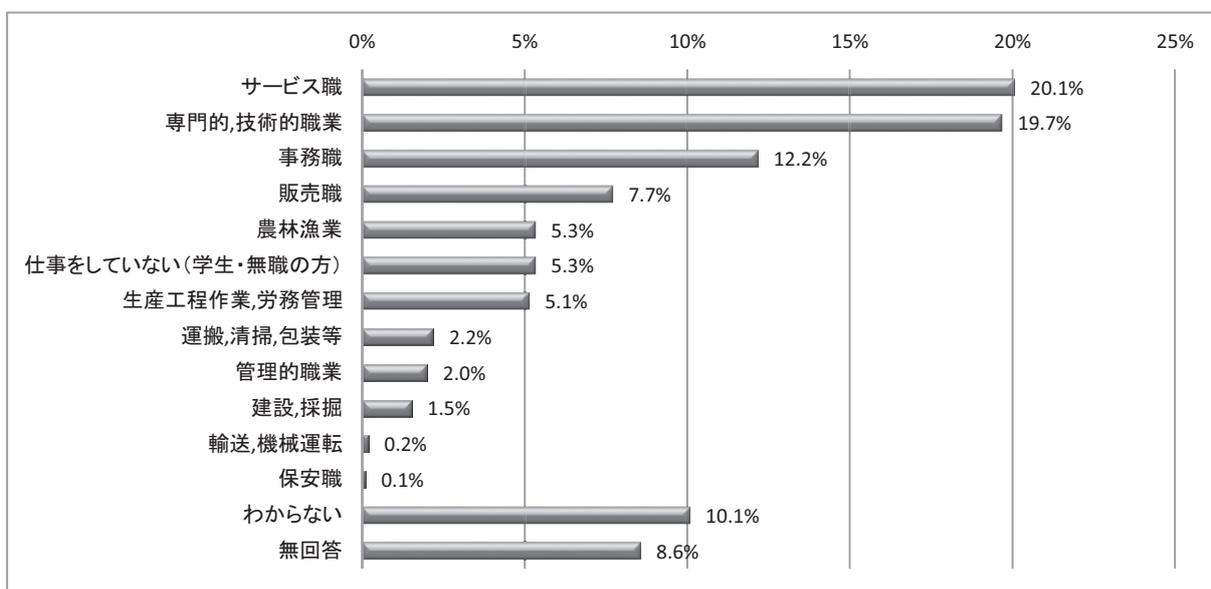
回答数/1,052



<母親の最終学歴>

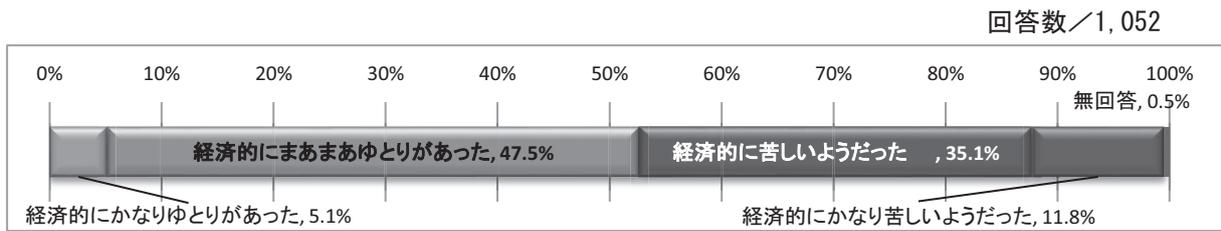


<母親の仕事の内容>



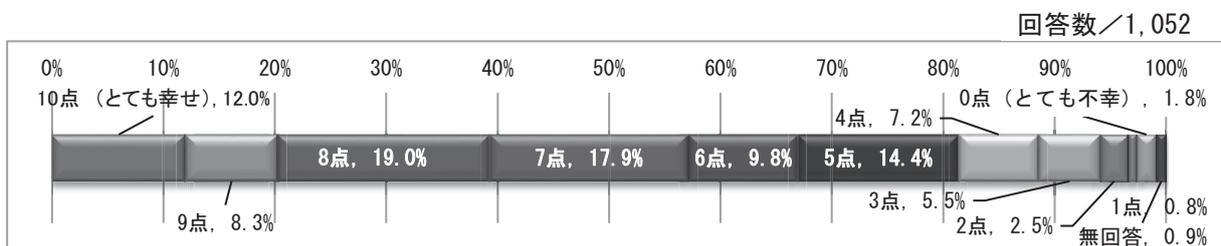
母親の職業については「給与所得者(民間企業)」が最も多く28.5%、次いで「パート・アルバイト」が24.7%であった。最終学歴は「高等学校、職業能力開発訓練校」が最も多く51.1%、次いで「高等専門学校、専修・専門学校」が16.1%であった。仕事の内容では「サービス職」が最も多く20.1%であった。次いで「専門的、技術的職業」が19.7%であった。

問 25 あなたが 18 歳のときの家庭の経済状況について、あてはまるものを次の中から 1 つだけ選んでください。



「経済的にかなりゆとりがあった」と「経済的にまあまあゆとりがあった」を合わせると、全体の 52.6% がゆとりがあったと回答している。

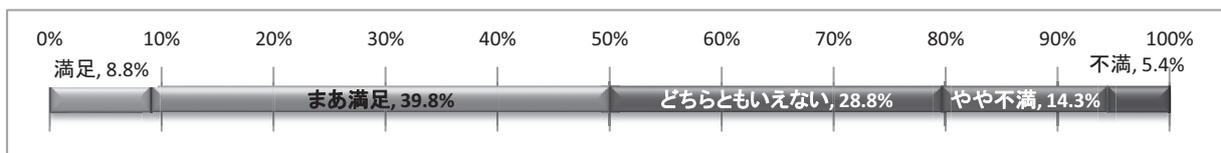
問 26 現在、あなたはどの程度幸せですか。「とても幸せ」を 10 点、「とても不幸」を 0 点とすると、何点くらいになると思いますか。いずれかの数字を選んで○をつけてください。



幸福度については、「8 点」が最も多く 19.0%、次いで「7 点」が 17.9% であった。6 点から 10 点までの割合を合わせると、全体の 67% が幸せと回答している。若者の 3 人に 2 人は幸せと感じている。

問 27 現在アルバイトを含めて仕事をしている人に聞きます。次のようなことに満足していますか、不満ですか。それぞれの項目についてお答えください。(回答数 / 1,052)

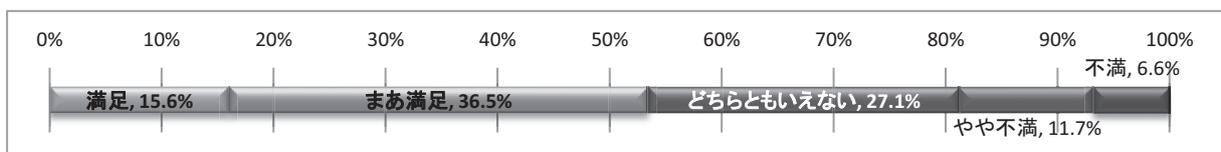
< a. 総合的に >



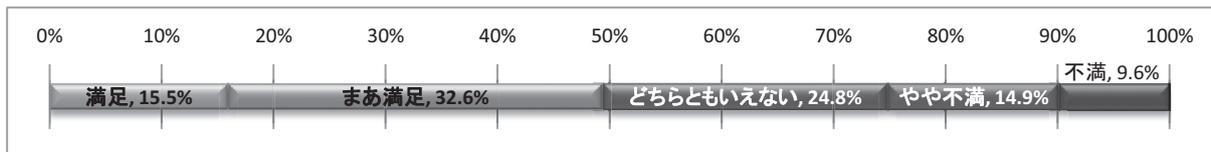
< b. 収入 >



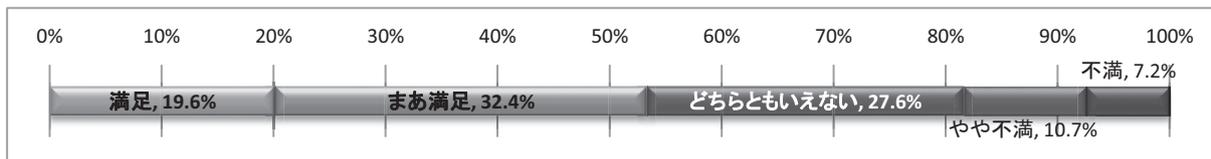
< c. やりがい >



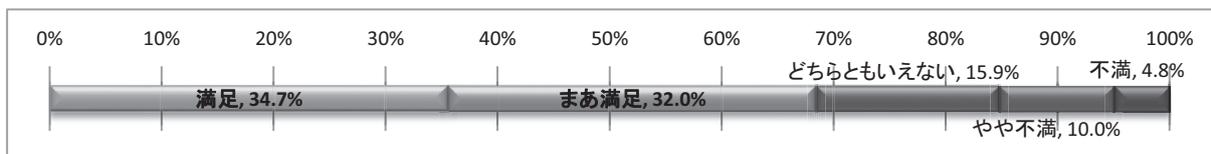
< d. 労働時間 >



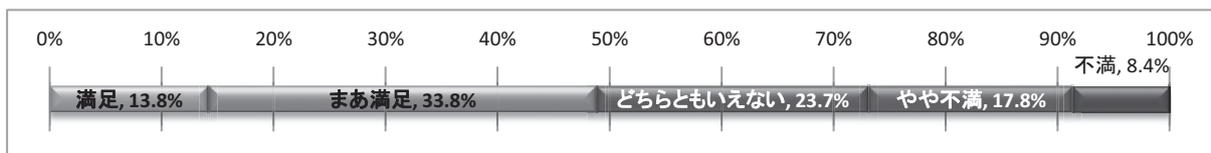
< e. 福利厚生 >



< f. 自宅と勤務地の距離 >



< g. 仕事と生活のバランス >

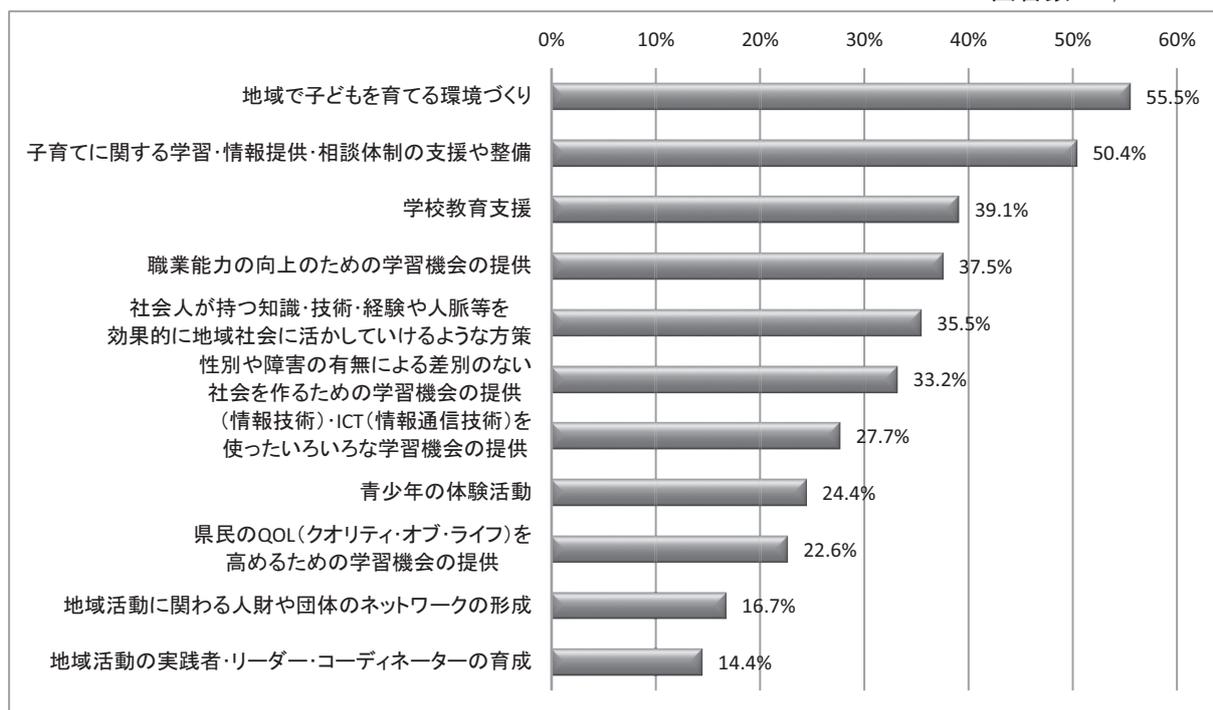


仕事の満足度については、「満足」と「まあ満足」を合わせると、総合的に全体の48.6%は満足していると回答している。「収入」については、全体の38.1%が満足している。「やりがい」については、全体の52.1%が満足している。「労働時間」については、全体の48.1%が満足している。「福利厚生」については、全体の52.0%が満足している。「自宅と勤務地の距離」については、全体の66.7%が満足しており最も多い割合であった。「仕事と生活のバランス」については、全体の47.6%が満足している。

「やや不満」と「不満」を合わせると、最も多いのが「収入」で全体の39.6%が不満と感じている。次いで「仕事と生活のバランス」で全体の26.2%が不満と感じている。

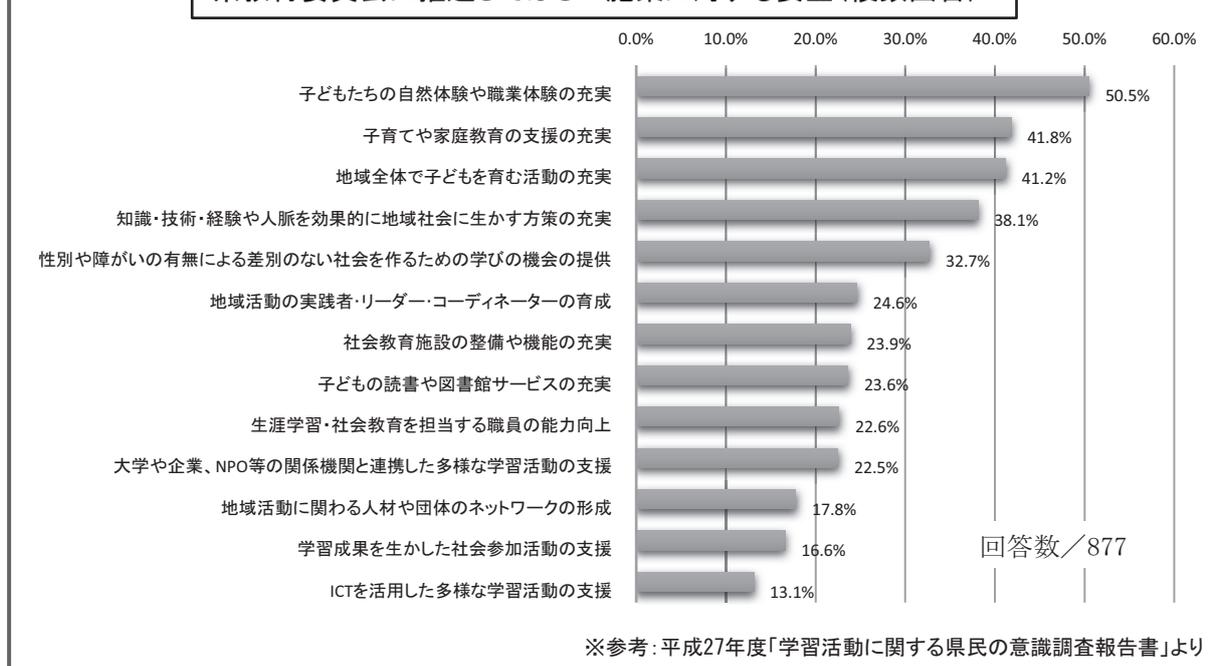
問 28 あなたは、県の教育委員会が、県民の生涯学習・社会教育を進める上で、今後どのようなことに力を入れたらよいと思いますか。あてはまるものすべてに○をつけてください。

回答数／1,052



「地域で子どもを育てる環境づくり」、「子育てに関する学習・情報提供・相談体制の支援や整備」に全体の5割以上が力を入れてほしいと望んでいる。平成27年度「学習活動に関する県民の意識調査報告書」のデータを見ると、「地域全体で子どもを育てる活動の充実」が全体の41.2%、「子育てや家庭教育支援の充実」が全体の41.8%であるので、県内の若年層は子育てや家庭教育支援を強く望んでいることが窺える。

県教育委員会に推進してほしい施策に対する要望(複数回答)



第3章 考察

I 年代別と移住経験別のクロス集計から

1 はじめに

人口増減は、出生数と死亡数の差である「自然増減数」と転入者数と転出者数の差である「社会増減数」によって決定される。青森県の人口移動統計調査（図1）によると、平成10年を境に出生数が死亡数を下回り、自然増減数がマイナスに転じている。さらに、平成20年までは、自然増減数が社会増減数を上回っていたが、以降、自然増減数が社会増減数を下回る状態が現在も続いており、本県の人口減少は加速している状況にある。

年齢別県外転出入の状況（図2）によると、高校卒業時（18歳）及び大学卒業時（22歳）に、多くの若者が県外へ転出している。県教育委員会が実施している高等学校卒業生の進路状況調査では、公立、私立の全日制・定時制課程を含めて、平成28年3月に12,242名の生徒が卒業している。卒業後の内訳を見ると、大学・短期大学進学者数（大学・短大の通信教育部及び放送大学を除く）は5,203名で、このうち2,999名（57.6%）が県外へ進学している。

また、専修学校（専門課程）進学者数は1,868名で、このうち1,216名（65.1%）が県外へ進学している。なお、就職した4,034名のうち、1,745名（43.3%）が県外へ就職している。

本調査では、このような実態を踏まえ、調査対象者を18歳以上とし、現在、大学・短期大学等に在学中の若者が含まれるようにし、在学中の若者と大学等を含む学校を卒業した若者との意識の違いを明らかにしたいと考えた。

今回のアンケートでは、問1において年齢を直接記入する形で回答してもらっている。そこで、回答者を18歳から22歳、23歳から29歳、30歳から35歳の3つのグループに分け、クロス集計を試みた。

また、問2において、出身中学校が県内であったか、県外であったかを回答してもらい、問4において、県外で1年以上生活したことがあるかを回答してもらっている。

この2つの設問により、県内の中学校を卒業し現在も県内に居住している回答者を「県内定住者」、県内の中学校を卒業し1年間以上県外で生活したことがある回答者を「U・Jターン者」、県外の中学校を卒業し県内に居住している回答者を「Iターン者」に分けて考察することとした。回答者数は、表1の通りである。

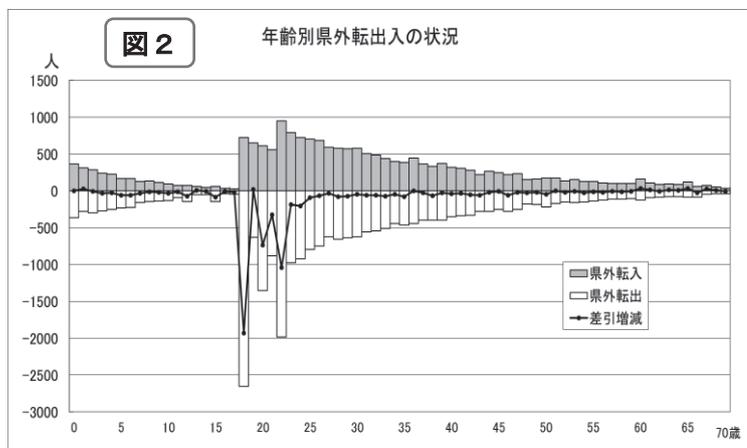
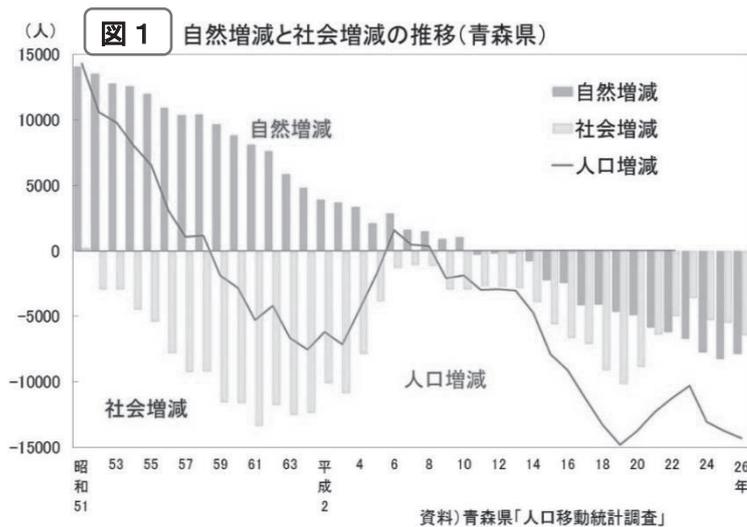


表1 移住経験別

	度数	パーセント
県内定住者	644	61.3%
U・Jターン者	330	31.4%
Iターン者	76	7.2%
合計	1050	100%

表1を見ると、「県内定住者」は全体の61.3%、「U・Jターン者」は全体の31.4%、「Iターン者」は全体の7.2%であった。全体の3割は、「U・Jターン者」であることから、「県内定住者」との比較により、意識の違いを明らかにしていきたい。

2 青森県との関係について

表2-1は問15の「青森県との関係」について年齢グループとクロス集計したものである。この表を見ると、「青森県を離れることは大変困難であると感じる」について、年齢が高くなるにつれて割合が高くなっていることが分かる。ただし、カイ二乗検定を行ったところ有意ではなかった。

表2-1 青森県との関係(Q15)(p17)

	18歳～22歳	23歳～29歳	30歳～35歳
1 青森県に必要な人材である	19.0%	25.5%	17.8%
2 青森県の将来のことが、とても気になる	56.0%	57.3%	54.4%
3 青森県に愛着を感じる	67.9%	73.3%	66.8%
4 青森県を離れることは大変困難であると感じる	26.2%	37.1%	40.2%
5 青森県にいるのは必要と感じているから	31.3%	40.8%	36.9%

注)カイ二乗検定 $p < 0.126$ 有意ではない

次に、表2-2は移住経験別にクロス集計したものである。カイ二乗検定を行ったところ1%水準で有意となった。これを見ると、青森県に必要な人材であると感じるかについては、県内定住者とU・I・Jターン者との間に大きな違いは見られなかったが、「青森県の将来のことが気になる」では、Iターン者が41.1%に対し、U・Jターン者が55.8%、県内定住者が57.8%とその割合が高くなっていく。また、「青森県に愛着を感じるか」については、もっと明確にその差が現れている。Iターン者と県内定住者では、30ポイントの差がある。このことは、県内の居住経験が長くなるほど、青森県に対し愛着を感じ、青森県の将来のことについて真剣に考える県民の割合が増えていくことを示していると言える。

表2-2 青森県との関係(Q15)(p17)

	県内定住者	U・Jターン者	Iターン者
1 青森県に必要な人材であると感じる	21.6%	21.2%	16.4%
2 青森県の将来のことが気になる	57.8%	55.8%	41.1%
3 青森県に愛着を感じる	73.1%	69.4%	41.1%
4 青森県を離れることは大変困難である	43.2%	25.2%	19.2%
5 青森県にいるのは必要と感じているから	39.0%	35.8%	24.7%

注)カイ二乗検定 $p < 0.000$ 1%水準で有意

3 若者の職業観について

仕事をする上で大切なこと（職業観）について、年代別と移住経験別にそれぞれクロス集計を行った。表3-1は年代別のクロス集計表である。カイ二乗検定を行ったところ有意ではなかったが、「他の人や会社のために役立つ仕事であること」と「他の人や社会から尊敬される仕事であること」に差が見られた。どちらも18歳から22歳までの年代の方が高い割合となっており、差が10ポイント以上であった。このことは、社会に出て職業に就いている者とこれから社会に出て職業に就こうとしている者との意識の差ではないかと考えられる。

表3-1 仕事をする上で大切なこと(Q10)(p11)

	18歳～22歳	23歳～29歳	30歳～35歳
1 自分の個性や能力・資格が生かせること	63.5%	52.9%	53.1%
2 自分のやりたい仕事であること	63.1%	46.8%	46.6%
3 仕事を通して資格や技術が身につけられること	49.2%	42.5%	42.8%
4 職場の雰囲気や人間関係が良いこと	86.9%	82.5%	82.7%
5 給料が高いこと	50.8%	44.4%	46.6%
6 休みが多いこと	37.3%	36.4%	35.1%
7 残業や休日出勤がないこと	34.9%	35.7%	32.2%
8 家庭や趣味と両立できること	57.9%	58.5%	59.3%
9 通勤しやすい場所であること	54.4%	48.1%	49.0%
10 長い期間にわたって安定して働けること	76.6%	73.8%	71.6%
11 有名な会社であること	7.1%	5.8%	4.6%
12 働く会社に将来性があること	44.0%	35.9%	37.4%
13 将来、独立して自分で事業が起こせること	7.5%	3.4%	7.5%
14 他の人や社会のために役立つ仕事であること	51.2%	34.5%	34.3%
15 他の人や社会から尊敬される仕事であること	34.9%	23.5%	19.8%

注)カイ二乗検定 $p < 0.267$ 有意ではない

表3-2は、移住経験別のクロス集計である。カイ二乗検定を行ったところ、1%水準で有意であった。これを見ると、「自分の個性や能力・資格が生かせること」と「自分のやりたい仕事であること」、「他の人や社会のために役立つ仕事であること」に10ポイント以上の差が見られた。このことから推察すると、県内定住者は県内の職業環境に関して自分のやりたい仕事とともに、自分の個性や能力・資格を生かせる仕事を望んでいるのではないと思われる。

そして、第2章でも触れているが、平成18年度「若年層の職業観と学習活動に関する調査研究報告書」のデータ（p13参照）と比較すると、「給料が高いこと」、「休みが多いこと」、「残業や休日出勤がないこと」、「家庭や趣味と両立できること」、「通勤し安場所であること」の5項目に関しては、年代別と移住経験別で見ても平成18年度調査より割合が高くなっていることから、18歳から35歳までの若者は、ワーク・ライフバランスを強く意識していることが分かる。

表3-2 仕事をする上で大切なこと(Q10)(p11)

	県内定住者	U・I・Jターナー者
1 自分の個性や能力・資格が生かせること	63.5%	52.9%
2 自分のやりたい仕事であること	63.1%	46.8%
3 仕事を通して資格や技術が身につけられること	49.2%	42.5%
4 職場の雰囲気や人間関係が良いこと	86.9%	82.5%
5 給料が高いこと	50.8%	44.4%
6 休みが多いこと	37.3%	36.4%
7 残業や休日出勤がないこと	34.9%	35.7%
8 家庭や趣味と両立できること	57.9%	58.5%
9 通勤しやすい場所であること	54.4%	48.1%
10 長い期間にわたって安定して働けること	76.6%	73.8%
11 有名な会社であること	7.1%	5.8%
12 働く会社に将来性があること	44.0%	35.9%
13 将来、独立して自分で事業が起こせること	7.5%	3.4%
14 他の人や社会のために役立つ仕事であること	51.2%	34.5%
15 他の人や社会から尊敬される仕事であること	34.9%	23.5%

注)カイ二乗検定 p<0.000 1%水準で有意

4 若者の学習・生活体験

表4 若者の学習・生活体験(Q6)(p4-5)

1) 自然体験活動の経験

	小学生	中学生	高校生	体験なし
18歳～22歳	52.4%	19.0%	15.5%	40.9%
23歳～29歳	61.9%	26.5%	12.9%	28.4%
30歳～35歳	67.3%	25.8%	16.5%	22.7%

注)カイ二乗検定 p<0.000 1%水準で有意

2) 仕事について調べる経験

	小学生	中学生	高校生	体験なし
18歳～22歳	26.2%	59.1%	75.8%	5.2%
23歳～29歳	22.8%	50.7%	71.1%	8.7%
30歳～35歳	7.5%	28.9%	62.9%	24.2%

注)カイ二乗検定 p<0.000 1%水準で有意

3) 職場見学や職場訪問の経験

	小学生	中学生	高校生	体験なし
18歳～22歳	31.7%	75.8%	61.1%	2.8%
23歳～29歳	34.2%	67.2%	51.0%	7.3%
30歳～35歳	27.6%	34.0%	42.0%	24.7%

注)カイ二乗検定 p<0.000 1%水準で有意

4) 4日以上の職場体験やインターンシップの体験

	小学生	中学生	高校生	体験なし
18歳～22歳	2.0%	16.7%	26.2%	60.7%
23歳～29歳	0.7%	16.7%	24.3%	60.0%
30歳～35歳	1.8%	3.4%	15.2%	79.9%

注)カイ二乗検定 p<0.000 1%水準で有意

5) 地域の祭りの参加体験

	小学生	中学生	高校生	体験なし
18歳～22歳	76.2%	50.0%	39.3%	11.9%
23歳～29歳	74.5%	52.7%	37.4%	14.8%
30歳～35歳	77.3%	44.6%	27.6%	14.4%

注)カイ二乗検定 p<0.167 有意ではない

6) 地域イベントの参加体験

	小学生	中学生	高校生	体験なし
18歳～22歳	57.1%	37.7%	32.1%	28.6%
23歳～29歳	65.3%	37.9%	26.7%	25.2%
30歳～35歳	66.5%	29.6%	20.9%	24.2%

注)カイ二乗検定 p<0.047 5%水準で有意

7) 地域イベントの補助体験

	小学生	中学生	高校生	体験なし
18歳～22歳	52.0%	30.6%	27.0%	30.2%
23歳～29歳	56.1%	34.5%	22.1%	27.9%
30歳～35歳	57.0%	28.1%	20.1%	27.8%

注)カイ二乗検定 p<0.417 有意ではない

8) 学習塾や習い事の通学体験

	小学生	中学生	高校生	体験なし
18歳～22歳	60.7%	40.5%	18.3%	25.4%
23歳～29歳	64.1%	40.8%	18.0%	24.0%
30歳～35歳	66.8%	37.6%	14.9%	22.9%

注)カイ二乗検定 p<0.811 有意ではない

若者の学習・生活体験について、年代別にクロス集計したもの（表4）を見ると、自然体験活動については、高い年代ほど、小・中学生の時に体験している割合が多い。しかし、仕事について調べる経験や職場見学や職場訪問、4日以上の職場体験やインターンシップの体験等については、30代と20代以下では、明確な差が見受けられる。このことについては、県が平成17年度からキャリア教育を重点的に推進しており、11年が過ぎようとしていることと関連がありそうである。当時の小・中・高校生は現在20代前半から後半の年齢になっている。キャリア教育を重点的に受けてきた20代の若者が、青森県に愛着を感じるとともに、青森県に必要な人材と考える割合が高くなっていることから、キャリア教育の効果が今回調査の結果に表れていると言えるのではないと思われる。

自然体験活動の経験の有無については、カイ二乗検定の結果、1%水準で有意である。18歳から22歳までの若者の自然体験活動の経験が他の年代と比較して低く、特に30代と比較すると約15ポイントも低くなっている。また、18歳から22歳までの若者の40.9%が「経験がない」と回答している。

II 青森県に生活する若者の自己有用感

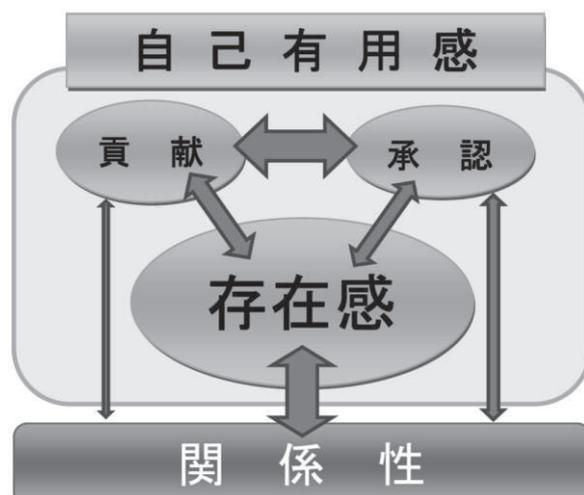
青森大学 社会学部 教授 柏谷 至

1 はじめに～自己有用感への着目～

「自己有用感」は自尊感情 self-esteem の下位概念であり、他者や集団との関係を通じて形成される「自分は価値あるものである」という感覚を指す。現代の子どもや若者が自分に自信を持たず、人間関係に不安を感じていることはよく指摘されるが、自己有用感は特にその社会的側面に注目したものだと言える（国立教育政策研究所, 2016）。

栃木県総合教育センターは平成 23～24 年度に、栃木県内の小・中・高校の児童生徒 3,000 人に質問紙調査を実施し、その結果をもとに自己有用感の尺度を作成した（栃木県, 2013）。その結果によると、自己有用感は、「存在感」（他者や集団の中で自分は価値のある存在であるという実感）、「承認」（他者や集団から自分の行動や存在が認められているという状況）、「貢献」（他者や集団に対して自分が役に立つ行動をしているという状況）の 3 つの要素から構成されている。さらに、自己有用感とは区別される「関係性」（自分が関わる他者や集団との関係の状況）も析出された（図 1）。

図 1 自己有用感の構成要素と「関係性」(栃木県, 2013)



この調査では、自己有用感の高い子どもの特徴として、他人への思いやりや協同、学習意欲の高さや自主的・自律的な生活などを挙げている。また日本財団の調査チームは、全国の 20 歳以上の男女を対象としたインターネット調査において栃木県総合教育センターと同じ質問を用い、「家族の中での自己有用感」が自殺の抑制要因となっていると分析している（日本財団, 2017）。

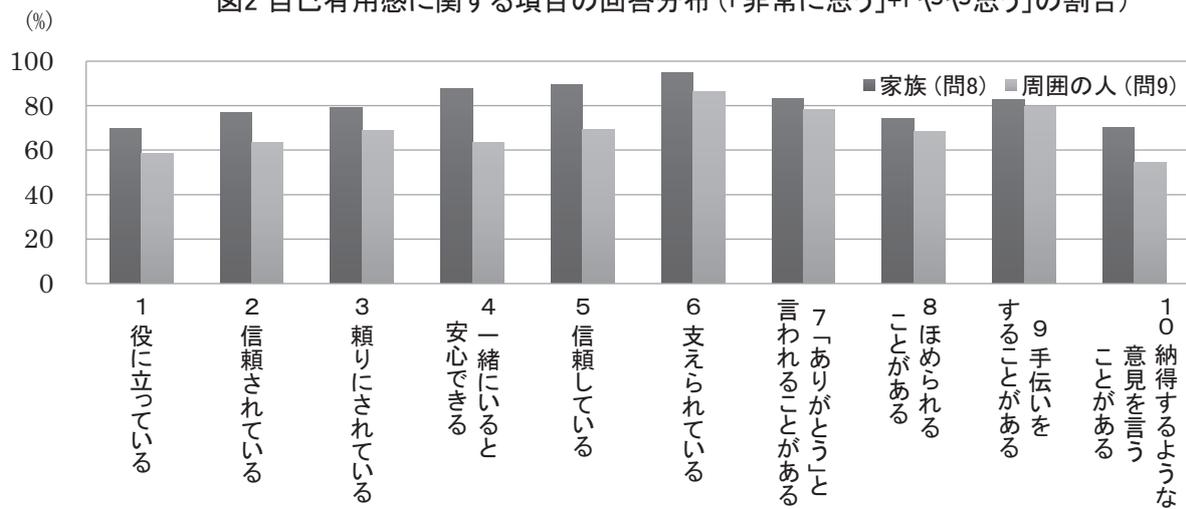
本章では、青森県の若者を対象とした質問紙調査において家族内と家族外の人間関係における自己有用感を測定し、自己有用感が他の意識や態度にどう影響を及ぼしているのか、また自己有用感がどのような要因に規定されているのかを分析する。

2 自己有用感尺度の作成

本調査の問 8 と問 9 では、栃木県総合教育センターの調査項目を踏襲した各 10 項目の質問をしている。問 8 では「家族との関わり」、問 9 では「学校、職場、地域など、周囲の人との関わり」における自己有用感を測定することを意図したものである。各項目の回答分布を見ると、家族との関係の方が、

家族外との関係よりも肯定的に評価（「非常に思う」「やや思う」）されていることが分かる（図2）。

図2 自己有用感に関する項目の回答分布（「非常に思う」+「やや思う」の割合）



各項目は、1から3が自己有用感のうちの「存在感」を、4から6が「関係性」を、7と8が「承認」を、9と10が「貢献」をそれぞれ表している。これらの項目を因子分析した結果、「自己有用感」を示す因子と「関係性」を示す因子が抽出でき、各項目の因子負荷量も先行研究と矛盾しなかった¹。

そこで、問8から「家族関係における自己有用感」および「家族との関係性」の尺度を、問9から「家族外の関係における自己有用感」および「家族外の関係性」の尺度を作成した²。この尺度は、数値が大きいくほど自己有用感が高く、小さいほど自己有用感が低いことを表している。各尺度の基本統計量を表1に示す。

表1 自己有用感尺度の基本統計量

	平均値	中央値	分散	標準偏差	最小値	最大値
自己有用感(家族内)	2.0	2.0	0.390	0.624	0	3
関係性(家族内)	2.5	2.7	0.404	0.636	0	3
自己有用感(家族外)	1.8	1.9	0.405	0.636	0	3
関係性(家族外)	1.9	2.0	0.481	0.694	0	3

¹ 因子抽出には因子の抽出には最尤法を、軸の回転にはプロマックス回転を用いた。栃木県(2013)では因子として「存在感」「承認」「貢献」および「関係性」の因子が抽出されていたが、本調査のデータからは存在感・承認・貢献を含む「自己有用感」と「関係性」を意味する2つの因子を抽出した。

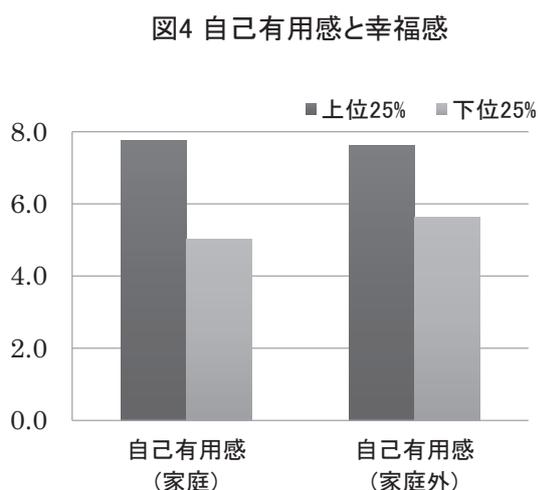
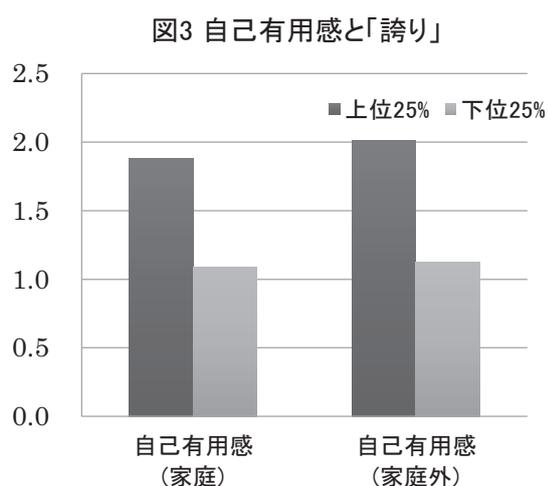
² 「自己有用感」の尺度として、各回答の項目1~3および7~10の平均を、「関係性」の尺度として項目4~6の平均を求めた。そのままでは自己有用感の高い人の数値が小さくなるので、4から項目の平均値を引いた値を、それぞれの尺度値とした。各尺度の信頼性係数(クロンバックの α)は以下の通り：

自己有用感(家族内)	0.888	関係性(家族内)	0.877
自己有用感(家族外)	0.920	関係性(家族外)	0.843

3 行動・態度への影響

自己有用感は、若者の意識や行動にどのような影響を与えているだろうか。ここでは、自己有用感の得点の上位 25%の回答者と、下位 25%の回答者とを比較することによって見てゆこう³。なお以下の分析では、特に断りのない限り、比率の差はカイ二乗検定によって、平均値の差は次元配置の分散分析によって、有意水準 5%で検定を行った結果を紹介する。

まず自尊感情や幸福感との関係である。図 3 では、「自分自身についての誇り」(問 7) を尺度化したもの⁴を、自己有用感の高いグループと低いグループとで比較している。家族内・家族外どちらで比較しても、自己有用感が高いグループで自分に強く誇りを感じ、自己有用感の低いグループはあまり誇りを感じていない。



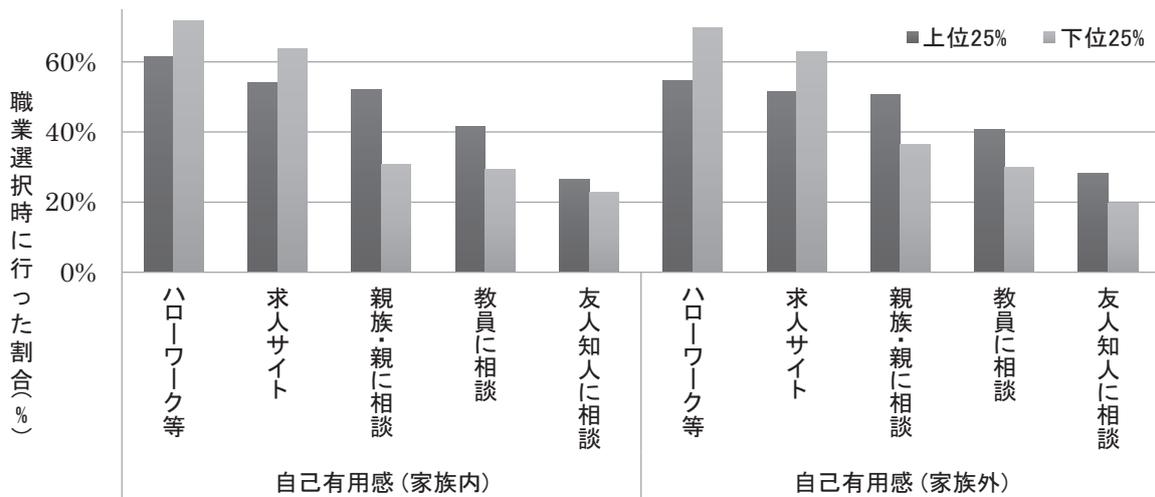
また図 4 には、「現在、あなたはどの程度幸せか」を 0~10 点で採点してもらった回答 (問 26) のグループ別の平均値を示した。自己有用感の高いグループは自らが幸福だと感じているのに対し、自己有用感の低いグループはあまり幸福を感じていない。このように、自己有用感と自尊感情や幸福感との間には緊密な関係があることが分かる。

自己有用感は若者の行動にも影響を及ぼしている。図 5 では「職業選択に際して行ったこと」(問 10) について、自己有用感の高低による違いを示した。「ハローワーク・ジョブカフェなどの公的な機関を利用する」や「インターネットの求人サイトなどを見る」は、自己有用感が低い人の実施率が高い。

³ 実際の回答者数は、家族内における自己有用感の上位 25%が 276 名、下位 25%が 201 名、家族外における自己有用感の上位 25%が 227 名、下位 25%が 316 名である。

⁴ 自己有用感尺度と同様に、4 から各項目の選択肢番号 (1~4) の算術平均を引いたものを尺度とした。尺度の信頼性係数 (クロンバックの α) は 0.848 と十分に高かった。

図5 自己有用感と職業選択時の行動



これに対し、「親族や親に相談する」「進路指導の先生や担任の先生に相談する」「友人知人に相談する⁵⁾」は自己有用感の高い人の方で実施率が高い。このことから、自己有用感の高い若者はいわゆる「社会関係資本」を積極的に活用する傾向にあると言える。

また自己有用感の高い人は、過去1年間におけるボランティア活動等を経験した割合が多い(問19・図6)。青森県内で就労する事への関心(問13)も、自己有用感の高い人の方が高くなっている(問7)。自己有用感の概念を生涯学習・社会教育政策や若者定住政策の分野で活用する可能性を示唆する、興味深い結論である。もちろん、ボランティア活動への参加は自由時間の有無や活動機会とのマッチングなどの外部要因に大きく左右されることが知られているし、県内就労意向の決定要因の複雑さは第三章で論じられており、より詳細な分析・検討を待つ必要がある。

以上の分析をまとめると、いくつかの留保はつくものの、自己有用感が若者の意識や行動を説明する要因として注目に値するものであることが、今回の調査であらためて実証されたと言える。

図6 自己有用感とボランティア経験

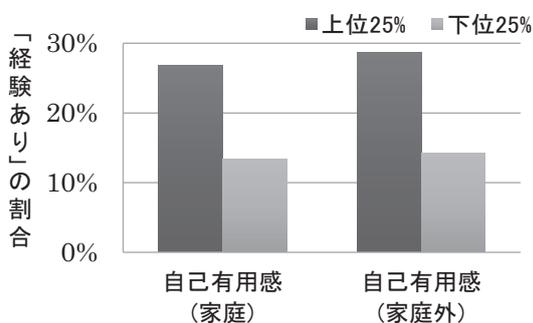
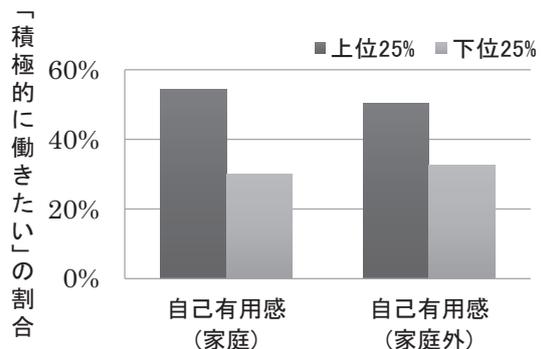


図7 自己有用感と県内就労意向



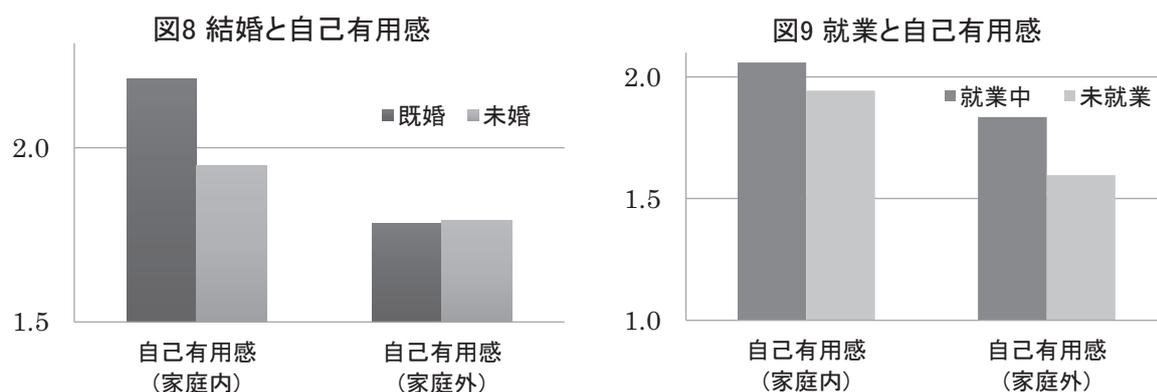
⁵⁾ 「友人知人に相談する」では、家族外における自己有用感の上位・下位グループ間でのみ有意差が認められた。

4 自己有用感が高まる条件とは

若者の自己有用感の高さ・低さは、どのような要因に規定されているのだろうか。自己有用感は、周囲の他者や集団との関係の中から形成されるものであり、さまざまな要因が複雑に絡み合っていることが予想される。短い紙面で十分に議論を尽くすことはできないが、今後の詳細分析に向けた論点をいくつか指摘しておきたい。

まず回答者の基本的属性である性別・年齢・居住地（問 1）では、自己有用感の平均値に明確な差は見られなかった⁶。これに対し、既婚者⁷は未婚者よりも家族内における自己有用感が高かった。結婚や出産・子育てといったライフイベントは、その人の家庭内における存在感や貢献度を高め、家族メンバーから存在を認められる機会となる。こうした経験が家族内における自己有用感を高めるものと解釈できる（図 8）。

同様に就業状況（問 22）で比較すると、「何か収入になる仕事をしている」人は「していない」人と比べ、家族外の人間関係における自己有用感が有意に高い（家庭内における自己有用感のスコアも若干高いが、統計的な有意差はない）。若者にとって仕事は単なる収入獲得の場ではなく、職場や地域社会との関係の中で自分の存在感を発揮し、他者から認められ、他者への貢献を実感する場として重要な役割を果たしていることが分かる（図 9）。



仕事の種類による自己有用感の違いについて、より詳しく検討してみよう。本人の職業（問 23）のうち「パート・アルバイト」は、家族内における自己有用感が「給与所得者（民間）」「給与所得者（公務員）」よりも有意に低かった（図 10）。「パート・アルバイト」の自己有用感の低さは、収入面における家計への貢献が小さいことや、家族内で「一人前」として扱われないことによるものと解釈することが可能であるが、年齢や前述した結婚などのライフイベントとの関係で慎重に分析する必要がある。

家族外における自己有用感では、「無職」の自己有用感が、「給与所得者（民間）」「給与所得者（公務員）」「パート・アルバイト」「学生」よりも有意に低くなっている（図 11）。家族内の自己有用感では差が付かなかった「無職」と「学生」の間でも、家族外における自己有用感では差が付いていることは、さまざまな機会を通じて他者とつながることの重要性を示唆しているように思われる。

⁶ 家族内における自己有用感のスコアでは、年齢 18～23 歳層と 30～35 歳層との間でのみ、統計的に有意な差が見られた。

⁷ 本調査では既婚・未婚の別を直接に尋ねる質問を用意していなかったため、問 3 で尋ねた同居人についての回答から、「夫や妻」「義父」「義母」「息子」「娘」のいずれかを選択した人を「既婚」、上記 5 項目をいずれも選択しなかった人を「未婚」として比較した

図10 職業と自己有用感 (家族内)

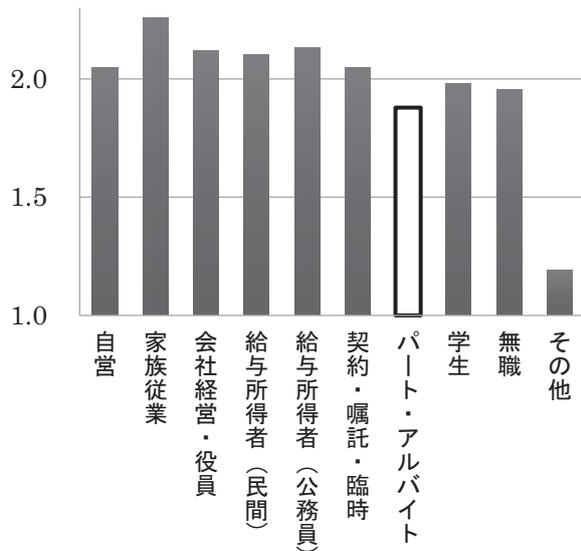
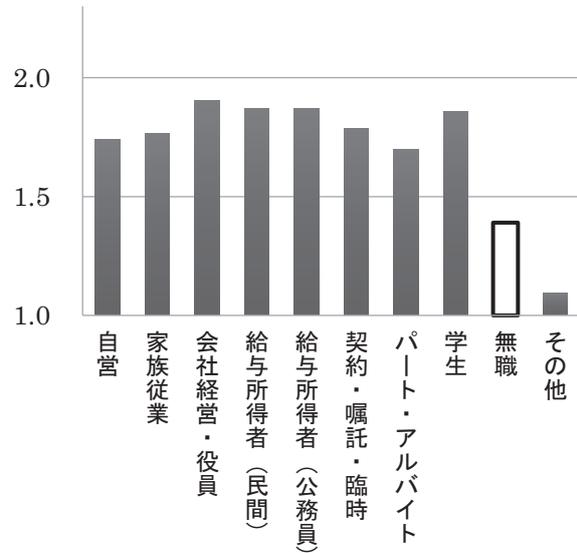


図11 職業と自己有用感 (家族外)



最後に、子ども時代の経験と自己有用感との関連について分析しよう。学校教育や生涯学習・社会教育の場では、自己有用感を高める取り組みとして各種の体験活動が提唱され実践されてきた。問 6 では、各種の体験活動の小学校・中学校・高校における体験の有無を尋ねている。ここでは、小学校から高校までの体験を一括し、体験の有無だけに絞って自己有用感との関連性を調べた。

図12 体験活動と自己有用感 (家族内)

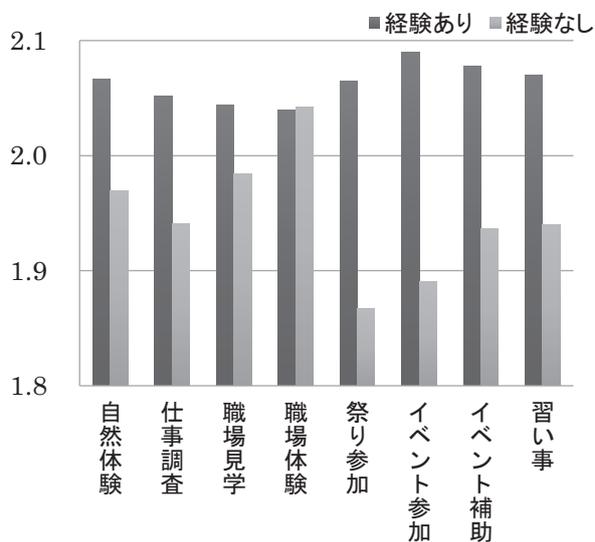


図13 体験活動と自己有用感 (家族外)

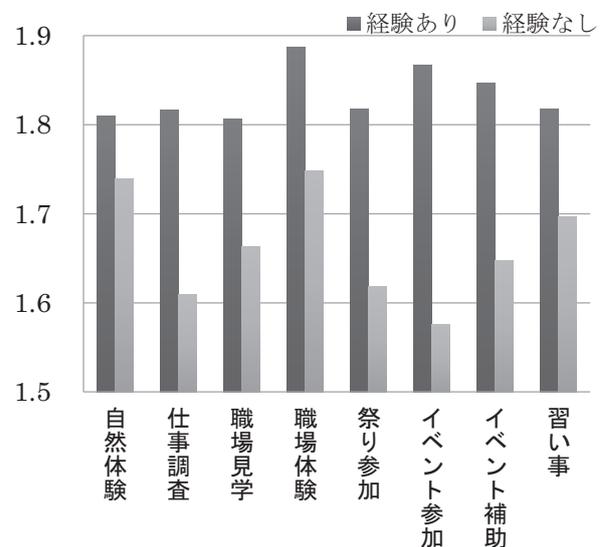


図 12・図 13 に示したように、家族内・家族外のどちらの自己有用感においても、体験活動を経験した人の方が、経験したことのない人よりも自己有用感が高くなった。家族内の自己有用感については、職場体験の有無による有意差は見られなかった。

5 まとめと考察

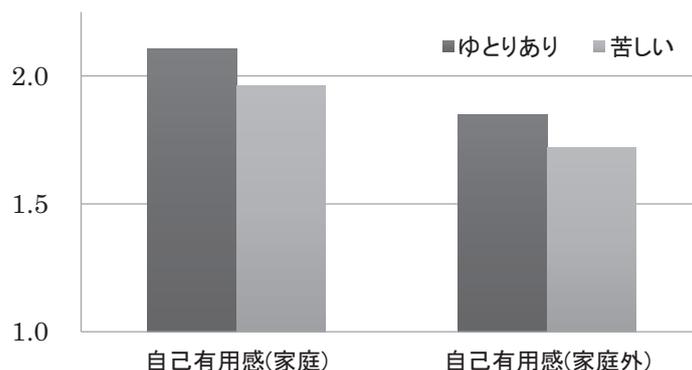
本章では、青森県に生活する若者の意識や行動を、「自己有用感」を軸として理解することの可能性について、調査データをもとに明らかにしてきた。今回の調査結果からは、自己有用感が地域や年齢層にかかわらず一定の構造を持ち、客観的な基準から測定可能であること、尺度化された自己有用感が、若者の意識や行動を説明する要因として利用できること、そして、自己有用感が結婚・子育てや仕事、各種の体験活動などによって規定されていることなどが分かった。

今後、自己有用感尺度を活用した比較研究や、学校・地域社会などにおける人間関係のアセスメントなどより実践的な目的のための活用が望まれる。

さて、本章の最後に、体験活動が自己有用感にとって持つ意味について、若干の考察を行っておきたい。調査データが示す体験活動と自己有用感との関連性は、教育実践の中から登場してきた「生の体験を通じて自己有用感が育つ」という仮説に、実証的根拠を与えるものと言えるかもしれない。

しかし、体験活動の量および質は、世代や年齢、子どもの家庭環境などによって異なってくる。例えば出身家庭の経済状況（問 18）を「かなりゆとりがあった」「まあまあゆとりがあった」グループと「苦しいようだった」「かなり苦しいようだった」グループとに分けて比較すると、ゆとりがあった家庭の出身者の方が、いずれの自己有用感も高い（図 14）。

図14 出身家庭の経済状況と自己有用感



恵まれた家庭に生まれ育った子どもが、体験活動を通じて自己有用感を獲得し、他者につながりながら生きるすべを身につけていく。反対に、不利な家庭環境に生まれた子どもは、自己有用感を持って社会的に孤立しながら生きていく。「貧困の連鎖」はここでも生じる可能性があるのである。

各種の活動に参加せず、孤立を深めている若者にどうアプローチしていくのか。社会教育・生涯学習における古くて新しいテーマが、いま改めて問われているのかもしれない。

参考文献

国立教育政策研究所・生徒指導・進路指導研究センター2016 『「自尊感情」？それとも「自己有用感」？』（生徒指導リーフ 18）、国立教育政策研究所 Web サイト (<http://www.nier.go.jp/shido/leaf/leaf18.pdf>)。

日本財団いのち支える自殺対策プロジェクト 2017 『「日本財団自殺意識調査 2016」報告書・全国編』日本財団 Web サイト (http://www.nippon-foundation.or.jp/what/projects/suicide_measures/)。

栃木県総合教育センター 2013 『高めよう！自己有用感～栃木の子どもの現状と指導の在り方～』栃木県総合教育センターWeb サイト (http://www.tochigi-edu.ed.jp/center/cyosa/cyosakenkyu/h24_jikoyuyokan/)。

Ⅲ 定住意向の決定要因について

弘前大学人文社会科学部 教授 李 永俊

1 はじめに

本章では、若者を取り巻く社会経済的な環境や地域体験型教育が若者の定住意向にどのような影響を与えているのかを明らかにする。人々が生活場所を選択するには、さまざまな目的がある。両親や親戚と多くの時間を過ごしたいから、あるいは生まれ育った場所から離れたくないから、あるいはその地域の自然環境や暮らしの環境に魅せられているからなど、さまざまな理由が考えられる。そのため、得られる所得が下がっても、あるいは希望する職に就けなくても、現在の場所での定住を選択する場合がある。

従来の経済学では、移動あるいは定住に伴う便益がそのコストを上回っている場合、経済合理的な個人は移動もしくは定住を選択することと考える。つまり、

$$(\text{賃金 (移動先)} \times \text{就業確率 (移動先)}) - \text{移動コスト} > \\ \text{賃金 (出身地)} \times \text{就業確率 (出身地)}$$

が成り立てば移動し、逆の場合は現在の場所で定住することを選択する。

上記の式から地方と都市の間の賃金格差や有効求人倍率の差が、地方の若者たちが都市部に移動する大きな要因となることが分かる。太田（2010）、李（2013）などの研究はデータを用いて上記のモデルを実証している。

しかし、個人を取り巻く社会経済環境、例えば世帯所得や親の学歴、あるいは住まいの環境などについては十分な検討がなされていない。また、地域体験型教育が住まいの選択にどのように影響しているかについては十分な研究蓄積がなされていない。

そこで、本章では上記の経済モデルに個人を取り巻く社会経済環境を加え、その影響を明らかにすることを通して、若者の定住促進策を模索する。

2 個人属性別に見た定住意向

今回の調査では、「あなたは、青森県内で働くことや働き続けることに関心はありますか」の質問に対し、「積極的に働きたい」、「条件が合えば働きたい」、「あまり働きたくない」の3段階の回答を得て、定住意向を測っている。

表1は定住意向を性別、年齢階級別、学卒有無別、学歴の個人属性別にまとめたものである。まず、合計に注目すると、42.6%が「積極的に働きたい」、47.9%が「条件が合えば働きたい」と回答しており、90.5%が環境が許せば県内で働きたいと回答している。若者の流出が深刻な社会問題となっている本県にとっては嬉しい調査結果といえる。しかし、属性別に見てみると、必ずしも安心できる状況ではない。

まず、男女別の差であるが、カイ二乗検定で有意な差は認められなかった。年齢においては、統計的に有意な差が見られ、若年者において定住意向は弱いことが明らかになった。30代前半には、

48.5%が積極的に県内で働きたいと答えたのに対し、18～20歳ではその割合は24.1%で30代前半の半分に満たない。李（2015a）が明らかにしているように、移動性向は20代後半までに落ち着き、30代に入ると地域間の移動はほとんど行われぬ。そのような結果が表1にも表れているといえる。本県からの若者の流出が18歳時点と22歳時点に集中している事実も本結果と一致しているといえる。

表1 個人属性別の定住意向

(単位：%)

定住意向		積極的に	条件が合えば	働きたくない	合計
性別	男性	44.7	45.9	9.4	100.0
	女性	41.1	49.2	9.7	100.0
年齢	18～20歳	24.1	57.7	18.3	100.0
	21～25歳	39.2	50.7	10.1	100.0
	26～30歳	47.7	44.1	8.2	100.0
	31～35歳	48.5	44.8	6.8	100.0
卒業有無	在学中	23.1	53.8	23.1	100.0
	学卒者	46.0	46.8	7.2	100.0
学歴	中卒以下	22.0	58.0	20.0	100.0
	高卒	46.5	44.5	9.0	100.0
	短大・専門学校卒	40.6	52.6	6.9	100.0
	大学・大学院卒	42.1	47.2	10.7	100.0
合計	割合	42.6	47.9	9.6	100.0
	人数	446	501	100	1047

注) 年齢, 卒業有無, 学歴, $p < 0.000$ で有意。

次に、学卒有無について見てみたい。本調査では県内の18歳から35歳までの若者を調査対象としているため、現在在学中の者も卒業もしくは中退した者も含まれている。調査時点で在学中の者が160名(15.4%)、学卒者(中退者を含む)が881名(84.6%)である。学卒有無別に定住意向を見ると、在学中の者には県内で働きたくないと答えた者が23.1%に上っているのに対し、学卒者では7.2%と大きくその割合が減少している。この結果の背景には様々な理由が考えられる。第一の理由としては、学卒者にはすでに本県での定住を選択した者のみが残っていることが考えられる。第二の理由としては、在学中の者には進学先として移動を選択する可能性が高いことが挙げられる。第三の理由としては、現在在学中の者は年齢的に若いため、移動に伴うコストを回収する期間が長く、移動からの便益が高いことから移動を選択しやすくなることが考えられる。そして、もう一つの可能性としては、在学中の者は都会での生活の厳しさが十分に分かっておらず、漠然とした憧れから移動を選択している可能性が考えられる。李(2013)では若者の情報の不足が非合理的な移動を選択する要因になっていることを明らかにしている。

次に、学歴別の差に注目する。本県で働きたくない若者の割合を見ると、中卒者で最も高く20.0%となっている。次に高いのは、大学・大学院卒者である。他方、定住希望者の割合を見ると、高卒者46.5%、大学・大学院卒者42.1%、短大・専門学校卒者40.6%、中卒者22.0%となっている。地方と都市との賃金格差は高学歴層で格差が大きく、低学歴層で格差が小さい。そのため、学歴が高くな

ればなるほど移動に伴う便益が大きくなる。上記の結果を見ると大学・大学院卒者に県内で働きたいと回答した者は経済学的に考えると合理的であると考えられる。しかし、中卒者にその希望者が多いことは経済合理的とは言えない。十分に情報が行き渡っていない結果なのか、現実への不満から県外への流出を選択しているのか、いずれにしても早急な対策が求められる結果となった。

3 社会経済環境別に見た定住意向

ここでは、定住意向と就業状況の関係を見てみたい。表2は、就業状況をまとめたものである。積極的に本県で働きたい、継続して働きたいという意向をもっている者に正規雇用者の割合が多いように見受けられる。しかし、カイ二乗検定の結果、統計的に有意な就業状況の差は見られなかった。

表2 定住意向別就業状況

	単位：%)				
	正規雇用者	非正規雇用者	自営業・家族従業員	無業者	合計
積極的に	60.6	27.6	3.5	8.3	100.0 (98)
条件が合えば	55.2	27.8	3.0	14.0	100.0 (406)
働きたくない	59.7	24.2	3.2	12.9	100.0 (62)

注) カイ二乗検定で $p < 0.276$ で有意ではなかった。

※ () の数値は回答数

表3 定住意向別職種

	単位：%)												
	管理職	専門・技術職	事務職	販売職	サービス職	保安職	農林漁業	生産工程作業 業・労務	輸送・機械運 転	建設・採掘	運搬・清掃	その他	
積極的に	21.4	48.2	45.7	37.9	45.7	45.5	50.0	58.0	70.0	64.0	53.3	46.2	
条件が合えば	64.3	46.7	46.3	50.0	48.8	36.4	45.5	30.0	30.0	36.0	40.0	46.8	
働きたくない	14.3	5.1	8.0	12.1	5.4	18.2	4.6	12.0	0.0	0.0	6.7	7.0	
合計	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	

注) カイ二乗検定で $p < 0.061$ で10%水準で有意。

次に、表3では定住意向別に働きたい、あるいは働きたい職種について尋ねた結果をまとめた。積極的に本県で働きたい者には、輸送・機械の運転、建設・採掘、生産工程作業・労務の職種においてその割合が高くなっている。他方、保安職、管理職、販売職、生産工程作業・労務職においては、本県で働きたくないと答えた若者が多く、この分野での労働需要を高めることや賃金などの労働環境を改善することが求められていることが分かる。

就業状況と同様に若者の定住意向に大きな影響を与えると思われるのは、住まいを取り巻く環境である。表4は、世帯構成や世帯の経済状況、父親や母親の学歴など、若者の住まいに関わる環境別に定住意向の違いを見たものである。まず、世帯構成を見ると、単身世帯つまり一人暮らし世帯において県内での定住意向が低いことが分かる。また、3世代が一緒に暮らしている世帯においても、県内で働きたくないと回答した若者が10.6%に上っており、3世代が一緒に暮らしている若者たちは居場所を求めて県外への流出を求めていることが表れている。

表4 世帯環境別定住意向

(単位：%)

定住意向		積極的に	条件が合えば	働きたくない	合計
世帯構成	単身世帯	32.1	49.4	18.6	100.0
	2世代世帯	44.7	48.4	6.9	100.0
	3世代世帯	43.9	45.5	10.6	100.0
世帯の経済状況	かなりゆとりがあった	53.7	35.2	11.1	100.0
	まあまあゆとりがあった	43.8	46.4	9.9	100.0
	苦しいようだった	44.0	49.5	6.5	100.0
	かなり苦しいようだった	29.8	54.0	16.1	100.0
父親の学歴	中卒以下	42.2	48.3	9.5	100.0
	高卒	47.1	45.3	7.6	100.0
	短大・専門学校卒	38.3	49.5	12.2	100.0
	大学・大学院卒	40.0	45.0	15.0	100.0
母親の学歴	中卒以下	41.5	51.2	7.3	100.0
	高卒	45.2	46.5	8.3	100.0
	短大・専門学校卒	41.4	43.2	15.4	100.0
	大学・大学院卒	41.7	48.7	9.6	100.0
合計	割合	42.6	47.9	9.6	100.0
	人数	446	501	100	1047

注) 世帯構成は $p<0.000$ で有意、世帯の経済状況は $p<0.004$ で有意、父親の学歴は $p<0.080$ で有意、母親の学歴は $p<0.177$ で有意でなかった。

世帯の経済状況に注目すると「かなりゆとりがあった」と回答した若者に定住意向が強く、「かなり苦しいようだった」と答えた者に定住意向が低い。本県で「働きたくない」と答えた移住性向の高い若者も、「かなりゆとりがあった」という世帯と、「かなり苦しいようだった」という世帯に多くなっている。この結果は、経済的に苦しい家庭では現状への不満や現状の打開に若者たちが県外への移動を望んでいることがうかがえる。他方、経済的に豊かな家庭では、現状への満足度が定住につながっている一方、経済的な余裕が移動の経済的なコストを低くし、移動性向を高めていることが分かった。

また、両親の学歴については、父親の学歴による定住意向の差が統計的に確認できた。父親の学歴が高いほど、移動性向が高い若者の割合が高くなっていることが分かる。これは、父親学歴と子供学歴とが強く相関関係にあることと、学歴が高いほど都市と地方との賃金格差が高いため、移動に伴う便益が大きいことによるものと解釈できる。

4 移動パターン別に見た定住意向

ここでは、出身地と他地域での1年以上生活した経験があるか否かで分類した移動タイプ別に定住意向の違いを見てみたい。移住タイプは次のように定義する。①定住者は、青森県内の出身者で青森県以外の都道府県で1年以上の生活経験を持っていない者、②UJターン者は、青森県内出身者で青森県以外の都道府県で1年以上の生活経験を持っている者、③Iターン者は、青森県以外の都道府県もしくは海外の出身者で中学校を卒業し、現在青森県内で居住している者と定義する¹。

¹ ここで用いる出身地は、卒業した中学校の所在地を指す。また、Uターン者、Jターン者を分けられなかったのは、中学校の所在地を青森県内か否かで聞いていたため、県内での移動については区分できなかったからである。

表 5 個人属性別移動パターン

		(単位：%)			
移動パターン		定住者	UJターン者	Iターン者	合計
性別	男性	62.2	30.4	7.4	100.0
	女性	60.1	32.9	7.0	100.0
年齢	18～20歳	86.2	10.1	3.6	100.0
	21～25歳	63.0	30.6	6.5	100.0
	26～30歳	58.2	34.6	7.2	100.0
	31～35歳	52.4	38.1	9.5	100.0
卒業有無	在学中	59.4	33.1	7.5	100.0
	学卒者	72.3	22.6	5.0	100.0
学歴	中卒以下	84.0	8.0	8.0	100.0
	高卒	75.6	19.2	5.2	100.0
	短大・専門学校卒	45.1	46.9	8.0	100.0
	大学・大学院卒	48.2	42.3	9.5	100.0
合計	割合	61.3	31.4	7.2	100.0
	人数	644	330	76	1050

注) 年齢、学歴は $p<0.000$ 、卒業有無は $p<0.009$ で有意。

表 5 は個人属性別に移動パターンをまとめたものである。まず、合計に注目すると、県内の若者の 61.3%が定住者で、31.4%が UJ ターン者、7.2%が I ターン者であることが分かる。これは李 (2015、2016) の割合と比較すると、中南津軽地域よりは定住者の割合が低く、東青地域よりは高くなっている²。また、UJ ターン者の割合もちょうど両地域の間水準となっており、県内各地の平均をとったような結果となっている。

統計的に有意な差が認められた結果を見ると、年齢階級別では若年者ほど定住者の割合が高く、年齢が高くなるにつれて UJ ターン者や I ターン者の割合が高くなっている。また、学歴別では、短大・専門学校卒以上において、定住者の割合が 5 割を切っており、半数以上が UJ ターン者や I ターン者によって構成されていることが分かる。UJ ターン者には、教育インフラが集中している都市部へ進学のために移動し、卒業後に地元へ帰還した者や、学卒後に他地域で就職した後に帰還した者などが含まれていると思われる。

表 6 移動パターン別定住意向

		(単位：%)			
定住意向		積極的に	条件が合えば	働きたくない	合計
定住者		47.0	45.7	7.4	100.0
UJ ターン者		39.4	51.8	8.8	100.0
I ターン者		19.7	50.0	30.3	100.0

注) カイ二乗検定で $p<0.000$ で1%水準で有意。

² 調査対象の年齢構成が李 (2015a、2015b) では 20～70 歳までとなっているため、直接の比較は不可能であるが、両調査 20 代と 30 代の結果と比較することは可能である。

表 6 は移住パターン別に定住意向の違いを表している。やはり、他地域での生活の経験を有している UJ ターン者や I ターン者の定住意向が弱いことが分かる。定住者の 47.0% と比較すると UJ ターン者は 39.4%、I ターン者は 19.7% で定住者の半分にも満たない。

このことは、移住・定住政策を考えるうえで大変重要な意味を持つ。李・杉浦（2017）でも指摘しているように、地域への愛着は短期的に形成されるものではなく、幼少期から成長期に渡る長期的な体験が地域への愛着を育むことになる。そのため、定住者、地元出身の UJ ターン者が移住・定住政策の重要なターゲットであることを指摘したい。

5 定住意向の決定要因と地域体験型教育の効果

ここでは、多項ロジット分析を用いて、個人を取り巻く社会経済環境と地域体験型教育が定住意識にどのような影響を与えているのかを明らかにする。ここで用いる被説明変数は、「県内で働くことや働き続けることに関心がありますか」の質問に対する回答で、「積極的に」、「条件が合えば」、「あまり働きたくない」の三つの回答を用いる。分析では、「条件が合えば」を基準カテゴリとする。

表 7 個人属性、社会経済環境と定住意向（多項ロジット分析結果）

変数	積極的に働きたい		働きたくない	
	係数	標準偏差	係数	標準偏差
男性ダミー	0.0871	0.14	-0.0332	0.24
年齢	0.0458	0.02 ***	0.0054	0.03
在学ダミー	-0.0145	0.30	1.1437	0.43 ***
中卒ダミー	-0.5960	0.39	0.4545	0.44
短大・専門学校卒ダミー	-0.2473	0.20	-0.4628	0.37
大学・大学院卒ダミー	-0.0546	0.16	-0.0267	0.27
単身世帯ダミー	-0.2317	0.21	0.5550	0.31 *
3世帯ダミー	0.1203	0.17	0.5568	0.28 **
非正規雇用者ダミー	-0.1548	0.17	-0.2425	0.33
自営業ダミー	-0.0233	0.42	0.0743	0.81
無業者ダミー	-0.6896	0.23 ***	-0.1529	0.37
UJ ターン者ダミー	-0.4195	0.15 ***	0.2392	0.28
I ターン者ダミー	-1.1009	0.33 ***	1.5460	0.35 ***
定数項	-0.9551	0.48 **	-2.4413	0.89 ***
サンプルサイズ	1036			
自由度修正済決定係数	0.0686			

注：*は10%水準，**は5%水準，***は1%水準で有意であることを意味する。

表 7 の統計的に有意な結果が得られた個人属性変数に注目すると、年齢が高くなればなるほど、「積極的に県内で働きたいもしくは働き続けたい」とする回答が増えることが確認できた。次に、現在在学中の者ほど「県内で働きたくない」と回答する者が多いことが分かる。

社会経済環境変数に注目すると、単身世帯ダミーや 3 世帯ダミーの係数が正で有意となっている。この結果から、一人暮らしの経験が家族と離れることへの不安感を軽減して県外への移動の心理的コストを低くしていると考えられる。また、3 世帯ダミーの結果からは、3 世代が一緒に同居している世帯では、家庭の中で一人の居場所をなかなか確保できず、移動を選択している若者の現状が読み取れる。

就業状況では、無業者ダミーが有意となっており、雇用状況が不安定なことが定住の阻害要因となっていることが分かる。次に移動タイプでは、UJターン者ダミーとIターン者ダミーが有意となっており、他地域出身者あるいは他地域での生活経験がある者が本県出身の定住者より定住意向が弱いことが分かる。

栗原（2016）では、「弘前市・つがる地域の大学生の調査」で、大学における地域体験型授業が職場見学やインターンシップなどに影響し、勤務地の選択に作用していることを明らかにしている。このように地域体験の経験は定住意向にも大きな影響を与えることが予想される。表8では、「小・中・高校生のときに地域体験を経験したことがありますか」の問いに対する回答を、「ある」と答えた場合を1、「ない」と答えた場合を0とし、小学校時、中学校時、高校在学中の回答を合算したものを変数として用いて、定住意向に対する影響を多項ロジットで推定した結果である。

表8 地域体験と定住意向

変数	積極的に働きたい		積極的に働きたい		積極的に働きたい	
	係数	標準偏差	係数	標準偏差	係数	標準偏差
男性ダミー	0.1250	0.14	0.0991	0.14	0.0841	0.14
年齢	0.0600	0.02 ***	0.0489	0.02 ***	0.0467	0.02 ***
在学ダミー	0.0016	0.30	-0.0305	0.30	-0.0483	0.30
中卒ダミー	-0.5627	0.39	-0.5895	0.39	-0.5603	0.39
短大・専門学校卒ダミー	-0.3013	0.20	-0.2605	0.20	-0.2580	0.20
大学・大学院卒ダミー	-0.1201	0.16	-0.0787	0.16	-0.0988	0.16
単身世帯ダミー	-0.2657	0.22	-0.2036	0.22	-0.2395	0.21
3世帯ダミー	0.1078	0.17	0.1212	0.17	0.1372	0.17
非正規雇用者ダミー	-0.1548	0.17	-0.1314	0.17	-0.1584	0.17
自営業ダミー	-0.0743	0.42	-0.0271	0.42	-0.0336	0.42
無業者ダミー	-0.6921	0.23 ***	-0.6658	0.23 ***	-0.6773	0.23 ***
UJターン者ダミー	-0.4444	0.16 ***	-0.4254	0.16 ***	-0.3971	0.16 ***
Iターン者ダミー	-1.1917	0.34 ***	-1.1175	0.33 ***	-1.1274	0.34 ***
興味のある仕事について	0.2149	0.09 **				
地域の祭りに参加したことがある			0.1113	0.07 *		
地域のイベントに参加したことがある					0.1271	0.07 *
定数項	-1.5885	0.54 ***	-1.2150	0.50 **	-1.1269	0.49 **
サンプルサイズ	1036		1035		1030	
自由度修正済決定係数	0.0719		0.0704		0.0685	

注：*は10%水準，**は5%水準，***は1%水準で有意であることを意味する。

他の変数については、上述した表7の結果と一緒に、全ての推定で安定した結果が得られた。教育課程における地域体験の影響を見ると、「興味のある仕事について、本やインターネットなどで調べたことがある」と答えた人は、正で有意となっており、情報を十分に得られている人がより積極的に定住を選択していることが分かる。次に、「地域の祭りに参加したことがある」「地域のイベントに参加したことがある」にあると答えた若者がより積極的に県内で働くことや働き続けることを選択していることが分かる。

この結果は、地域体験や職業についての十分な情報収集の経験があれば、より積極的に県内で働くこと、もしくは働き続けることを選択する傾向があることを示している。栗原（2016）が示した結果と一致する。また、経験回数が多ければ多いほど「積極的に」と回答した者が多くなっており、小中高の教育課程における地域体験型経験を積み重ねることの重要性を示している。

6 定住意向と満足度

ここでは、定住意向と満足度の関係を概観したい。「生活に満足しているから定住を希望しているのか」あるいは「定住しているから満足度が高いのか」を特定するのは容易なことではない。そこで、ここでは定住意向の違いによって仕事満足度の分布がどのように異なっているのかを、「総合的」(manzoku_1)「収入」(manzoku_2)「やりがい」(manzoku_3)「仕事と私生活のバランス」(manzoku_4)の4つの側面から概観する。満足度は「満足」を5、「不満」を1とし、5段階で計測している。

図1 仕事満足度と定住意向

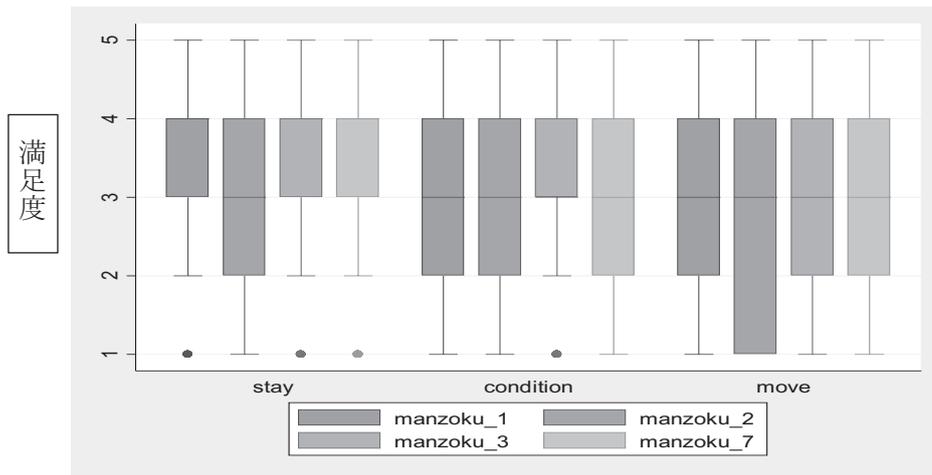


図2 幸福度と定住意向

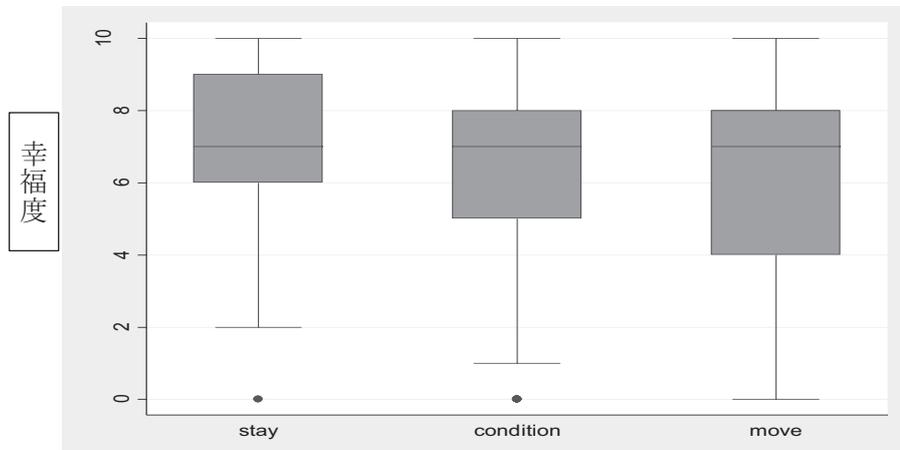


図1は、定住意向別に満足度の差を示したものである。まず、総合満足度で見ると、本県で「積極的に働きたいもしくは働き続けたい」と答えた者の満足度が、他のグループより高くなっていることが確認できる。また、「やりがい」、「仕事と私生活のバランスの満足度」も高くなっており、高い満足度と定住意向が強く相関していることが分かる。他方、「働きたくない」と答えた者には、収入面で「不満」と答えた者の割合が高い。彼らの流出を食い止めるためには、低所得層での所得を高めることが重要であるといえる。

図2は「現在、あなたはどの程度幸せですか」の質問に、「とても幸せ」を10、「とても不幸」を0点とし、10段階で測った幸福度を見てみたい。「積極的に県内で働きたいもしくは働き続けたい」と

答えた者の幸福度の平均と上位 25%点と下位 25%点が、全て他のグループを上回っており、定住意向の高い若者の幸福度が高くなっていることが分かる。他方、「働きたくない」と答えた者の幸福度を見ると、下位 25%の幸福度が 4 となっており、下位層の幸福度の改善が重要であることが指摘できる。

7 小括

本章での分析の結果、本県で働きたくないと答えた、流出？の可能性が高い若者は、次の二つのグループに分けられる。一つは、高学歴で家庭の経済状況にも恵まれている若者たちで、もう一つのグループは低学歴で家庭の経済状況が苦しい若者たちである。前者は、都市部において高い賃金が期待され、家庭に与える移動のコストの負担も低いため、移動にともなう便益が移動コストを上回っており、経済学的な観点では合理的な選択である。また、国全体のマクロ経済の観点からでは、人材の適材適所への配置は国全体の生産性を高めることになる。そのため、若者が活躍の場を求めて移動することは、経済学的には最適な選択であるといえる。

他方、低学歴で家庭環境が苦しい若者の移動の選択については、二つの可能性が考えられる。一つは、情報不十分のために都市部での生活の現実が分からず、漠然とした憧れからの選択である可能性である。もう一つは、苦しい現実からの打開のチャンスを見出そうとする可能性である。いずれにしても、経済的な観点では合理的な選択だとはいえない。また、都市部でチャンスを見出せない場合は支払わなければならない経済的、時間的コストが重くのしかかる。そして、地域にとっては地域中で十分な活躍の場を見出せる可能性がある若者を失うことになり、貴重な労働力を失うことに止まらず、人口減少につながり、持続可能な地域づくりの最大の阻害要因となりうる。

ただ、本章の検証では一つの重要な政策的なヒントがあった。それは、やりたい仕事に関する情報を調べる経験や地域の祭り、イベントへの参加などの体験が定住意向を高める効果があることである。若者に小中高の教育課程を通して、継続的に積み重ね式にそのような体験学習を取り入れることが、若者に地域への理解を高め、定住意向を向上させることにつながることである。特に、社会経済環境に恵まれていない若者にそのような経験を充実させることによって、地域の中でチャンスを発見できるような仕組み作りが急がれる。

【参考文献】

- 李永俊（2013）「地域間移動から若者が得る経済的な利益」『「東京」に出る若者たち—仕事・社会関係・地域間格差』（石黒・李ほか）ミネルヴァ書房
- 李永俊ほか（2015a）『中南津軽地域住民の仕事と生活に関する調査報告書』弘前大学地域未来創生センター
- 李永俊ほか（2015b）『東青地域住民の仕事と生活に関する調査報告書』弘前大学地域未来創生センター
- 李永俊・杉浦裕晃（2017）「地方圏への移住の決定要因とその促進策に関する研究—青森県の住民アンケート調査から—」『地域未来創生センタージャーナル』弘前大学地域未来創生センター2017年2月、5-18頁
- 太田聡一（2010）『若年者就業の経済学』日本経済新聞出版社
- 栗原由紀子（2016）「弘前市の労働需給に関するベイジアンネットワーク分析」『弘前市・つがる地域の大学生・企業の就職に関する意識調査報告書』（李永俊ほか）弘前大学地域未来創生センター

第4章 資料

1 調査結果単純集計表

◎結果数値(パーセント=%)は、少数第2位を四捨五入して少数第1位まで表示しています。

問1 あなたの年齢と性別、お住まいの市町村を教えてください。

1 <性別>

			度 数	パーセント	有効パーセント	累計パーセント
有効	1	男性	429	40.8%	40.8%	40.8%
	2	女性	623	59.2%	59.2%	100.0%
	小計		1,052	100.0%	100.0%	
欠損値	99	無回答	0	0.0%		
合計			1,052	100.0%		

2 <年齢>

			度 数	パーセント	有効パーセント	累計パーセント
有効	1	18歳	65	6.2%	6.2%	6.2%
	2	19歳	39	3.7%	3.7%	9.9%
	3	20歳	34	3.2%	3.2%	13.1%
	4	21歳	59	5.6%	5.6%	18.7%
	5	22歳	55	5.2%	5.2%	24.0%
	6	23歳	62	5.9%	5.9%	29.8%
	7	24歳	42	4.0%	4.0%	33.8%
	8	25歳	61	5.8%	5.8%	39.6%
	9	26歳	60	5.7%	5.7%	45.3%
	10	27歳	63	6.0%	6.0%	51.3%
	11	28歳	66	6.3%	6.3%	57.6%
	12	29歳	58	5.5%	5.5%	63.1%
	13	30歳	59	5.6%	5.6%	68.7%
	14	31歳	45	4.3%	4.3%	73.0%
	15	32歳	67	6.4%	6.4%	79.4%
	16	33歳	76	7.2%	7.2%	86.6%
	17	34歳	89	8.5%	8.5%	95.1%
	18	35歳	52	4.9%	4.9%	100.0%
小計			1,052	100.0%	100.0%	
欠損値	99	無回答	0	0.0%		
合計			1,052	100.0%		

3 <市町村>

			度 数	パーセント	有効パーセント	累計パーセント
有効	1	東青地区	259	24.6%	24.6%	24.6%
	2	西北地区	100	9.5%	9.5%	34.1%
	3	中南地区	238	22.6%	22.6%	56.7%
	4	上北地区	168	16.0%	16.0%	72.7%
	5	下北地区	53	5.0%	5.0%	77.8%
	6	三八地区	234	22.2%	22.2%	100.0%
小計			1,052	100.0%	100.0%	
	1	市部	820	77.9%	77.9%	77.9%
	2	町村部	232	22.1%	22.1%	100.0%
小計			1,052	100.0%	100.0%	

問2 あなたが卒業した中学校は、どこにありましたか。次の4つの中から1つだけ○をつけてください。

			度 数	パーセント	有効パーセント	累計パーセント
有効	1	青森県内	974	92.6%	92.8%	92.8%
	2	青森県以外の東北5県	37	3.5%	3.5%	96.3%
	3	東北以外の都道府県	38	3.6%	3.6%	99.9%
	4	海外	1	0.1%	0.1%	100.0%
小計			1,050	99.8%	100.0%	
欠損値	99	無回答	2	0.2%		
合計			1,052	100.0%		

問3 現在、あなたはどなたと同居していますか。一緒に暮らしている方すべてに○をつけてください。一人暮らしの方は、「11. 一人暮らし」に○をつけてください。

			度 数	パーセント	有効パーセント	累計パーセント
有効	1	夫や妻	325	30.9%		
	2	自分の父	460	43.7%		
	3	自分の母	559	53.1%		
	4	義父(夫や妻の父)	43	4.1%		
	5	義母(夫や妻の母)	55	5.2%		
	6	兄弟姉妹	309	29.4%		
	7	息子	161	15.3%		
	8	娘	174	16.5%		
	9	祖父	76	7.2%		
	10	祖母	176	16.7%		
	11	一人暮らし	156	14.8%		
	12	その他	26	2.5%		

問4 あなたは、これまでに青森県以外の都道府県で1年以上生活したことがありますか。いずれかに○をつけてください。

			度 数	パーセント	有効パーセント	累計パーセント
有効	1	はい	405	38.5%	38.5%	38.5%
	2	いいえ	647	61.5%	61.5%	100.0%
	小計		1,052	100.0%	100.0%	
欠損値	99	無回答	0	0.0%		
合計			1,052	100.0%		

問4-① 問4で「はい」と答えた方にお聞きます。青森県以外の都道府県で1年以上生活したときは、どなたと一緒にでしたか。あてはまるものすべてに○をつけてください

			度 数	パーセント	有効パーセント	累計パーセント
有効	1	家族と一緒に	114	28.1%		
	2	一人暮らしで	288	71.1%		
	3	友人と一緒に	30	7.4%		
	4	親族・親戚と一緒に	11	2.7%		
	5	同僚と一緒に	29	7.2%		
	6	その他	0	0.0%		

問5 あなたは、将来の夢や就きたい職業について相談するとしたら、誰に相談したいですか。あてはまるものすべてに○をつけてください。

			度 数	パーセント	有効パーセント	累計パーセント
有効	1	父親に相談したい	390	37.1%		
	2	母親に相談したい	629	59.8%		
	3	兄弟姉妹に相談したい	249	23.7%		
	4	夫や妻に相談したい	275	26.1%		
	5	友達に相談したい	495	47.1%		
	6	中学の先生に相談したい	26	2.5%		
	7	高校の先生に相談したい	60	5.7%		
	8	部活サークルの先輩に相談したい	36	3.4%		
	9	SNSで知り合った人に相談したい	27	2.6%		
	10	誰にも相談しない	141	13.4%		

※SNS（ソーシャルネットワークサービス）

問6 あなたの小学生・中学生・高校生のときのことについてお聞きます。以下のことを体験したことがありますか。それぞれの項目ごとにあてはまるものすべてに○をつけてください。

1 <学校行事以外で、野外で炊事したりテントに泊まったりしたことがある>

			度 数	パーセント	有効パーセント	累計パーセント
有効	1	小学生で体験した	648	61.6%		
	2	中学生で体験した	257	24.4%		
	3	高校生で体験した	156	14.8%		
	4	体験したことがない	308	29.3%		

2 <興味のある仕事について、本やインターネットなどで調べたことがある>

			度 数	パーセント	有効パーセント	累計パーセント
有効	1	小学生で体験した	189	18.0%		
	2	中学生で体験した	470	44.7%		
	3	高校生で体験した	728	69.2%		
	4	体験したことがない	143	13.6%		

3 <職場見学や職場訪問をしたことがある>

			度 数	パーセント	有効パーセント	累計パーセント
有効	1	小学生で体験した	328	31.2%		
	2	中学生で体験した	600	57.0%		
	3	高校生で体験した	527	50.1%		
	4	体験したことがない	133	12.6%		

4 <4日以上職場体験やインターンシップを体験したことがある>

			度 数	パーセント	有効パーセント	累計パーセント
有効	1	小学生で体験した	15	1.4%		
	2	中学生で体験した	124	11.8%		
	3	高校生で体験した	225	21.4%		
	4	体験したことがない	710	67.5%		

5 <地域の祭りに参加したことがある>

			度 数	パーセント	有効パーセント	累計パーセント
有効	1	小学生で体験した	799	76.0%		
	2	中学生で体験した	516	49.0%		
	3	高校生で体験した	360	34.2%		
	4	体験したことがない	147	14.0%		

6 <地域のイベントに参加したことがある>

		度 数	パーセント	有効パーセント	累計パーセント
有効	1	小学生で体験した	671	63.8%	
	2	中学生で体験した	366	34.8%	
	3	高校生で体験した	272	25.9%	
	4	体験したことがない	270	25.7%	

7 <地域のイベントの手伝いやごみ拾いなどに参加したことがある>

		度 数	パーセント	有効パーセント	累計パーセント
有効	1	小学生で体験した	583	55.4%	
	2	中学生で体験した	328	31.2%	
	3	高校生で体験した	237	22.5%	
	4	体験したことがない	299	28.4%	

8 <有料の学習塾やピアノ教室などの習い事に通ったことがある>

		度 数	パーセント	有効パーセント	累計パーセント
有効	1	小学生で体験した	676	64.3%	
	2	中学生で体験した	416	39.5%	
	3	高校生で体験した	178	16.9%	
	4	体験したことがない	252	24.0%	

問7 あなた自身のことについてお聞きます。あなたは、以下のそれぞれについて誇りを持っていますか。あてはまるものをそれぞれ1つ選んで○をつけてください。

1 <明るさ>

		度 数	パーセント	有効パーセント	累計パーセント
有効	1	誇りを持っている	229	21.8%	21.8%
	2	どちらかといえば、誇りを持っている	394	37.5%	37.6%
	3	どちらかといえば誇りを持っていない	283	26.9%	27.0%
	4	誇りを持っていない	143	13.6%	13.6%
	小計		1,049	96.9%	100.0%
欠損値	99	無回答	3	0.3%	
合計			1,052	100.0%	

2 <やさしさ>

		度 数	パーセント	有効パーセント	累計パーセント
有効	1	誇りを持っている	286	27.2%	27.2%
	2	どちらかといえば、誇りを持っている	514	48.9%	48.9%
	3	どちらかといえば誇りを持っていない	182	17.3%	17.3%
	4	誇りを持っていない	69	6.6%	6.6%
	小計		1,051	99.9%	100.0%
欠損値	99	無回答	1	0.1%	
合計			1,052	100.0%	

3 <忍耐力、努力家>

		度 数	パーセント	有効パーセント	累計パーセント
有効	1	誇りを持っている	257	24.4%	24.5%
	2	どちらかといえば、誇りを持っている	422	40.1%	40.2%
	3	どちらかといえば誇りを持っていない	258	24.5%	24.6%
	4	誇りを持っていない	113	10.7%	10.8%
	小計		1,050	99.8%	100.0%
欠損値	99	無回答	2	0.2%	
合計			1,052	100.0%	

4 <慎み深い>

		度 数	パーセント	有効パーセント	累計パーセント
有効	1	誇りを持っている	119	11.3%	11.4%
	2	どちらかといえば、誇りを持っている	411	39.1%	39.5%
	3	どちらかといえば誇りを持っていない	380	36.1%	36.5%
	4	誇りを持っていない	131	12.5%	12.6%
	小計		1,041	99.0%	100.0%
欠損値	99	無回答	11	1.0%	
合計			1,052	100.0%	

5 <賢さ、頭の良さ>

		度 数	パーセント	有効パーセント	累計パーセント
有効	1	誇りを持っている	74	7.0%	7.1%
	2	どちらかといえば、誇りを持っている	290	27.6%	27.7%
	3	どちらかといえば誇りを持っていない	403	38.3%	38.5%
	4	誇りを持っていない	281	26.7%	26.8%
	小計		1,048	99.6%	100.0%
欠損値	99	無回答	4	0.4%	
合計			1,052	100.0%	

6 <まじめ>

			度 数	パーセント	有効パーセント	累計パーセント
有効	1	誇りを持っている	240	22.8%	22.9%	22.9%
	2	どちらかといえば、誇りを持っている	465	44.2%	44.3%	67.1%
	3	どちらかといえば誇りを持っていない	232	22.1%	22.1%	89.2%
	4	誇りを持っていない	113	10.7%	10.8%	100.0%
	小計		1,050	99.8%	100.0%	
欠損値	99	無回答	2	0.2%		
合計			1,052	100.0%		

7 <正義感>

			度 数	パーセント	有効パーセント	累計パーセント
有効	1	誇りを持っている	213	20.2%	20.3%	20.3%
	2	どちらかといえば、誇りを持っている	467	44.4%	44.5%	64.8%
	3	どちらかといえば誇りを持っていない	271	25.8%	25.8%	90.7%
	4	誇りを持っていない	98	9.3%	9.3%	100.0%
	小計		1,049	99.7%	100.0%	
欠損値	99	無回答	3	0.3%		
合計			1,052	100.0%		

8 <決断力、意志力>

			度 数	パーセント	有効パーセント	累計パーセント
有効	1	誇りを持っている	145	13.8%	13.8%	13.8%
	2	どちらかといえば、誇りを持っている	289	27.5%	27.6%	41.4%
	3	どちらかといえば誇りを持っていない	410	39.0%	39.1%	80.5%
	4	誇りを持っていない	204	19.4%	19.5%	100.0%
	小計		1,048	99.6%	100.0%	
欠損値	99	無回答	4	0.4%		
合計			1,052	100.0%		

9 <体力、運動能力>

			度 数	パーセント	有効パーセント	累計パーセント
有効	1	誇りを持っている	154	14.6%	14.7%	14.7%
	2	どちらかといえば、誇りを持っている	289	27.5%	27.6%	42.2%
	3	どちらかといえば誇りを持っていない	324	30.8%	30.9%	73.1%
	4	誇りを持っていない	282	26.8%	26.9%	100.0%
	小計		1,049	99.7%	100.0%	
欠損値	99	無回答	3	0.3%		
合計			1,052	100.0%		

10 <容姿>

			度 数	パーセント	有効パーセント	累計パーセント
有効	1	誇りを持っている	61	5.8%	5.8%	5.8%
	2	どちらかといえば、誇りを持っている	290	27.6%	27.6%	33.4%
	3	どちらかといえば誇りを持っていない	381	36.2%	36.3%	69.7%
	4	誇りを持っていない	318	30.2%	30.3%	100.0%
	小計		1,050	99.8%	100.0%	
欠損値	99	無回答	2	0.2%		
合計			1,052	100.0%		

問8 あなた自身と家族との関わりについてお聞きします。以下のことを、どの程度考えますか。それぞれの項目についてお答えください。

1 <自分は、家族の役に立っている>

			度 数	パーセント	有効パーセント	累計パーセント
有効	1	非常に思う	247	23.5%	23.5%	23.5%
	2	やや思う	483	45.9%	46.0%	69.5%
	3	あまり思わない	271	25.8%	25.8%	95.3%
	4	全く思わない	49	4.7%	4.7%	100.0%
	小計		1,050	99.8%	100.0%	
欠損値	99	無回答	2	0.2%		
合計			1,052	100.0%		

2 <自分は、家族から信頼されている>

			度 数	パーセント	有効パーセント	累計パーセント
有効	1	非常に思う	288	27.4%	27.4%	27.4%
	2	やや思う	520	49.4%	49.5%	77.0%
	3	あまり思わない	207	19.7%	19.7%	96.7%
	4	全く思わない	35	3.3%	3.3%	100.0%
	小計		1,050	99.8%	100.0%	
欠損値	99	無回答	2	0.2%		
合計			1,052	100.0%		

3 <自分は、家族から頼りにされることがある>

			度 数	パーセント	有効パーセント	累計パーセント
有効	1	非常に思う	314	29.8%	30.1%	30.1%
	2	やや思う	516	49.0%	49.4%	79.5%
	3	あまり思わない	187	17.8%	17.9%	97.4%
	4	全く思わない	27	2.6%	2.6%	100.0%
	小計		1,044	99.2%	100.0%	
欠損値	99	無回答	8	0.8%		
合計			1,052	100.0%		

4 <自分は、家族と一緒にいると安心できる>

			度 数	パーセント	有効パーセント	累計パーセント
有効	1	非常に思う	542	51.5%	51.6%	51.6%
	2	やや思う	381	36.2%	36.3%	87.9%
	3	あまり思わない	100	9.5%	9.5%	97.4%
	4	全く思わない	27	2.6%	2.6%	100.0%
	小計		1,050	99.8%	100.0%	
欠損値	99	無回答	2	0.2%		
合計			1,052	100.0%		

5 <自分は、家族を信頼している>

			度 数	パーセント	有効パーセント	累計パーセント
有効	1	非常に思う	580	55.1%	55.3%	55.3%
	2	やや思う	360	34.2%	34.3%	89.6%
	3	あまり思わない	84	8.0%	8.0%	97.6%
	4	全く思わない	25	2.4%	2.4%	100.0%
	小計		1,049	99.7%	100.0%	
欠損値	99	無回答	3	0.3%		
合計			1,052	100.0%		

6 <自分は、家族に支えられている>

			度 数	パーセント	有効パーセント	累計パーセント
有効	1	非常に思う	708	67.3%	67.6%	67.6%
	2	やや思う	286	27.2%	27.3%	94.8%
	3	あまり思わない	43	4.1%	4.1%	99.0%
	4	全く思わない	11	1.0%	1.0%	100.0%
	小計		1,048	99.6%	100.0%	
欠損値	99	無回答	4	0.4%		
合計			1,052	100.0%		

7 <自分は、家族から「ありがとう」と言われることがある>

			度 数	パーセント	有効パーセント	累計パーセント
有効	1	非常に思う	451	42.9%	43.0%	43.0%
	2	やや思う	421	40.0%	40.2%	83.2%
	3	あまり思わない	147	14.0%	14.0%	97.2%
	4	全く思わない	29	2.8%	2.8%	100.0%
	小計		1,048	99.6%	100.0%	
欠損値	99	無回答	4	0.4%		
合計			1,052	100.0%		

8 <自分は、家族からほめられることがある>

			度 数	パーセント	有効パーセント	累計パーセント
有効	1	非常に思う	342	32.5%	32.7%	32.7%
	2	やや思う	433	41.2%	41.4%	74.2%
	3	あまり思わない	215	20.4%	20.6%	94.7%
	4	全く思わない	55	5.2%	5.3%	100.0%
	小計		1,045	99.3%	100.0%	
欠損値	99	無回答	7	0.7%		
合計			1,052	100.0%		

9 <自分は、家族の手伝いをすることがある>

			度 数	パーセント	有効パーセント	累計パーセント
有効	1	非常に思う	400	38.0%	38.2%	38.2%
	2	やや思う	469	44.6%	44.8%	82.9%
	3	あまり思わない	152	14.4%	14.5%	97.4%
	4	全く思わない	27	2.6%	2.6%	100.0%
	小計		1,048	99.6%	100.0%	
欠損値	99	無回答	4	0.4%		
合計			1,052	100.0%		

10 <自分は、家族が納得するような意見を言うことができる>

		度	数	パーセント	有効パーセント	累計パーセント
有効	1	非常に思う	254	24.1%	24.2%	24.2%
	2	やや思う	484	46.0%	46.1%	70.3%
	3	あまり思わない	249	23.7%	23.7%	94.0%
	4	全く思わない	63	6.0%	6.0%	100.0%
	小計		1,050	99.8%	100.0%	
欠損値	99	無回答	2	0.2%		
合計			1,052	100.0%		

問9 あなた自身と学校、職場、地域など、周囲の人との関わりについてお聞きします。以下のことを、どの程度考えますか。それぞれの項目についてお答えください。

1 <自分は、周囲の人の役に立っている>

		度	数	パーセント	有効パーセント	累計パーセント
有効	1	非常に思う	109	10.4%	10.4%	10.4%
	2	やや思う	506	48.1%	48.1%	58.5%
	3	あまり思わない	362	34.4%	34.4%	93.0%
	4	全く思わない	74	7.0%	7.0%	100.0%
	小計		1,051	99.9%	100.0%	
欠損値	99	無回答	1	0.1%		
合計			1,052	100.0%		

2 <自分は、周囲の人から信頼されている>

		度	数	パーセント	有効パーセント	累計パーセント
有効	1	非常に思う	116	11.0%	11.0%	11.0%
	2	やや思う	548	52.1%	52.2%	63.2%
	3	あまり思わない	326	31.0%	31.0%	94.3%
	4	全く思わない	60	5.7%	5.7%	100.0%
	小計		1,050	99.8%	100.0%	
欠損値	99	無回答	2	0.2%		
合計			1,052	100.0%		

3 <自分は、周囲の人から頼りにされることがある>

		度	数	パーセント	有効パーセント	累計パーセント
有効	1	非常に思う	167	15.9%	15.9%	15.9%
	2	やや思う	555	52.8%	52.9%	68.8%
	3	あまり思わない	271	25.8%	25.8%	94.7%
	4	全く思わない	56	5.3%	5.3%	100.0%
	小計		1,049	99.7%	100.0%	
欠損値	99	無回答	3	0.3%		
合計			1,052	100.0%		

4 <自分は、周囲の人と一緒にいると安心できる>

		度	数	パーセント	有効パーセント	累計パーセント
有効	1	非常に思う	178	16.9%	17.0%	17.0%
	2	やや思う	486	46.2%	46.3%	63.2%
	3	あまり思わない	309	29.4%	29.4%	92.7%
	4	全く思わない	77	7.3%	7.3%	100.0%
	小計		1,050	99.8%	100.0%	
欠損値	99	無回答	2	0.2%		
合計			1,052	100.0%		

5 <自分は、周囲の人を信頼している>

		度	数	パーセント	有効パーセント	累計パーセント
有効	1	非常に思う	213	20.2%	20.3%	20.3%
	2	やや思う	515	49.0%	49.0%	69.3%
	3	あまり思わない	261	24.8%	24.9%	94.2%
	4	全く思わない	61	5.8%	5.8%	100.0%
	小計		1,050	99.8%	100.0%	
欠損値	99	無回答	2	0.2%		
合計			1,052	100.0%		

6 <自分は、周囲の人に支えられている>

		度	数	パーセント	有効パーセント	累計パーセント
有効	1	非常に思う	403	38.3%	38.4%	38.4%
	2	やや思う	504	47.9%	48.0%	86.4%
	3	あまり思わない	114	10.8%	10.9%	97.2%
	4	全く思わない	29	2.8%	2.8%	100.0%
	小計		1,050	99.8%	100.0%	
欠損値	99	無回答	2	0.2%		
合計			1,052	100.0%		

7 <自分は、周囲の人から「ありがとう」と言われることがある>

		度	数	パーセント	有効パーセント	累計パーセント
有効	1	非常に思う	284	27.0%	27.0%	27.0%
	2	やや思う	537	51.0%	51.1%	78.2%
	3	あまり思わない	191	18.2%	18.2%	96.4%
	4	全く思わない	38	3.6%	3.6%	100.0%
	小計		1,050	99.8%	100.0%	
欠損値	99	無回答	2	0.2%		
合計			1,052	100.0%		

8 <自分は、周囲の人からほめられることがある>

		度	数	パーセント	有効パーセント	累計パーセント
有効	1	非常に思う	191	18.2%	18.2%	18.2%
	2	やや思う	527	50.1%	50.2%	68.4%
	3	あまり思わない	277	26.3%	26.4%	94.9%
	4	全く思わない	54	5.1%	5.1%	100.0%
	小計		1,049	99.7%	100.0%	
欠損値	99	無回答	3	0.3%		
合計			1,052	100.0%		

9 <自分は、周囲の人の手伝いをすることがある>

		度	数	パーセント	有効パーセント	累計パーセント
有効	1	非常に思う	271	25.8%	25.8%	25.8%
	2	やや思う	566	53.8%	53.9%	79.7%
	3	あまり思わない	174	16.5%	16.6%	96.3%
	4	全く思わない	39	3.7%	3.7%	100.0%
	小計		1,050	99.8%	100.0%	
欠損値	99	無回答	2	0.2%		
合計			1,052	100.0%		

10 <自分は、周囲の人が納得するような意見を言うことがある>

		度	数	パーセント	有効パーセント	累計パーセント
有効	1	非常に思う	135	12.8%	12.9%	12.9%
	2	やや思う	439	41.7%	41.8%	54.7%
	3	あまり思わない	376	35.7%	35.8%	90.5%
	4	全く思わない	100	9.5%	9.5%	100.0%
	小計		1,050	99.8%	100.0%	
欠損値	99	無回答	2	0.2%		
合計			1,052	100.0%		

問10 あなたは、仕事をする上で次のような事柄はどれくらい大切だと思いますか。それぞれの項目についてお答えください。

1 <自分の個性や能力・資格が生かせること>

		度	数	パーセント	有効パーセント	累計パーセント
有効	1	とても大切	584	55.5%	55.7%	55.7%
	2	多少は大切	410	39.0%	39.1%	94.8%
	3	あまり大切ではない	46	4.4%	4.4%	99.2%
	4	大切ではない	8	0.8%	0.8%	100.0%
	小計		1,048	99.6%	100.0%	
欠損値	99	無回答	4	0.4%		
合計			1,052	100.0%		

2 <自分のやりたい仕事であること>

		度	数	パーセント	有効パーセント	累計パーセント
有効	1	とても大切	533	50.7%	50.9%	50.9%
	2	多少は大切	404	38.4%	38.5%	89.4%
	3	あまり大切ではない	93	8.8%	8.9%	98.3%
	4	大切ではない	18	1.7%	1.7%	100.0%
	小計		1,048	99.6%	100.0%	
欠損値	99	無回答	4	0.4%		
合計			1,052	100.0%		

3 <仕事を通して資格や技術が身につけられること>

			度 数	パーセント	有効パーセント	累計パーセント
有効	1	とても大切	465	44.2%	44.4%	44.4%
	2	多少は大切	443	42.1%	42.3%	86.7%
	3	あまり大切ではない	120	11.4%	11.5%	98.2%
	4	大切ではない	19	1.8%	1.8%	100.0%
	小計		1,047	99.5%	100.0%	
欠損値	99	無回答	5	0.5%		
合計			1,052	100.0%		

4 <職場の雰囲気や人間関係が良いこと>

			度 数	パーセント	有効パーセント	累計パーセント
有効	1	とても大切	880	83.7%	84.0%	84.0%
	2	多少は大切	151	14.4%	14.4%	98.5%
	3	あまり大切ではない	10	1.0%	1.0%	99.4%
	4	大切ではない	6	0.6%	0.6%	100.0%
	小計		1,047	99.5%	100.0%	
欠損値	99	無回答	5	0.5%		
合計			1,052	100.0%		

5 <給料が高いこと>

			度 数	パーセント	有効パーセント	累計パーセント
有効	1	とても大切	492	46.8%	46.9%	46.9%
	2	多少は大切	465	44.2%	44.4%	91.3%
	3	あまり大切ではない	83	7.9%	7.9%	99.2%
	4	大切ではない	8	0.8%	0.8%	100.0%
	小計		1,048	99.6%	100.0%	
欠損値	99	無回答	4	0.4%		
合計			1,052	100.0%		

6 <休みが多いこと>

			度 数	パーセント	有効パーセント	累計パーセント
有効	1	とても大切	380	36.1%	36.3%	36.3%
	2	多少は大切	511	48.6%	48.8%	85.1%
	3	あまり大切ではない	137	13.0%	13.1%	98.2%
	4	大切ではない	19	1.8%	1.8%	100.0%
	小計		1,047	99.5%	100.0%	
欠損値	99	無回答	5	0.5%		
合計			1,052	100.0%		

7 <残業や休日出勤がないこと>

			度 数	パーセント	有効パーセント	累計パーセント
有効	1	とても大切	360	34.2%	34.4%	34.4%
	2	多少は大切	484	46.0%	46.2%	80.6%
	3	あまり大切ではない	167	15.9%	16.0%	96.6%
	4	大切ではない	36	3.4%	3.4%	100.0%
	小計		1,047	99.5%	100.0%	
欠損値	99	無回答	5	0.5%		
合計			1,052	100.0%		

8 <家庭や趣味と両立できること>

			度 数	パーセント	有効パーセント	累計パーセント
有効	1	とても大切	617	58.7%	58.9%	58.9%
	2	多少は大切	349	33.2%	33.3%	92.3%
	3	あまり大切ではない	66	6.3%	6.3%	98.6%
	4	大切ではない	15	1.4%	1.4%	100.0%
	小計		1,047	99.5%	100.0%	
欠損値	99	無回答	5	0.5%		
合計			1,052	100.0%		

9 <通勤しやすい場所であること>

			度 数	パーセント	有効パーセント	累計パーセント
有効	1	とても大切	525	49.9%	50.0%	50.0%
	2	多少は大切	433	41.2%	41.3%	91.3%
	3	あまり大切ではない	79	7.5%	7.5%	98.9%
	4	大切ではない	12	1.1%	1.1%	100.0%
	小計		1,049	99.7%	100.0%	
欠損値	99	無回答	3	0.3%		
合計			1,052	100.0%		

10 <長い期間にわたって安定して働けること>

			度 数	パーセント	有効パーセント	累計パーセント
有効	1	とても大切	775	73.7%	74.0%	74.0%
	2	多少は大切	230	21.9%	21.9%	95.9%
	3	あまり大切ではない	33	3.1%	3.1%	99.0%
	4	大切ではない	10	1.0%	1.0%	100.0%
	小計		1,048	99.6%	100.0%	
欠損値	99	無回答	4	0.4%		
合計			1,052	100.0%		

11 <有名な会社であること>

			度 数	パーセント	有効パーセント	累計パーセント
有効	1	とても大切	60	5.7%	5.7%	5.7%
	2	多少は大切	245	23.3%	23.4%	29.1%
	3	あまり大切ではない	519	49.3%	49.6%	78.7%
	4	大切ではない	223	21.2%	21.3%	100.0%
	小計		1,047	99.5%	100.0%	
欠損値	99	無回答	5	0.5%		
合計			1,052	100.0%		

12 <働く会社に将来性があること>

			度 数	パーセント	有効パーセント	累計パーセント
有効	1	とても大切	404	38.4%	38.6%	38.6%
	2	多少は大切	513	48.8%	49.0%	87.7%
	3	あまり大切ではない	108	10.3%	10.3%	98.0%
	4	大切ではない	21	2.0%	2.0%	100.0%
	小計		1,046	99.4%	100.0%	
欠損値	99	無回答	6	0.6%		
合計			1,052	100.0%		

13 <将来、独立して自分で事業が起こせること>

			度 数	パーセント	有効パーセント	累計パーセント
有効	1	とても大切	62	5.9%	5.9%	5.9%
	2	多少は大切	202	19.2%	19.3%	25.2%
	3	あまり大切ではない	461	43.8%	44.0%	69.2%
	4	大切ではない	323	30.7%	30.8%	100.0%
	小計		1,048	99.6%	100.0%	
欠損値	99	無回答	4	0.4%		
合計			1,052	100.0%		

14 <他の人や社会のために役立つ仕事であること>

			度 数	パーセント	有効パーセント	累計パーセント
有効	1	とても大切	404	38.4%	38.5%	38.5%
	2	多少は大切	470	44.7%	44.8%	83.4%
	3	あまり大切ではない	141	13.4%	13.5%	96.9%
	4	大切ではない	33	3.1%	3.1%	100.0%
	小計		1,048	99.6%	100.0%	
欠損値	99	無回答	4	0.4%		
合計			1,052	100.0%		

15 <他の人や社会から尊敬される仕事であること>

			度 数	パーセント	有効パーセント	累計パーセント
有効	1	とても大切	262	24.9%	25.0%	25.0%
	2	多少は大切	450	42.8%	42.9%	67.9%
	3	あまり大切ではない	270	25.7%	25.8%	93.7%
	4	大切ではない	66	6.3%	6.3%	100.0%
	小計		1,048	99.6%	100.0%	
欠損値	99	無回答	4	0.4%		
合計			1,052	100.0%		

問 1 1 あなたは、職業を選択する際に次のことをおこなったことがありますか。これから仕事を探そうとする人については、おこなっていきたいことがありますか。あてはまるものすべてに○をつけてください。

			度 数	パーセント	有効パーセント	累計パーセント
有効	1	ハローワーク・ジョブカフェなどの公的な機関を利用する	663	63.0%		
	2	民間職業紹介機関を利用する	133	12.6%		
	3	就職情報誌・無料のタウン誌の求人情報・新聞の求人広告等を見る	426	40.5%		
	4	インターネットの求人サイトなどを見る	609	57.9%		
	5	合同会社説明会に参加する	272	25.9%		
	6	親族や親に相談する	473	45.0%		
	7	友達や知人に仕事を紹介してもらう	274	26.0%		
	8	部活やサークルの先輩、OBやOGに相談する	91	8.7%		
	9	進路指導の先生や担任の先生に相談する	379	36.0%		
	10	何もおこなっていない(おこないたくない)	36	3.4%		
	11	その他	2	0.2%		

問 1 2 あなたの家族は、あなたの働く場所について、どのように話していますか。次の中からあてはまるもの1つだけに○をつけてください。

			度 数	パーセント	有効パーセント	累計パーセント
有効	1	家族は、地元で、自分が働き続けることを望んでいる	514	48.9%	49.1%	49.1%
	2	家族は、いずれ、地元で自分が住み、働くことを望んでいる	87	8.3%	8.3%	57.4%
	3	家族は、自分の働く場所については、どの地域でもよいと話している	313	29.8%	29.9%	87.3%
	4	仕事や居住場所について、家族と話したことはない	126	12.0%	12.0%	99.3%
	5	その他	7	0.7%	0.7%	100.0%
	小計		1,047	99.5%	100.0%	
欠損値	99	無回答	5	0.5%		
合計			1,052	100.0%		

問 1 3 あなたは、青森県内で働くことや働き続けることに関心はありますか。あてはまるもの1つだけに○をつけてください。

			度 数	パーセント	有効パーセント	累計パーセント
有効	1	積極的に働きたい→問13-①へ	446	42.4%	42.6%	42.6%
	2	条件が合えば働きたい→問13-①へ	501	47.6%	47.9%	90.4%
	3	あまり働きたくない→問13-②へ	100	9.5%	9.6%	100.0%
	小計		1,047	99.5%	100.0%	
欠損値	99	無回答	5	0.5%		
合計			1,052	100.0%		

問13-① 問13で「1 積極的に働きたい」「2 条件が合えば働きたい」を選んだ方にお聞きします。青森県内で働きたい理由について、次の中からあてはまるものすべてに○をつけてください。

			度 数	パーセント	有効パーセント	累計パーセント
有効	1	自分の能力が生かせそうだから	123	13.0%		
	2	希望する企業があるから	80	8.4%		
	3	知人が多いから	434	45.8%		
	4	家族を経済的に支えたいから	372	39.3%		
	5	青森県が好きだから	372	39.3%		
	6	就職後の生活が精神的に楽だと思うから	313	33.1%		
	7	希望する給与や待遇が期待できるから	49	5.2%		
	8	都市部等、別の場所で働くのは経済的負担が大きいから	247	26.1%		
	9	現在住んでいる所の生活に慣れたから	506	53.4%		
	10	親と同居したいから	137	14.5%		
	11	親からの経済的援助が期待できるから	71	7.5%		
	12	その他	2	0.2%		

問 1 3-② 問13で「3 あまり働きたくない」を選んだ方にお聞きします。青森県以外の場所で働きたい理由について、次の中からあてはまるものすべてに○をつけてください。

			度 数	パーセント	有効パーセント	累計パーセント
有効	1	自分の能力が生かせそうだから	21	21.0%		
	2	希望する企業があるから	29	29.0%		
	3	知人が多いから	16	16.0%		
	4	家族を経済的に支えたいから	25	25.0%		
	5	青森県が好きだから	37	37.0%		
	6	就職後の生活が精神的に楽だと思うから	20	20.0%		
	7	希望する給与や待遇が期待できるから	48	48.0%		
	8	都市部等、別の場所で働くのは経済的負担が大きいから	29	29.0%		
	9	現在住んでいる所の生活に慣れたから	42	42.0%		
	10	親と同居したいから	4	4.0%		
	11	親からの経済的援助が期待できるから	3	3.0%		
	12	その他	0	0.0%		

問 1 4 あなたは、青森県について、どのようなイメージを持っていますか。それぞれの項目についてお答えください。

1 <豊かな自然環境に恵まれている>

			度 数	パーセント	有効パーセント	累計パーセント
有効	1	非常に思う	672	63.9%	64.2%	64.2%
	2	やや思う	323	30.7%	30.9%	95.1%
	3	あまり思わない	44	4.2%	4.2%	99.3%
	4	全く思わない	7	0.7%	0.7%	100.0%
	小計		1,046	99.4%	100.0%	
欠損値	99	無回答	6	0.6%		
合計			1,052	100.0%		

2 <おいしい食やきれいな水に恵まれている>

			度 数	パーセント	有効パーセント	累計パーセント
有効	1	非常に思う	685	65.1%	65.3%	65.3%
	2	やや思う	313	29.8%	29.8%	95.1%
	3	あまり思わない	42	4.0%	4.0%	99.1%
	4	全く思わない	9	0.9%	0.9%	100.0%
	小計		1,049	99.7%	100.0%	
欠損値	99	無回答	3	0.3%		
合計			1,052	100.0%		

3 <犯罪や交通事故などが少ないなど、安心して暮らすことができる。>

			度 数	パーセント	有効パーセント	累計パーセント
有効	1	非常に思う	231	22.0%	22.0%	22.0%
	2	やや思う	513	48.8%	49.0%	71.0%
	3	あまり思わない	264	25.1%	25.2%	96.2%
	4	全く思わない	40	3.8%	3.8%	100.0%
	小計		1,048	99.6%	100.0%	
欠損値	99	無回答	4	0.4%		
合計			1,052	100.0%		

4 <通勤・通学や買い物など身近な交通の便が良い>

			度 数	パーセント	有効パーセント	累計パーセント
有効	1	非常に思う	81	7.7%	7.7%	7.7%
	2	やや思う	224	21.3%	21.4%	29.1%
	3	あまり思わない	445	42.3%	42.4%	71.5%
	4	全く思わない	299	28.4%	28.5%	100.0%
	小計		1,049	99.7%	100.0%	
欠損値	99	無回答	3	0.3%		
合計			1,052	100.0%		

5 <伝統的な祭りや伝統芸能が盛んである>

			度 数	パーセント	有効パーセント	累計パーセント
有効	1	非常に思う	392	37.3%	37.4%	37.4%
	2	やや思う	490	46.6%	46.8%	84.2%
	3	あまり思わない	145	13.8%	13.8%	98.1%
	4	全く思わない	20	1.9%	1.9%	100.0%
	小計		1,047	99.5%	100.0%	
欠損値	99	無回答	5	0.5%		
合計			1,052	100.0%		

6 <近所付き合いがよく、温かい人間関係が大切にされている>

			度 数	パーセント	有効パーセント	累計パーセント
有効	1	非常に思う	131	12.5%	12.5%	12.5%
	2	やや思う	471	44.8%	44.9%	57.4%
	3	あまり思わない	352	33.5%	33.6%	90.9%
	4	全く思わない	95	9.0%	9.1%	100.0%
	小計		1,049	99.7%	100.0%	
欠損値	99	無回答	3	0.3%		
合計			1,052	100.0%		

7 <商業施設や娯楽施設等が充実している>

			度 数	パーセント	有効パーセント	累計パーセント
有効	1	非常に思う	26	2.5%	2.5%	2.5%
	2	やや思う	122	11.6%	11.7%	14.1%
	3	あまり思わない	452	43.0%	43.2%	57.4%
	4	全く思わない	446	42.4%	42.6%	100.0%
	小計		1,046	99.4%	100.0%	
欠損値	99	無回答	6	0.6%		
合計			1,052	100.0%		

8 <産業が盛んで、働く場に恵まれている>

			度 数	パーセント	有効パーセント	累計パーセント
有効	1	非常に思う	20	1.9%	1.9%	1.9%
	2	やや思う	112	10.6%	10.7%	12.6%
	3	あまり思わない	513	48.8%	49.0%	61.6%
	4	全く思わない	402	38.2%	38.4%	100.0%
	小計		1,047	99.5%	100.0%	
欠損値	99	無回答	5	0.5%		
合計			1,052	100.0%		

問15 あなたは、あなたと青森県との関係について、どのように感じていますか。それぞれの項目についてお答えください。

1 <私は青森県に必要な人材であると感じる>

			度 数	パーセント	有効パーセント	累計パーセント
有効	1	あてはまる	71	6.7%	6.8%	6.8%
	2	ややあてはまる	151	14.4%	14.4%	21.1%
	3	どちらともいえない	486	46.2%	46.3%	67.4%
	4	あまりあてはまらない	165	15.7%	15.7%	83.1%
	5	あてはまらない	177	16.8%	16.9%	100.0%
	小計		1,050	99.8%	100.0%	
欠損値	99	無回答	2	0.2%		
合計			1,052	100.0%		

2 <私はこの青森県の将来のことが、とても気になる>

			度 数	パーセント	有効パーセント	累計パーセント
有効	1	あてはまる	256	24.3%	24.4%	24.4%
	2	ややあてはまる	332	31.6%	31.6%	56.0%
	3	どちらともいえない	257	24.4%	24.5%	80.5%
	4	あまりあてはまらない	119	11.3%	11.3%	91.8%
	5	あてはまらない	86	8.2%	8.2%	100.0%
	小計		1,050	99.8%	100.0%	
欠損値	99	無回答	2	0.2%		
合計			1,052	100.0%		

3 <私はこの青森県に愛着を感じる>

			度 数	パーセント	有効パーセント	累計パーセント
有効	1	あてはまる	353	33.6%	33.7%	33.7%
	2	ややあてはまる	379	36.0%	36.1%	69.8%
	3	どちらともいえない	194	18.4%	18.5%	88.3%
	4	あまりあてはまらない	61	5.8%	5.8%	94.1%
	5	あてはまらない	62	5.9%	5.9%	100.0%
	小計		1,049	99.7%	100.0%	
欠損値	99	無回答	3	0.3%		
合計			1,052	100.0%		

4 <青森県を離れることは、たとえ離れたくても、大変困難であると感じる>

			度 数	パーセント	有効パーセント	累計パーセント
有効	1	あてはまる	140	13.3%	13.4%	13.4%
	2	ややあてはまる	235	22.3%	22.4%	35.8%
	3	どちらともいえない	315	29.9%	30.1%	65.8%
	4	あまりあてはまらない	188	17.9%	17.9%	83.8%
	5	あてはまらない	170	16.2%	16.2%	100.0%
	小計		1,048	99.6%	100.0%	
欠損値	99	無回答	4	0.4%		
合計			1,052	100.0%		

5 <私が青森県にいるのは、そうしたいからと同時に必要と感じているからである>

			度 数	パーセント	有効パーセント	累計パーセント
有効	1	あてはまる	120	11.4%	11.4%	11.4%
	2	ややあてはまる	270	25.7%	25.7%	37.2%
	3	どちらともいえない	369	35.1%	35.2%	72.4%
	4	あまりあてはまらない	151	14.4%	14.4%	86.7%
	5	あてはまらない	139	13.2%	13.3%	100.0%
	小計		1,049	99.7%	100.0%	
欠損値	99	無回答	3	0.3%		
合計			1,052	100.0%		

問16 あなたは、あなたと青森県との関係について、どのように感じていますか。それぞれの項目についてお答えください。(〇はそれぞれ1つつ)

1 <困ったときに相談に乗ってくれる人>

			度	数	パーセント	有効パーセント	累計パーセント
有効	1	いない		34	3.2%	3.2%	3.2%
	2	1人		79	7.5%	7.5%	10.8%
	3	2人から5人		744	70.7%	71.0%	81.8%
	4	6人から10人		137	13.0%	13.1%	94.8%
	5	11人以上		54	5.1%	5.2%	100.0%
	小計			1,048	99.6%	100.0%	
欠損値	99	無回答		4	0.4%		
合計				1,052	100.0%		

2 <個人的な悩みを話せる人>

			度	数	パーセント	有効パーセント	累計パーセント
有効	1	いない		78	7.4%	7.5%	7.5%
	2	1人		133	12.6%	12.7%	20.2%
	3	2人から5人		740	70.3%	70.8%	91.0%
	4	6人から10人		75	7.1%	7.2%	98.2%
	5	11人以上		19	1.8%	1.8%	100.0%
	小計			1,045	99.3%	100.0%	
欠損値	99	無回答		7	0.7%		
合計				1,052	100.0%		

3 <同じ目標を目指して一緒に何かしている人>

			度	数	パーセント	有効パーセント	累計パーセント
有効	1	いない		429	40.8%	41.1%	41.1%
	2	1人		146	13.9%	14.0%	55.1%
	3	2人から5人		369	35.1%	35.4%	90.5%
	4	6人から10人		51	4.8%	4.9%	95.4%
	5	11人以上		48	4.6%	4.6%	100.0%
	小計			1,043	99.1%	100.0%	
欠損値	99	無回答		9	0.9%		
合計				1,052	100.0%		

4 <地元で一緒に遊ぶ人>

			度	数	パーセント	有効パーセント	累計パーセント
有効	1	いない		110	10.5%	10.5%	10.5%
	2	1人		55	5.2%	5.3%	15.8%
	3	2人から5人		560	53.2%	53.5%	69.3%
	4	6人から10人		225	21.4%	21.5%	90.8%
	5	11人以上		96	9.1%	9.2%	100.0%
	小計			1,046	99.4%	100.0%	
欠損値	99	無回答		6	0.6%		
合計				1,052	100.0%		

5 <地元以外で一緒に遊ぶ人>

			度	数	パーセント	有効パーセント	累計パーセント
有効	1	いない		270	25.7%	25.8%	25.8%
	2	1人		65	6.2%	6.2%	32.1%
	3	2人から5人		470	44.7%	45.0%	77.0%
	4	6人から10人		145	13.8%	13.9%	90.9%
	5	11人以上		95	9.0%	9.1%	100.0%
	小計			1,045	99.3%	100.0%	
欠損値	99	無回答		7	0.7%		
合計				1,052	100.0%		

6 <何かについて、自分に頼ってくれる人>

			度	数	パーセント	有効パーセント	累計パーセント
有効	1	いない		170	16.2%	16.3%	16.3%
	2	1人		125	11.9%	12.0%	28.2%
	3	2人から5人		645	61.3%	61.7%	89.9%
	4	6人から10人		74	7.0%	7.1%	96.9%
	5	11人以上		32	3.0%	3.1%	100.0%
	小計			1,046	99.4%	100.0%	
欠損値	99	無回答		6	0.6%		
合計				1,052	100.0%		

7 <特に親しくはないが、一緒に仕事や活動をする人>

			度 数	パーセント	有効パーセント	累計パーセント
有効	1	いない	170	16.2%	16.3%	16.3%
	2	1人	23	2.2%	2.2%	18.5%
	3	2人から5人	272	25.9%	26.1%	44.6%
	4	6人から10人	188	17.9%	18.0%	62.6%
	5	11人以上	390	37.1%	37.4%	100.0%
	小計		1,043	99.1%	100.0%	
欠損値	99	無回答	9	0.9%		
合計			1,052	100.0%		

問17 次のような場所に住んでいる友人や知人は、家族や親戚を含めてどのくらいいますか。(〇はそれぞれ1つずつ)

1 <徒歩で10分以内のところに住んでいる人>

			度 数	パーセント	有効パーセント	累計パーセント
有効	1	いない	371	35.3%	35.7%	35.7%
	2	1人	119	11.3%	11.4%	47.1%
	3	2人から5人	404	38.4%	38.8%	86.0%
	4	6人から10人	88	8.4%	8.5%	94.4%
	5	11人以上	58	5.5%	5.6%	100.0%
	小計		1,040	98.9%	100.0%	
欠損値	99	無回答	12	1.1%		
合計			1,052	100.0%		

2 <徒歩で10分よりかかるが、同じ市町村に住んでいる人>

			度 数	パーセント	有効パーセント	累計パーセント
有効	1	いない	102	9.7%	9.8%	9.8%
	2	1人	54	5.1%	5.2%	15.0%
	3	2人から5人	365	34.7%	35.1%	50.0%
	4	6人から10人	197	18.7%	18.9%	69.0%
	5	11人以上	323	30.7%	31.0%	100.0%
	小計		1,041	99.0%	100.0%	
欠損値	99	無回答	11	1.0%		
合計			1,052	100.0%		

3 <同じ市町村ではないが、県内に住んでいる人>

			度 数	パーセント	有効パーセント	累計パーセント
有効	1	いない	151	14.4%	14.5%	14.5%
	2	1人	55	5.2%	5.3%	19.8%
	3	2人から5人	280	26.6%	26.9%	46.8%
	4	6人から10人	191	18.2%	18.4%	65.2%
	5	11人以上	362	34.4%	34.8%	100.0%
	小計		1,039	98.8%	100.0%	
欠損値	99	無回答	13	1.2%		
合計			1,052	100.0%		

4 <青森県外の東北地域に住んでいる人>

			度 数	パーセント	有効パーセント	累計パーセント
有効	1	いない	288	27.4%	27.7%	27.7%
	2	1人	70	6.7%	6.7%	34.4%
	3	2人から5人	354	33.7%	34.0%	68.5%
	4	6人から10人	141	13.4%	13.6%	82.0%
	5	11人以上	187	17.8%	18.0%	100.0%
	小計		1,040	98.9%	100.0%	
欠損値	99	無回答	12	1.1%		
合計			1,052	100.0%		

5 <関東地方に住んでいる人>

			度 数	パーセント	有効パーセント	累計パーセント
有効	1	いない	188	17.9%	18.0%	18.0%
	2	1人	83	7.9%	8.0%	26.0%
	3	2人から5人	406	38.6%	38.9%	64.8%
	4	6人から10人	157	14.9%	15.0%	79.9%
	5	11人以上	210	20.0%	20.1%	100.0%
	小計		1,044	99.2%	100.0%	
欠損値	99	無回答	8	0.8%		
合計			1,052	100.0%		

問18 あなたは、他の人との関係について、以下のことはあなたご自身にどれくらい当てはまりますか。(○はそれぞれ1つずつ)

1 <知らない人がたくさんいる場所は苦手だ>

			度 数	パーセント	有効パーセント	累計パーセント
有効	1	あてはまる	425	40.4%	40.7%	40.7%
	2	ややあてはまる	330	31.4%	31.6%	72.2%
	3	あまりあてはまらない	186	17.7%	17.8%	90.0%
	4	あてはまらない	104	9.9%	10.0%	100.0%
	小計		1,045	99.3%	100.0%	
欠損値	99	無回答	7	0.7%		
合計			1,052	100.0%		

2 <自分の気持ちを相手にうまく伝えられる>

			度 数	パーセント	有効パーセント	累計パーセント
有効	1	あてはまる	76	7.2%	7.3%	7.3%
	2	ややあてはまる	339	32.2%	32.4%	39.7%
	3	あまりあてはまらない	460	43.7%	44.0%	83.7%
	4	あてはまらない	170	16.2%	16.3%	100.0%
	小計		1,045	99.3%	100.0%	
欠損値	99	無回答	7	0.7%		
合計			1,052	100.0%		

3 <相手の言いたいことは察することができる>

			度 数	パーセント	有効パーセント	累計パーセント
有効	1	あてはまる	216	20.5%	20.6%	20.6%
	2	ややあてはまる	601	57.1%	57.4%	78.0%
	3	あまりあてはまらない	202	19.2%	19.3%	97.3%
	4	あてはまらない	28	2.7%	2.7%	100.0%
	小計		1,047	99.5%	100.0%	
欠損値	99	無回答	5	0.5%		
合計			1,052	100.0%		

4 <人に嫌われないかといつも心配している>

			度 数	パーセント	有効パーセント	累計パーセント
有効	1	あてはまる	307	29.2%	29.4%	29.4%
	2	ややあてはまる	378	35.9%	36.2%	65.6%
	3	あまりあてはまらない	271	25.8%	25.9%	91.5%
	4	あてはまらない	89	8.5%	8.5%	100.0%
	小計		1,045	99.3%	100.0%	
欠損値	99	無回答	7	0.7%		
合計			1,052	100.0%		

5 <自分の意見が他の人に賛成してもらえないと不安になる>

			度 数	パーセント	有効パーセント	累計パーセント
有効	1	あてはまる	210	20.0%	20.1%	20.1%
	2	ややあてはまる	429	40.8%	41.1%	61.1%
	3	あまりあてはまらない	309	29.4%	29.6%	90.7%
	4	あてはまらない	97	9.2%	9.3%	100.0%
	小計		1,045	99.3%	100.0%	
欠損値	99	無回答	7	0.7%		
合計			1,052	100.0%		

問19 あなたは、現在も含めて、この1年間にボランティアや地域活動・社会貢献活動などをしましたか。いずれかに○をつけてください。

			度 数	パーセント	有効パーセント	累計パーセント
有効	1	した →問19-①へ	197	18.7%	18.8%	18.8%
	2	しなかった →問20へ	850	80.8%	81.2%	100.0%
	小計		1,047	99.5%	100.0%	
欠損値	99	無回答	5	0.5%		
合計			1,052	100.0%		

問19-① 問19で「1 した」と回答した方にお聞きします。あなたは、この1年間にどのくらいボランティアや地域活動・社会貢献活動をしましたか。次の口にあてはまる数字を記入してください。

		回数	度	数	パーセント	有効パーセント	累計パーセント
回数	1	1回	55	27.9%	28.1%	28.1%	
	2	2回	46	23.4%	23.5%	51.5%	
	3	3回	20	10.2%	10.2%	61.7%	
	4	4回	12	6.1%	6.1%	67.9%	
	5	5回	18	9.1%	9.2%	77.0%	
	6	6回	4	2.0%	2.0%	79.1%	
	7	7回	2	1.0%	1.0%	80.1%	
	8	8回	3	1.5%	1.5%	81.6%	
	9	9回	1	0.5%	0.5%	82.1%	
	10	10回	11	5.6%	5.6%	87.8%	
	11	12回	6	3.0%	3.1%	90.8%	
	12	15回	2	1.0%	1.0%	91.8%	
	13	20回	7	3.6%	3.6%	95.4%	
	14	24回	1	0.5%	0.5%	95.9%	
	15	30回	2	1.0%	1.0%	96.9%	
	16	35回	1	0.5%	0.5%	97.4%	
	17	50回	2	1.0%	1.0%	98.5%	
	18	120回	1	0.5%	0.5%	99.0%	
	19	240回	1	0.5%	0.5%	99.5%	
	20	365回	1	0.5%	0.5%	100.0%	
	小計		196	99.5%	100.0%		
欠損値	99	無回答	1	0.5%			
合計			197	100.0%			

問19-① 問19で「1 した」と回答した方にお聞きします。あなたは、この1年間にどのくらいボランティアや地域活動・社会貢献活動をしましたか。次の口にあてはまる数字を記入してください。

		有効	回数	度	数	パーセント	有効パーセント	累計パーセント
	1	1時間未満	13	6.6%	6.7%	6.7%		
	2	1時間以上2時間未満	31	15.7%	16.0%	22.7%		
	3	2時間以上3時間未満	45	22.8%	23.2%	45.9%		
	4	3時間以上4時間未満	40	20.3%	20.6%	66.5%		
	5	4時間以上5時間未満	18	9.1%	9.3%	75.8%		
	6	5時間以上6時間未満	19	9.6%	9.8%	85.6%		
	7	6時間以上7時間未満	11	5.6%	5.7%	91.2%		
	8	7時間以上8時間未満	2	1.0%	1.0%	92.3%		
	9	8時間以上	15	7.6%	7.7%	100.0%		
	小計		194	98.5%	100.0%			
欠損値	99	無回答	3	1.5%				
合計			197	100.0%				

問19-② 問19で「1 した」と回答した方にお聞きします。あなたは、どのようなボランティアや地域活動・社会貢献活動をしましたか。あてはまるものすべてに○をつけてください。

		有効	回数	度	数	パーセント	有効パーセント	累計パーセント
	1	高齢者や障害を持つ方の手助けなど福祉に関する活動	38	19.3%				
	2	家庭教育・子育て支援・読み聞かせ活動	11	5.6%				
	3	趣味・特技・職業上得た知識や技術をいかした活動	26	13.2%				
	4	子どもの健全育成やPTA活動・学校支援活動	35	17.8%				
	5	地域づくり・まちづくりに関する活動	39	19.8%				
	6	文化、芸術、伝統芸能、観光に関する活動	27	13.7%				
	7	スポーツ、レクリエーション活動	43	21.8%				
	8	清掃、環境保護・保全活動	76	38.6%				
	9	町内会、自治会活動	31	15.7%				
	10	防犯、交通安全運動	5	2.5%				
	11	災害救援・安全・防災に関する活動	15	7.6%				
	12	地域のお祭りや行事	51	25.9%				
	13	国際交流・協力・親善活動	6	3.0%				
	14	その他	0	0.0%				

問20 問19で「2 しなかった」と回答した方にお聞きします。しなかった理由について、次の中からあてはまるものすべてに○をつけてください。

		有効	回数	度	数	パーセント	有効パーセント	累計パーセント
	1	仕事が忙しい	479	56.4%				
	2	家庭のことで忙しい	282	33.2%				
	3	友人や知人など誘いが無い	198	23.3%				
	4	人間関係や近所づきあいを広げたくない	68	8.0%				
	5	何かしらの責任や役目を負わされたくはない	85	10.0%				
	6	広報やチラシなどの情報が届かない（見逃している）	170	20.0%				
	7	そのような経験がない	198	23.3%				
	8	近くに興味のある活動がない	213	25.1%				
	9	そもそもボランティアや地域活動・社会貢献活動に興味がない	192	22.6%				
	10	どのように参加すればいいのかわからない	268	31.5%				
	11	その他	5	0.6%				
	12	無回答	2	0.2%				

問 2 1 あなたは、現在学校へ行っていますか。次の中から1つだけ選んでください。

			度 数	パーセント	有効パーセント	累計パーセント
有効	1	学校へ行っている（在学中）	156	14.8%	15.0%	15.0%
	2	学校に在籍しているが、休学している	4	0.4%	0.4%	15.4%
	3	学校は卒業した（既卒）	851	80.9%	81.7%	97.1%
	4	学校は中退した	30	2.9%	2.9%	100.0%
	小計		1,041	99.0%	100.0%	
欠損値	99	無回答	11	1.0%		
合計			1,052	100.0%		

問 2 2 あなたは、現在、家業の手伝いやアルバイトを含めて、何か収入になる仕事をしていますか。いずれかに○をつけてください。

			度 数	パーセント	有効パーセント	累計パーセント
有効	1	している →問22-①へ	831	79.0%	79.7%	79.7%
	2	していない →問22-②へ	212	20.2%	20.3%	100.0%
	小計		1,043	99.1%	100.0%	
欠損値	99	無回答	9	0.9%		
合計			1,052	100.0%		

問 2 2-① 問22で「1 している」と回答した方へお聞きします。どのように仕事をしていますか。次の中から1つだけ選んでください。

			度 数	パーセント	有効パーセント	累計パーセント
有効	1	仕事を主にしている	695	83.6%	83.7%	83.7%
	2	家事が主で仕事をしている	52	6.3%	6.3%	90.0%
	3	学校に通いながら仕事をしている	68	8.2%	8.2%	98.2%
	4	家事、通学以外のことが主で仕事をしている	15	1.8%	1.8%	100.0%
	小計		830	99.9%	100.0%	
欠損値	99	無回答	1	0.1%		
合計			831	100.0%		

問 2 2-② 問22で「2 していない」と回答した方へお聞きします。次の中からあてはまるものを1つだけ選んでください。

			度 数	パーセント	有効パーセント	累計パーセント
有効	1	主に家事をしている	68	32.1%	32.2%	32.2%
	2	主に学校に通っている	94	44.3%	44.5%	76.8%
	3	失業中である	43	20.3%	20.4%	97.2%
	4	4. その他（	6	2.8%	2.8%	100.0%
	小計		211	99.5%	100.0%	
欠損値	99	無回答	1	0.5%		
合計			212	100.0%		

問 2 3 あなたのご職業とお仕事の内容、最後に卒業した学校（現在学校に通っている方は、在学中の学校）を教えてください。（アルバイトなどを含む）

1 <職業>

			度 数	パーセント	有効パーセント	累計パーセント
有効	ア	自営業（家族のみで働いている）	12	1.1%	1.2%	1.2%
	イ	家族従業（農家や商店など家族の自営業に従事している）	17	1.6%	1.6%	2.8%
	ウ	会社経営・会社役員（家族以外の人を雇っている）	6	0.6%	0.6%	3.4%
	エ	給与所得者（民間企業の正社員・正職員）	386	36.7%	37.4%	40.8%
	オ	給与所得者（公務員）	121	11.5%	11.7%	52.5%
	カ	契約社員・嘱託職員・臨時職員等	103	9.8%	10.0%	62.5%
	キ	パート・アルバイト	155	14.7%	15.0%	77.5%
	ク	学生	136	12.9%	13.2%	90.7%
	ケ	無職（専業主婦（夫）等）	93	8.8%	9.0%	99.7%
	コ	上記以外	3	0.3%	0.3%	100.0%
	小計		1,032	98.1%	100.0%	
欠損値	99	無回答	20	1.9%		
合計			1,052	100.0%		

2 <最後に卒業した学校>

			度 数	パーセント	有効パーセント	累計パーセント
有効	1	小・中学校	50	4.8%	4.8%	4.8%
	2	高等学校、職業能力開発訓練校	448	42.6%	43.5%	48.3%
	3	高等専門学校、専修・専門学校	176	16.7%	17.1%	65.4%
	4	大学院、大学、短期大学、大学校	357	33.9%	34.6%	100.0%
	5	上記以外	0	0.0%	0.0%	100.0%
	小計		1,031	98.0%	100.0%	
欠損値	99	無回答	21	2.0%		
合計			1,052	100.0%		

3 <仕事の内容>

			度 数	パーセント	有効パーセント	累計パーセント
有効	A	管理的職業	15	1.4%	1.5%	1.5%
	B	専門的、技術的職業	265	25.2%	26.4%	27.9%
	C	事務職	162	15.4%	16.1%	44.0%
	D	販売職	68	6.5%	6.8%	50.8%
	E	サービス職	159	15.1%	15.8%	66.6%
	F	保安職	23	2.2%	2.3%	68.9%
	G	農林漁業	22	2.1%	2.2%	71.1%
	H	生産工程作業、労務管理	50	4.8%	5.0%	76.1%
	I	輸送、機械運転	10	1.0%	1.0%	77.1%
	J	建設、採掘	28	2.7%	2.8%	79.9%
	K	運搬、清掃、包装等	16	1.5%	1.6%	81.5%
	L	仕事をしていない（学生・無職の方）	175	16.6%	17.4%	98.9%
	M	上記以外	11	1.0%	1.1%	100.0%
	小計		1,004	95.4%	100.0%	
欠損値	99	無回答	48	4.6%		
合計			1,052	100.0%		

問2 4 あなたの両親が長く勤められていたご職業と仕事の内容、両親の最終学歴について教えてください。

1 【父親】<職業>

			度 数	パーセント	有効パーセント	累計パーセント
有効	ア	自営業（家族のみで働いている）	166	15.8%	16.2%	16.2%
	イ	家族従業（農家や商店など家族の自営業に従事している）	20	1.9%	2.0%	18.1%
	ウ	会社経営・会社役員（家族以外の人を雇っている）	79	7.5%	7.7%	25.9%
	エ	給与所得者（民間企業の正社員・正職員）	496	47.1%	48.4%	74.2%
	オ	給与所得者（公務員）	157	14.9%	15.3%	89.6%
	カ	契約社員・嘱託職員・臨時職員等	25	2.4%	2.4%	92.0%
	キ	パート・アルバイト	12	1.1%	1.2%	93.2%
	ク	学生	0	0.0%	0.0%	93.2%
	ケ	無職（専業主婦（夫）等）	6	0.6%	0.6%	93.8%
	コ	上記以外	64	6.1%	6.2%	100.0%
	小計		1,025	97.4%	100.0%	
欠損値	99	無回答	27	2.6%		
合計			1,052	100.0%		

2 【父親】<最終学歴>

			度 数	パーセント	有効パーセント	累計パーセント
有効	1	小・中学校	117	11.1%	11.5%	11.5%
	2	高等学校、職業能力開発訓練校	516	49.0%	50.9%	62.4%
	3	高等専門学校、専修・専門学校	108	10.3%	10.7%	73.1%
	4	大学院、大学、短期大学、大学校	180	17.1%	17.8%	90.8%
	5	上記以外	93	8.8%	9.2%	100.0%
	小計		1,014	96.4%	100.0%	
欠損値	99	無回答	38	3.6%		
合計			1,052	100.0%		

3 【父親】〈仕事の内容〉

		度 数	パーセント	有効パーセント	累計パーセント
有効	A 管理的職業	98	9.3%	9.7%	9.7%
	B 専門的, 技術的職業	230	21.9%	22.7%	32.4%
	C 事務職	60	5.7%	5.9%	38.3%
	D 販売職	81	7.7%	8.0%	46.3%
	E サービス職	111	10.6%	11.0%	57.3%
	F 保安職	30	2.9%	3.0%	60.2%
	G 農林漁業	79	7.5%	7.8%	68.0%
	H 生産工程作業, 労務管理	28	2.7%	2.8%	70.8%
	I 輸送, 機械運転	42	4.0%	4.1%	74.9%
	J 建設, 採掘	134	12.7%	13.2%	88.2%
	K 運搬, 清掃, 包装等	22	2.1%	2.2%	90.3%
	L 仕事をしていない (学生・無職の方)	11	1.0%	1.1%	91.4%
	M 上記以外	87	8.3%	8.6%	100.0%
	小計	1,013	96.3%	100.0%	
欠損値	99 無回答	39	3.7%		
合計		1,052	100.0%		

1 【母親】〈職業〉

		度 数	パーセント	有効パーセント	累計パーセント
有効	ア 自営業 (家族のみで働いている)	90	8.6%	8.7%	8.7%
	イ 家族従業 (農家や商店など家族の自営業に従事している)	38	3.6%	3.7%	12.3%
	ウ 会社経営・会社役員 (家族以外の人を雇っている)	25	2.4%	2.4%	14.7%
	エ 給与所得者 (民間企業の正社員・正職員)	300	28.5%	28.9%	43.6%
	オ 給与所得者 (公務員)	61	5.8%	5.9%	49.5%
	カ 契約社員・嘱託職員・臨時職員等	60	5.7%	5.8%	55.3%
	キ パート・アルバイト	260	24.7%	25.0%	80.3%
	ク 学生	0	0.0%	0.0%	80.3%
	ケ 無職 (専業主婦 (夫) 等)	159	15.1%	15.3%	95.7%
	コ 上記以外	45	4.3%	4.3%	100.0%
	小計	1,038	98.7%	100.0%	
欠損値	99 無回答	14	1.3%		
合計		1,052	100.0%		

2 【母親】〈最終学歴〉

		度 数	パーセント	有効パーセント	累計パーセント
有効	1 小・中学校	82	7.8%	8.0%	8.0%
	2 高等学校、職業能力開発訓練校	538	51.1%	52.4%	60.4%
	3 高等専門学校、専修・専門学校	169	16.1%	16.5%	76.8%
	4 大学院、大学、短期大学、大専校	156	14.8%	15.2%	92.0%
	5 上記以外	82	7.8%	8.0%	100.0%
	小計	1,027	97.6%	100.0%	
欠損値	99 無回答	25	2.4%		
合計		1,052	100.0%		

3 【母親】〈仕事の内容〉

		度 数	パーセント	有効パーセント	累計パーセント
有効	A 管理的職業	21	2.0%	2.2%	2.2%
	B 専門的, 技術的職業	207	19.7%	21.5%	23.7%
	C 事務職	128	12.2%	13.3%	37.0%
	D 販売職	81	7.7%	8.4%	45.4%
	E サービス職	211	20.1%	21.9%	67.4%
	F 保安職	1	0.1%	0.1%	67.5%
	G 農林漁業	56	5.3%	5.8%	73.3%
	H 生産工程作業, 労務管理	54	5.1%	5.6%	78.9%
	I 輸送, 機械運転	2	0.2%	0.2%	79.1%
	J 建設, 採掘	16	1.5%	1.7%	80.8%
	K 運搬, 清掃, 包装等	23	2.2%	2.4%	83.2%
	L 仕事をしていない (学生・無職の方)	56	5.3%	5.8%	89.0%
	M 上記以外	106	10.1%	11.0%	100.0%
	小計	962	91.4%	100.0%	
欠損値	99 無回答	90	8.6%		
合計		1,052	100.0%		

問 2 5 あなたが18歳のときの家庭の経済状況について、あてはまるものを次の中から1つだけ選んでください。

			度 数	パーセント	有効パーセント	累計パーセント
有効	ア	経済的にかなりゆとりがあった	54	5.1%	5.2%	5.2%
	イ	経済的にまあまあゆとりがあった	500	47.5%	47.8%	52.9%
	ウ	経済的に苦しいようだった	369	35.1%	35.2%	88.2%
	エ	経済的にかなり苦しいようだった	124	11.8%	11.8%	100.0%
	小計		1,047	99.5%	100.0%	
欠損値	99	無回答	5	0.5%		
合計			1,052	100.0%		

問 2 6 現在、あなたはどの程度幸せですか。「とても幸せ」を10点、「とても不幸」を0点とすると、何点くらいになるとお考えですか。いずれかの数字を選んで○をつけてください

			度 数	パーセント	有効パーセント	累計パーセント
有効	1	とても不幸	19	1.8%	1.8%	1.8%
	2	1点	8	0.8%	0.8%	2.6%
	3	2点	26	2.5%	2.5%	5.1%
	4	3点	58	5.5%	5.6%	10.6%
	5	4点	76	7.2%	7.3%	17.9%
	6	5点	152	14.4%	14.6%	32.5%
	7	6点	103	9.8%	9.9%	42.4%
	8	7点	188	17.9%	18.0%	60.4%
	9	8点	200	19.0%	19.2%	79.6%
	10	9点	87	8.3%	8.3%	87.9%
	11	10点とても幸せ	126	12.0%	12.1%	100.0%
小計		1,043	99.1%	100.0%		
欠損値	99	無回答	9	0.9%		
合計			1,052	100.0%		

問 2 7 現在アルバイトを含めて仕事をしている人に聞きます。次のようなことに満足していますか、不満ですか。それぞれの項目についてお答えください。

1 <総合的に>

			度 数	パーセント	有効パーセント	累計パーセント
有効	1	満足	73	8.8%	9.0%	9.0%
	2	まあ満足	331	39.8%	41.0%	50.1%
	3	どちらともいえない	239	28.8%	29.6%	79.7%
	4	やや不満	119	14.3%	14.7%	94.4%
	5	不満	45	5.4%	5.6%	100.0%
小計		807	97.1%	100.0%		
欠損値	99	無回答	24	2.9%		
合計			831	100.0%		

2 <収入>

			度 数	パーセント	有効パーセント	累計パーセント
有効	1	満足	71	8.5%	8.7%	8.7%
	2	まあ満足	246	29.6%	30.3%	39.0%
	3	どちらともいえない	166	20.0%	20.4%	59.5%
	4	やや不満	195	23.5%	24.0%	83.5%
	5	不満	134	16.1%	16.5%	100.0%
小計		812	97.7%	100.0%		
欠損値	99	無回答	19	2.3%		
合計			831	100.0%		

3 <やりがい>

			度 数	パーセント	有効パーセント	累計パーセント
有効	1	満足	130	15.6%	16.0%	16.0%
	2	まあ満足	303	36.5%	37.4%	53.5%
	3	どちらともいえない	225	27.1%	27.8%	81.2%
	4	やや不満	97	11.7%	12.0%	93.2%
	5	不満	55	6.6%	6.8%	100.0%
小計		810	97.5%	100.0%		
欠損値	99	無回答	21	2.5%		
合計			831	100.0%		

4 <労働時間>

			度 数	パーセント	有効パーセント	累計パーセント
有効	1	満足	129	15.5%	15.9%	15.9%
	2	まあ満足	271	32.6%	33.5%	49.4%
	3	どちらともいえない	206	24.8%	25.4%	74.8%
	4	やや不満	124	14.9%	15.3%	90.1%
	5	不満	80	9.6%	9.9%	100.0%
小計		810	97.5%	100.0%		
欠損値	99	無回答	21	2.5%		
合計			831	100.0%		

5 <福利厚生>

		度 数	パーセント	有効パーセント	累計パーセント
1	満足	163	19.6%	20.1%	20.1%
2	まあ満足	269	32.4%	33.2%	53.3%
3	どちらともいえない	229	27.6%	28.3%	81.6%
4	やや不満	89	10.7%	11.0%	92.6%
5	不満	60	7.2%	7.4%	100.0%
	小計	810	97.5%	100.0%	
欠損値	99 無回答	21	2.5%		
合計		831	100.0%		

6 <自宅と勤務地の距離>

		度 数	パーセント	有効パーセント	累計パーセント
1	満足	288	34.7%	35.6%	35.6%
2	まあ満足	266	32.0%	32.9%	68.5%
3	どちらともいえない	132	15.9%	16.3%	84.8%
4	やや不満	83	10.0%	10.3%	95.1%
5	不満	40	4.8%	4.9%	100.0%
	小計	809	97.4%	100.0%	
欠損値	99 無回答	22	2.6%		
合計		831	100.0%		

7 <仕事と私生活のバランス>

		度 数	パーセント	有効パーセント	累計パーセント
1	満足	115	13.8%	14.2%	14.2%
2	まあ満足	281	33.8%	34.6%	48.8%
3	どちらともいえない	197	23.7%	24.3%	73.1%
4	やや不満	148	17.8%	18.2%	91.4%
5	不満	70	8.4%	8.6%	100.0%
	小計	811	97.6%	100.0%	
欠損値	99 無回答	20	2.4%		
合計		831	100.0%		

問28 あなたは、県の教育委員会が、県民の生涯学習・社会教育を進める上で、今後どのようなことに力を入れたらよいと思いますか。あてはまるものすべてに○をつけてください。

		度 数	パーセント	有効パーセント	累計パーセント
有効	1 (情報技術)・ICT(情報通信技術)を使いたいいろいろな学習機会の提供	291	27.7%		
	2 地域で子どもを育てる環境づくり	584	55.5%		
	3 子育てに関する学習・情報提供・相談体制の支援や整備	530	50.4%		
	4 学校教育支援	411	39.1%		
	5 青少年の体験活動	257	24.4%		
	6 社会人が持つ知識・技術・経験や人脈等を効果的に地域社会に活かしていけるような方策	373	35.5%		
	7 地域活動の実践者・リーダー・コーディネーターの育成	152	14.4%		
	8 地域活動に関わる人財や団体のネットワークの形成	176	16.7%		
	9 職業能力の向上のための学習機会の提供	395	37.5%		
	10 性別や障害の有無による差別のない社会を作るための学習機会の提供	349	33.2%		
	11 1県民のQOL(クオリティ・オブ・ライフ)を高めるための学習機会の提供	238	22.6%		

平成28年度 生涯学習・社会教育総合調査研究事業
若者の学習・生活体験と県内定住に関する県民の意識調査報告書

発行年月日 平成29年3月

編集・発行 青森県教育庁生涯学習課

〒030-8540 青森市新町二丁目3番1号

TEL 017-722-1111 (内 5195) FAX 017-734-8272

<http://www.pref.aomori.lg.jp/bunka/>

[education/aomorimanabi-e_shogai.html](http://www.pref.aomori.lg.jp/bunka/education/aomorimanabi-e_shogai.html)

調査・分析委託先 株式会社サンブラッソ・エイティープイ

〒038-0011 青森市篠田二丁目3番17号

TEL 017-762-7010 FAX 017-762-7011

印刷 協同印刷工業株式会社

〒035-0041 青森県むつ市金曲一丁目15-8

TEL 0175-22-2231 FAX 0175-22-0435

